

105
合40
30

新編武藏風土記稿

橋本 久良岐 郡 二十一
二十一

新纂武藏風土記稿

橘樹郡 卷十五

卷十二之
二十一

105

30

東京圖書館

八〇	一 二	架	一 〇 八	函	類	門
----	--------	---	-------------	---	---	---

新編武藏風土記稿卷之六十九目錄

橘樹郡之十二

神奈川領

下星川村

保土谷町

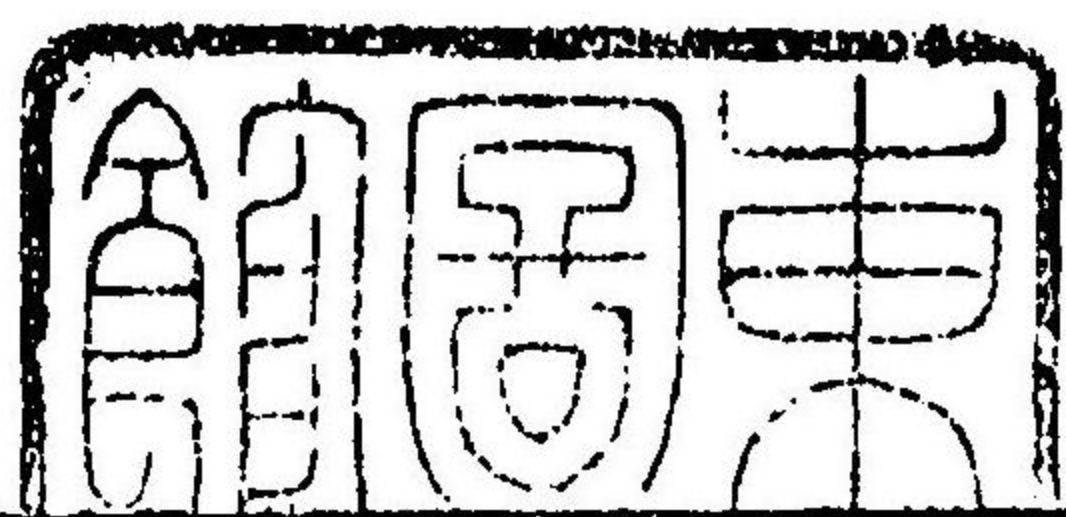
神戶町

蓬生村

保土谷宿

岩間町

帷子町



新編武藏風土記稿卷之六十九目錄

新編武蔵風土記稿卷之六十九

橘樹郡之十二

神奈川領

下星川村

下星川村ハ郡ノ南ノ方ニテ保土谷宿ヨリハ西北ニアタレル地ナリ江戸日本橋ヨリ行程八里ナリ抑星川ノ地ハ古名ニテ和名抄ノ郷名ニ久良岐郡ノ下ニカケタレハ昔ハコ、モ彼郡中ニ屬セシニヤ其詳ナル事ハ隣郡都筑郡上星川村ノ條ニ出セリ今此村ハ榛谷庄トモ或ハ御厨庄トモ云前ニモ出セシ如ク舊クヨリ己ニ榛谷ノ御厨ト云唱アレハソレヲ分テ庄名トセシユヘカクノ如クマナミノ名アルナルヘシ古老ノ傳ヘニ當村ハ昔シハ、戦争アリシ頃人家モソレカ爲ニウセテ荒野トナリシチイツノ頃カ秋山氏本郷氏トイヘル者其餘十七人ワツカニ家ヲ作りテ移リ住シ夫ヨリ荒野ヲオコセシトソ今村民ニ彼等カ子孫七八人モ存セリトイフ村ノ上下ニ分テシモ正保年中ヨリ前ノ事ナリトノミイフ家數四十二軒村内ニ散在ス東ハ芝生村ニ隣リ帷子川ヲ界トス南ハ神戸保土谷ノ二村ニ接シ西ハ佛向村ニ境ヒ北ハ芝生和田ノ二村ニ隣リ帷子川ヲ界トス東西八丁二十間南北十丁二十間餘スヘテ南ノ方ハ小山カ

保土谷宿

保土谷宿ハ東海道五十二驛ノ一ニテ郡ノ西南ノ方相州鎌倉郡ノ境ニアリ今コノ宿ニ屬スル所ソノ地廣シ保土谷岩間神戸帷子ノ四ヶ町ヲアハセテ保土谷宿ト呼ヘリソレモ何ノ頃ヨリノコトニヤ考フヘカラス慶長六年ノ頃マテハ道中ノ馬繼藤澤ヨリ保土谷ニ至リ夫ヨリ神奈川ニテ繼其後戸塚川崎馬次トナリシト云コ、モ半谷郷御厨庄ニ屬セリ半谷ハ榛谷ト同シ唱ヘナレハ通シテカクナリシナルヘシ江戸日本橋ヨリ行程八里ニ及ヘリ家數四百五十三軒町ノ西側ニ軒ヲ連ヌ四方ノ疆界ハ南ノ方久良岐郡ニシテ戸部太田ノ二村ニ隣レリ西ハ相州鎌倉郡平戸村ニサカヒ西ヨリ北ヘハ同郡品野村ヨリ當國都筑郡今井村及ヒ郡中佛向村下星川和田等ノ三村及ヒ都筑郡上星川村ト當郡羽澤村等列レリ北ヨリ東ハ三枚橋村及ヒ片倉青木町ト芝生村ナリ東西一里半ハカリ南北二里ホト宿内ノ地昔ハ久良岐郡ニ屬セシ地モアリシニ今ノコトク繁榮ノ所トナリシ後皆此郡内トナレリ猶詳ナルコトハ下ニノセタリ昔ハ海道ノ往來今ノ所ヨリハ西北ノ方ニアリシトイフ然ルニ慶安元年ソノ道ヲカヘラレテヨリ今ノ如クニナリタリ舊キ趾ツタヘテ今ニ殘レリ其頃マテハ帷子宿ノ人家ハソコハクノ地ヲ隔テタリシニ後彼人家モ岩間村ノ地ニ移リシヨリ往來ノ内

トナレリ初メ保土谷ト神戸帷子ノ間十八丁餘ノ路ヲ隔シカ互ニ其町ヲ移シ合セナハ便ヨカラントテ移シテ一町トナセリ此時ヨリ三宿新町ニナリタリ其時奉行セシハ井上筑後守重政永田八兵衛ナリ萬治三年岩間村ノモノトモヤ、モスレハ人夫ノ役ニ苦シムコトナケキ訴ヘシニヨリ又カノ村ヲモ保土谷町ヘウツサレケリ時ノ奉行ハ高木伊勢守久ナリ其街道ノ次第ナイハ、相州平戸村ヨリ入テ境ノ地藏ヨリ二番坂權太坂ト云テ過テ元町茶屋町保土谷町上岩間町神戸町上帷子町十八間町下神戸町田町下岩間町川岸町ヲコエテ芝生村ニ入ル其道ハ左右トモニ山ニツヒテ谷間ナル平地ナリ長四十五丁五十間ニシテ廣サハ四間ヨリ四間三尺ニ至レリ其間西ヨリ南ヘナレシ所モアリ又南ヨリ東ヘ屈曲セシモアリ江戸ノ方ヘ向ヒテハ神奈川宿ノ山遙ニ見ユ又繩手ヨリ下星川村法性寺及ヒ杉山明神ノ社見ユ其路程ハ十五丁ハカリヲ隔テシ所ナリ又北ノ方和田村伊勢ノ社ノ森モ見ユコ、マテハ二十丁許ヲヘタツ又其所ヨリ北ノ方都筑郡ナル端龍院ノ山見ユコレハ一里餘ヲ隔テリ同所ヨリ東ノ方久良岐郡戸部村ノ山々モ見ユ十五丁ハカリヲヘタテシ所ナリ又相州境ノ方ヨリ南ノ方ヲ望メハ久良岐郡ノ中圓海山ヲハシメトシテ羣山ツラナリ同郡引越村ノ方ヨリ相州鎌倉郡永谷村ノ山ニツ、ケリユノ山々近キ所ニテハ一里ハカリ

ハ古ヨリアリシ所ナリトサレト其名ノ起リシ故ハ傳ヘス太田道灌ノ平安紀行ニ云
フカタビラト名付ル所ニテ

日ザカリハカタハダヌキテ旅人ノ汁水ニナル帷子ノ里廻國雜記ニカタヒラノ宿
トイヘル所ニテ

イツキテカ旅ノ衣チカヘテマシ風ウラサムキカタヒラノ里トアリコノ頃ノ海道
ハ今ノ道ヨリ乾ノ方ニアリテ其道ノ次第ハ相州境ヨリ今ノ如ク來リ元町ノ内東ノ

方ヘナル、所チユカスシテ田間チ越良ノアタリ片倉村ノ方ヘ入シナリ御打入ノ後
ハ伊奈半十郎カ家ニテ世々預リ奉リシカ今ハ大貫次右衛門カ御預トナレリ

小名 上町 上神戶町 十八間町 上町ノ良ノ方ニアリ今
今井川 上町ト十八間町トノ間チ流按ニ昔ハ神戶川ト

十八間町ノ良ノツ、キニアリ此所モ土地變革ノコトハステニ前ニ出セリ

帷子田町 田町ハ下神戶町ノ良ニ續ケリ此則帷子町ノ小名ナリ其詳ナル事ハ上ニ出セリ
見光寺 下神戶町今井川トノ間ニアリテ門ノ海道ノ方岩間町ノ内ニ出ツ淨土宗

像長二尺三寸客殿六間半ニ五間半スヘテ南向ノ彌陀ノ坐 ○香象院 海子町ノ内ニ
山忠秀法印天正十一年起立ス本尊ハ不動ノ立像長二尺五寸ハカリ客殿ハ八間半

寺寶 愛染明王畫像一幅弘法大師ノ 富士淺間社 境内ニ入テ
生村ノ鎮守トスル所ナリ ○阿彌陀堂 山下ニテ香象院ノ持

下岩間町 下岩間町ハ同町ノ良ニアリ上ニイヘル十八間町ヨリコノ町迄ハ舊久良岐郡ノ地ニ
シテ今井川チ界トシスヘテ岩間村ノ内ナリシトイヘリツノ餘變地ノ事ハ已ニ前ニ

出セリ

○神明社 神戶町ノ内ニテ下岩間町マテ大年ニ賜ヘリト云保土ケ谷及ヒ神戶町ノ鎮守
數ヒ定ラズ此餘田畑元庚午伊勢太神宮武州御厨屋ノ庄榛谷ノ峯ニ影向アリシト

云當社ノ縁起ニ天祿四年庚午伊勢太神宮武州御厨屋ノ庄榛谷ノ峯ニ影向アリシト
レヨリ川井ヒウツカハ同所八坂ト云所ニ祀レリコノ後又下保土ケ谷ノ宮チ假宿ト號シケ

傳然ル所ハ嘉祿元年神託アリテ宮作リコトモイヘリケルトヨリ天祿ノ神主カモト云モ
ヤ否ヲ知ヘカラス祭禮毎年六月十六日ニ鳥居方ニテアリ木ニテ造レ

大門ノ内 拜殿ノ間チタハアリ 本社 二間四方東南ニ向テ造營アリ
居ニアリ 拜殿ノ間チタハアリ 本社 二間四方東南ニ向テ造營アリ

生ト云棟札ノ文ニ云武藏國榛谷御厨八郷ノ鐵守保土谷神戶村元和五己未年彌
帷子足立久右衛門菊部清兵衛丹解和泉守家秀小野筑後守岡崎米田皆平柏木七九
郎ナト交名見ニ又ソノ後ニ修造ノトキノ棟札アリ櫻大僧都覺祐トルセリ其年
代ハ傳 末社五坐相殿社社地ニ入テ左ノ方ニ五座ノ神ヲ祀レリ 四坐相殿社本
ノ左ノ方ニアリ月神雨神風 御嶽社社方ニ後ノ 神主岡田刑部社地ニ入ル所ノ左
ノ山神等ノ四坐ヲ祀レリ 小野新兵衛トイフモノ神主トシテ世々祀事ヲ司リシカイツノ頃カ今ノ刑部カ昔ハ
祖ヘソノ職ヲ讓リシトイフ形部ハ世々祀事モサタカナラス昔ノ小野新兵衛カ昔シ縁
起一卷アリソノ文ヲ見ルニコトハ全テ左ニ載ス

武藏國榛谷御厨庄之内
神戸神明濫觴之事

抑當官之開祀者天祿元年庚午伊勢天照皇太神宮飛來給武川御厨谷庄之内榛谷
之峯影向從其川井有御飛從川井又二俣川御移御座所假宿云從二俣川又下保土
谷宮林云所御影移給間同所八坂云所奉祝二成暫住給然嘉祿元年乙酉或少女託
言吾出法性真如都假交分段同居之塵以降垂一天四海跡和率土万国光中猶今當
國當郡和光同塵守護一切衆生晝夜思也我得續坐云其時彼少女之云目顔淨布懸
言御託宣云

伊勢の神こゝに飛くるるゝにのつす御影をかめもろ人

少女様々自託給時天光物飛散雷電鳴渡故今二成奉崇神明御伊勢御正體申下官
造在所號神戸神宮寺名滿福寺經藏堂稱神照寺弘法大師御作之愛染明王今御坐
是則顯深之本地給者歟末社兩宮風三郎殿切邊之王子日王子高根明神稻荷天
神山王見目等也借見此地形體伊勢國渡會郡御本社之靈地少不違先有高間原是
宮原云宮川是神戸川云有五十鈴川是小帷川云有御裳濯川爰古部川云有大湊爰
神奈川前云有二見浦爰宮崎云有大橋爰小帷橋云有字治橋爰神戸橋云其外外官
内官山田三方宇治朝熊嶽之景地相似肆法企之勤請成自然之官立實也依之武藏
二十四郡之内十郡之守護神別者御厨谷八郷之鎮守也爰以昔年七十五度有祭祀
田此外五度之御供免一二三四之有禰宜有神主有八乙女二十五人之有社人六口
之有供僧巫女斯上代雖美々敷今神領被收間其形計也加櫟之旨趣 御上意棟江
被立御申如先代到被付社領昔不替相奉幣彩賀無怠慢奉勤天長地久御願圓滿殊
者國守武運長久御威光倍増之旨可奉祈者也仍乍恐神主等申上處如件

天文廿四年乙卯年潤十月吉日

渡會氏朝臣神主在神

謹上御奉行所御申上

帷子町

丹下氏
小野氏

此町ハ帷子川ヲ界トシテ下岩間町ニ隣リ良ノ方芝生村ニ及ヘリ土人或ハコ、チ小
帷ト號ス永祿年中小机ノ内小帷九十一貫八百七十文ヲ太田新六郎カ知行セルヨシ
小田原役帳ニノスル所ナリ又村ノ記録ニモ元祿ノ頃マテモ小帷トシルセシモノ見
ユ今ハ土人此地ノ異名ノヤウニ思ヘトモ小田原所領役帳ニ小帷トシルシ又天文ノ
頃ノモノニモ小帷川小帷橋ノ名見ユレハ古ハカク書シ事ト見ユ

小名 川岸町

帷子川 岩間町ノ界ヲ流ルルソノ詳 ○帷子橋 帷子川ニ架ス板橋コテ高欄ヲナ
牛頭天王社 帷子川ノ邊佛向村ノ内寶寺ト號スル宿ニ入所ノ右モアリ相傳フ當社ノ
間破却セラレテ遺リ此神體帷子川ハ入テ流レテ今モ社造ノ後遷坐ノタヒコト取
ク今ノ所ニテ造リマツレリト此ニヨリテ今モ社造ノ後遷坐ノタヒコト取
三人ノ子孫退セリト云本社七尺四方東ニ向テ神體秘物ナレハト云ハ三間ニケ
テ坐セリ故ニ新願ノ事アル者ハ社ノ後ノ方ニ廻リテ拜スト云拜殿ハ三間ニケ
コノモ東向ナリ例祭六月十日 末社五坐相殿社 本社ノ左ノ方ニアリ山王權現天
五日ナリ村内遍照寺モナリ 祠 小 四坐相殿社 本社ノ右ノ方ニ御嶽權現稻 ○神明宮 牛頭
宿ヘ入ル所ノ右側三十三間程入テアテ其社地ハ帷子町ニ屬
小祠ナリ前ニ鳥居ヲ立勸請ノ年代詳ナラス村内香象院持
耕地ニ隸ス故ニ耕田ノ字及ヒ山川以下并テ是保土ヶ谷宿 和田ノ上 帷子町ノ地
庫丸ト云ハル所アリ 岸ノ下 方ナリ 中オフナ 是モ亦北ノ方ニテアリ

川邊通リノ方ニアリ北 阿彌陀前街右ノ方ニアリ所ノ 原田ノ北ノ方ナリ以上
子町ニ 溝添 神ノ北ウ 廣町 芝谷 神田 寺坂谷 町以上ノ四箇所ハ皆帷
上ノ方 中通道 町ノ北ウ 原 東ノ方 鹽田 岩間町ノ東 關西 方ニアリ
裏關西ノ邊 殿田 岩間ノ東ウ 十三塚 此地ニ十三塚ト呼フ古塚アリ故ニ此名
己ニ其條ニ辨セハス

帷子川 水源ハ都筑郡川井村大貫ト云所ノワツカナル谷川ニ里ハカリ流レテ一
トナルコトヨリ帷子川ト唱フ竹ノ下ヨリ三十町芝生村地境ヲ流レテ奈川下ヨリ
丁餘リ下ニテ往還通リ帷子川橋ヘ出テ程ニシテ芝生村地境ヲ流レテ奈川下ヨリ
海ニ注ク水源ヨリ此所迄川路三里許 ○今井川 西ノ方都筑郡今井村ケ谷町ニ入ル
岩間原 岩間原ノ東ニ多ク廣サ段數ヲ以テ云ハ、十丁許モアリ今ハ開墾シマ
シキ岩井ノ原ヲヨソニコトニテ結フツクサノ枕ナリ原ハケルソレヨリモチ井坂スリコ
チ坂ナトコトヘタルコトニテ記セシナレハ岩井原ハケルソレヨリモチ井坂スリコ
ハラクコトニシシ ○藥師堂 原宿ヨリ西北ノ方ナリ廣二丁程昔程土ヶ谷町法
八町野 宿ニケ所ハ保土ヶ谷町ノ分ナリ

帷子川 水除堤 帷子町ノ内古堤上ノ幅四尺 ○溜井 川青木町ニテ用ナリ神奈
杉山社 宿ノ東ノ方下岩間町ノ内ニテ勸請セシナルヘシ本地方ニ坐像ニシテ
長一尺ハカリナリト云本社八尺四方ニテ勸請セシナルヘシ本地方ニ坐像ニシテ
馬居ヲツツ其前ニ石階アリ例祭ハ年々九月二十八日ナリ當所圓福寺持

小机稻荷社 本社ノ左ノ八幡宮 宿ノ南西ノ方 永田村ノ境ヨリテアリ昔ハ久...

天徳院 戸町ノ内 往還坤ノ方 起立五ノ間 許テ隔テハアリ曹洞宗トス...

石ノ作レ 觀音堂 福壽寺 前モ一尺八寸 許ノ間 二ノ階 一ノ面 觀音ノ立像...

芝生村 墳墓十三塚 保土ケ谷町ノ内 相州品野ノ境ニヨリテアリ...

芝生村ハ郡ノ南ニアリコレモ榛谷庄ノ内ナリ又往古小机庄トモ云シナトイヘハマ
チニシテサダカナラス此邊西ヨリ北ヘカ、リテハ小山ツハダチ東南ハ平地ナリ
四境ナイハ、東南ノ方ハ海ニ向ヒ其外ハ帷子川ヲ隔テ久良岐郡戸部尾張屋新田ノ
二村及郡内岩間町ニ隣リ西ハ帷子町ニ境ヒ北モ帷子町青木町ニ並ヒ東西五丁南北
十丁許中央ニ東北ノ間ヨリ西南ニ通シテ東海道中貫ケリ土地ハ砂交リ黒土ニテ田
多ク畑少シ民戸百九軒海道ノ左右ニ立ツ、ケリ民居ノ外ハ杉ヲ並木トナセリコノ
邊ノモノハ耕作ノイトマニハ男子ハ海邊ニ出テアサリ蛤ノ類ヲ拾ヒ女子ハ木綿布
ヲ織ルコトヲモテ業トセリ此村開發ノ年代ヲ傳ヘス案ニ一遍上人五代師阿上人正
中二年間正月十一日武州芝宇宿ニテ寂セシヨシ遊行歴代記ニ見ユ芝宇ト云ハ此芝
生ナランカモシサアランニハ舊クヨリ起リシ村ナラン夫モマサシトハ云カタシ御
入國ノ後ハ御料ニテ正保ノ頃ハ伊奈半十郎忠治支配所ナリ元祿八年命ヲ奉シテ安
藤對馬守重治カ檢地セシコトアリ其後又新田ノ地出キテソノ所ハ寶永十一年安永
五年ノ兩度伊奈半左衛門カ承リニテ檢地ヲナセリソレヨリ度々御代官ノ變代アリ
テ今ハ大貫次右衛門光重カ支配所トナレリ

高札場ニアリ

小名 谷戸ニアリ 庚申塚ニアリ 圻山下ニアリ 谷戸間ノ後

ニア 淺間下 青木町境ヨリ 三家 淺間下ノ 追分 三ツ家ノ

大久保山 西ノ方帷子町 〇藥師堂山 海道ノ西 〇袖スリ山 藥師堂山ノ邊ニアリ

波ウチカケシカハ旅人コノ山ノ麓ニソヒ袖チスル許リニアリヤシカハカクテ

中ニ袖磨山ノ名見ユルハ川ノ山ナルヘセル名ハナナナナナナナナナナナナナナ

帷子川 村ノ南久良岐郡ノ境ヲ西ヨリ東ヘナカレ村内 〇浪除堤 南ノ方ヨリ東ヘ

十間ノ間ニ接シタル海邊ニハ川除トナセリ 〇富士淺間社 江ノ方ヨリ東ヘ

院ニ納メタレハ其寺ヲ取ヘキ事ナシ思フコト此社ノ傍ニ昔ヨリ穴ノ縁起ト云モ

名高キ富士ノ人穴ノコトヲ思ヒ合セテカ、ル説チナシヤ、又此古穴ハ此邊ニ

ト云キヨリ富士ノ人穴ノコトヲ思ヒ合セテカ、ル説チナシヤ、又此古穴ハ此邊ニ

所々アリテ何レモ土人附會ノ説チナシヤ、又此古穴ハ此邊ニ

ウカチテ穴居セシカトニモヤアルヘキカ昔武藏野ニハ白浪多カリシト云キカ

トモ見ユルハカクテカトニモヤアルヘキカ昔武藏野ニハ白浪多カリシト云キカ

トモ見ユルハカクテカトニモヤアルヘキカ昔武藏野ニハ白浪多カリシト云キカ

トモ見ユルハカクテカトニモヤアルヘキカ昔武藏野ニハ白浪多カリシト云キカ

トモ見ユルハカクテカトニモヤアルヘキカ昔武藏野ニハ白浪多カリシト云キカ

新編武藏風土記

高札場ニアリ

十

洪福寺 村ノ南ニアリ海東山ト號ス臨濟宗鎌倉建長寺ノ末開基ハ此村ノ百姓權左
 ノ記録ニ當テ開山ハ佛禪師ト定メタラシムコトモ心無道安ハ中興ノ開基ナルヘシ又示寂セ
 トイヘハ何レヲソレトモ云ヘリ是モ中興ノ開山カコノ移リテハ海邊ノ右藥師堂ノ
 傳ヘニハ大空海和尚トモ云ヘリ天正年中今ノ地ヘ移リテハ一間ノ右藥師堂ノ
 コアリ其頃ハ佛禪師ト起立セシ頃ハ本尊ノ目洗藥師ト云坐像丈三寸五分ノ境內モ
 アラシク藥師ハ餘倉權五郎景政カ守リ本尊ノ目洗藥師ト云坐像丈三寸五分ノ境內モ
 安ラシク藥師ハ餘倉權五郎景政カ守リ本尊ノ目洗藥師ト云坐像丈三寸五分ノ境內モ
 太子ノ地藏堂ノ石立像ヲテナリ社官司社モト既宮ノ爲ニ免除セラレ境內モ
 作ナリノ地藏堂ノ石立像ヲテナリ社官司社モト既宮ノ爲ニ免除セラレ境內モ
 云ハハナルヘリ

新編武藏風土記稿卷之六十九終

新編武藏風土記稿卷之七十目錄

橘樹郡之十三

小机領

神奈川宿

青木町

六角橋村

白旗村

下菅田村

神奈川町

神大寺村

片倉村

新編武藏風土記稿卷之七十

橘樹郡之十三

小机領

小机領ハ郡ノ中央ヨリ少シク南ニヨレリ四境ナイハ、西南北ノ三方ハ神奈川領ニ
交リ東ノ一方青木町神奈川町及東西子安新宿三村ハ海岸ニ連レリコレ則東海道往
來ノカ、レル地ナリ四方ノ行程凡東西へ一里餘南北へモ一里餘領内ニ屬セル村七
村東方ハ海岸ナレハナヘテ平地ノ所多ク西西北ノ三方ハ小山ツラナレルノミニテ
コ、モ佗ノ領トカハレル様ハナシ

神奈川宿

神奈川宿ハ郡ノ中央ヨリ少シク南へヨリテアリ今東海道五十三驛ノ一ナリ海道ノ
内南ノ方保土ヶ谷ヨリハ一里九丁ノ行程ニシテ東北ノ方川崎宿へハ二里半ヲヘタ
テリ江戸日本橋ヨリハ里數七里ニ及ヘリコレノ宿イツノ頃ヨリ開ケタルニヤ詳ナラ
ス按ニ鶴岡八幡宮ニ藏ヌル文永三年ノ文書ニ稻目神奈川兩郷トアリ又僧萬里カ記
ニ文明十七年武州へ赴ク途中ノ詩アリ十月一日武藏ニ入ノ詩ナリ自注ニコレノ所權
現堂山アリト見ユツノ起句ニ驛樹風聲人武州トイヘリコレ今ノ保土ヶ谷宿ノ如ク

見ユレト權現山ハ現ニ當宿ニアレハ恐クハユノ詩當所ニテ賦セシナラン然ラハ驛
 樹ト云モ當所ニ驛アリシユヘナル歟サレト同書ニ武相ノ界トアレハ疑ヘキニ似タ
 リスヘテ此アタリノ界ハ中古以來南ノ方へ出タレハツノ頃ハ相武ノ界モ今ヨリハ
 猶當所ヘヨリテアリシモシルヘカラスユノ後ノモノニハ當所ニ驛アリシ證トスヘ
 キモノ見エスタトヘフルクヨリ驛場ナランニモ今ノコトク繁榮ノ地ニハアラシ御
 當代ニ至リテ宿驛ヲモヒロクセラレシニヤ今ハ青木町神奈川町ノ二ヶ所チアハセ
 テ一宿トシスヘテ神奈川宿ト稱セリ地子兎屋敷一萬坪ヲ賜ハル内五千坪ハ青木町
 ノ地ナリコノ一萬坪段別三町三段三畝十歩ニ當レヨルヲ以家別百軒ニワカナ傳馬
 ノ役ニ給スヘキノ旨ヲ定メナカル、所ナリ然ルヲ今ハ事ノ繁多ニナリ來リタルヲ
 以二百軒トシテ軒別一畝二十歩ノ地ヲツケツノ稅務ノ代トシテ日々ニ馬百匹人夫
 百人ヲ出スナ定數トセリ宿内往還長三十二町四十一間東ハ新宿村ヨリ西ノ方芝生
 村マテノ間道幅三間ヨリ四間マテナリ

高札場 字龍ノ橋ト云所ニタナリ長一
 尺六寸四分横五尺高一丈アリ
 湊海ノ方本牧浦ノ方ヨリ神奈川ノ出崎マテノ間ナハメヨク入りタル如クナル入
 ル所ナリコレヲ間舟路一里餘ナリ宿内青木町ノ方古ヨリノ湊ニテ諸國ノ船ノカハ
 ニ船カハリコレヲ東ノ方ニ活調磯アリ夏秋ノアヒタ御用ノ魚ヲコヒニカコヒチク所
 ナリ冬ヨリ春マテハ水アラ
 クレテ寒氣ニタヘスト云

青木町

輕井澤

海道ノ南ノ方ニテ芝生村ノ境土橋ヨリ上
 臺町ノ下マテチ云青木町ノ枝郷ナリ東側
 ノミ町屋ナラヘリ西ノ方ハ並木立リ
 勸行寺 西側ニアリ日蓮宗越後國蒲原郡
 本成寺ノ末學陽山ト號ス開山日
 養文祿四年ノ起立ナリ此人ハ慶長六年
 五月十六日寂セリ本尊三寶客殿ニ安ヒ
 リ客殿ハ六間半ニテ南
 向ナリ前ニ石階アリ 稻荷社 境内ニ
 ノ方ニアリ 小祠ナリ

輕井澤眺望



新編武蔵野紀行

上臺町

輕井澤ノ東北ニアタレル坂へ上ル所ヨリ上ノ方ヲスヘタイヘリ此所ハ入海ノ上ニ
テ景色イト美ナリコ、ナ神奈川ノ臺ト稱シテ旅人モ必足ヲト、メタイコフ所ナリ
大日堂 坂ノ上ニテ北側ナリ堂ノ大サ二間半ニ三間清山水ト號セリ大日 稻荷社
境内ニ入テ右ノ方ニテハカカリ惠心僧都ノ作ナリト云本山修驗梅之院持ナリ
小祠ナリ前ニ鳥居ヲタツ 閻魔堂 堂ノモ同邊ニアリ二間四方 天神社 アタリニ
祠ナリ 秋葉不動合社 所ニモ同

下臺町

上臺町ノ東北ノ方ヨリ下ル所ナリコ、モ長二町程ノ内一町ハ兩側町屋ソレヨリ上
ノ方ハ片町ナリ

飯綱權現社 海道ノ西側ニテ羊腸ノ道ナリ社傳ニ云寛永十九年伊奈半十郎忠治建立ス
今ノ社ハ安永五年太田備中守カ再建セル所ナリト云本破壊ニ及ヒタレハ山下ニ別ニ
假殿ヲ構マヘテ神體ヲ遷座セリコ、ニ勝軍飯綱權現ノ六字ヲカ、ハ山下ニ別ニ
作ノ鳥居ヲタツ兩柱ノ間一丈許刻メ云慶安元戊子年八月吉日飯綱權現本地地
神主重之ト社前ニ井アリ 末社 疱瘡神社 本社ニ向ヒ 稻荷社 二ヶ所 同邊ニ
是ヲ供水ニ用ユ普門寺持 權現社 本社ニ向ヒ 稻荷社 同邊ニ 聖天金毘羅合社 山ノ半腹ニ
權現社 本社ニ向ヒ 稻荷社 同邊ニ 聖天金毘羅合社 山ノ半腹ニ 修驗者アリコ、ニ金勝
舟玉社 坂ノ中腹ニアリ 稲荷社 同邊ニ 聖天金毘羅合社 山ノ半腹ニ 修驗者アリコ、ニ金勝

三寶寺 尚慶長二年正月八日寂セリ本尊ノ内慶運寺ノ末瑠理光山ト號ス開山嘆譽和
ノ藥師ハ弘法大師一勅命アリ六十六體ノ弘仁年中諸國ニ安量セラレシ
カハ忽チ病難ヤミシトナリ當國ニ安量セシノ像ハ則チ當寺ノ本尊ニナリ又白蛇
辨天ノ像ヲ安ス此像ハ蛇骨ニテ作リシモノナリ立像ニナリ
問四方 藥師堂 門外ニテ黒燒ノ藥師ノ長三尺許ニシテ諸人ニ立像ニナリ
洞宗 越前永平寺末圓山ニテ號ス久近キテ諸人ニ立像ニナリ
カハ引移シテ石牛天梁ニテ號ス久近キテ諸人ニ立像ニナリ
、此僧ハ寶曆二年八月二十日寂セリト云
開山 天梁ハ正徳四年三月四日寂セリト云
七軒町

下臺町ノツ、キニアリ長ワツカニ一町程

本覺寺 西側ニテ村松院ノ末青木山引イリ石階ス千光國師築西嘉山ノ上ナリ
場ナリ其頃ハ臨濟宗ニテ開山ナル京都建仁寺末派ナリ松院第三世廣元吉當寺ニ住シ
ナレハ全ク勸請ノ開山ナル京都建仁寺末派ナリ松院第三世廣元吉當寺ニ住シ
ノ地蔵洞ニテ改メシト云古ク尊地蔵ハ開基ノ作像長一尺八寸諸廣元吉當寺ニ住シ
ハ兩柱ノ間ニ丈共ニ南向ナリ當寺ノ權現ノ外ニ陸田又寺ノ後ノ方ニ
ナリ此門ノ内ニ石地蔵アリ正七年當寺ノ權現ノ外ニ陸田又寺ノ後ノ方ニ
モ今城跡ノ地ニテ永正七年當寺ノ權現ノ外ニ陸田又寺ノ後ノ方ニ
キ本覺寺ノ地ニテ永正七年當寺ノ權現ノ外ニ陸田又寺ノ後ノ方ニ
ハサモアルヘク覺ユシ 衆察 安表門ス入トセシカト當所ニテ六間半尺ニ四寸許觀音ノ像
古跡ノ條合セ見ルヘシ

西側トモニ軒ナナラヘリ

瀧橋神奈川町トノ境瀧ノ川ニ架ス板橋ナリ長七間幅二間半左右ニ高欄ヲマウケタリ

神奈川町

西ノ町

青木町ノ境瀧ノ橋ノモトヨリ東北ノカタナリ左右ニ町家ナラヘリ

高札場瀧ノ橋ノ側ニテ西側ニアリ

中ノ町

西ノ町ノツ、ギニテ猶東北ノ方ナリコ、ニモ左右ニ軒ツラチタリ

飯田町

西北ヘ折ル横町ナリコ、ヨリ郡中小机ノ邊ヘ通ス或ハ云小机ノ城ヲ飯田ノ城トモ呼フ故ニユノ名アリトコ、ニモ左右ニ町家軒ナラヘリ

成佛寺往還ノ北側ナリ淨土宗ニテ京都知恩院ノ末山ナリ正覺山法雨院ト號ス縁起ノ零ニ云開山ハ入宋弘法ノ沙門ニテ諱ハ覺心ト云信州神林縣ノ人ナリ

俗姓ハ常澄氏永仁六年十月十三日紀州海部郡由良庄覺山興國寺ニシテ寂ス九十二年後醍醐天皇ユリ又圓明國師ノ號ヲ賜ヘリ又三十三年ノ忌辰ニテ寂ス

德二年後醍醐天皇ユリ又圓明國師ノ號ヲ賜ヘリ又三十三年ノ忌辰ニテ寂ス

成佛寺ト號セリ紀州高野ノ茅堂ト一派ニテ深厚山成佛寺ト號スルコトハソノ

ヨリテ起ル故チテ又名ノ字ノ上ニ覺ノ字ヲ置モ至ク當寺ト同シケレハコトモ厚山成佛院ト號セリ又高野ノ茅堂モ覺ノ字ヲ置モ至ク當寺ト同シケレハコトモウツセシコトノ故チテ又高野ノ茅堂モ覺ノ字ヲ置モ至ク當寺ト同シケレハコトモ小松院ト號スル由來テ尋ルニ八皇百一代後小松院ノ御宇此近郷師岡ノ熊野權現ヘ勅願所ノ宣旨ヲ下シ賜ハリ師岡保内十二箇郷ヲ神供ニ寄附セラレテ御湯仰禮カラサリシマリ十二郷ノ中ノ所々ニ散在セル僧院十二所ヲ撰ヒテ社務ト御湯仰禮中御政アリテ一領ノ御朱印及境内三町四方ノ地ヲ賜トセリ御入國ノ頃マテ長年宗兼學ノ寺院ナリ改メシメテ淨土一宗トナリ京都御造立ノ時寺領ヲメレコトモ百四十坪ノ代地ヲ賜リテ二千六百寺寶 時計一 若盤一面 右イッレモ北條左京

今度之德ニ法度自子安他所江被下候下人等者則可取返自他所子安江買取候下人之事者不可返者也仍如件

永祿三年三月廿六日

子安郷百姓等

并代官

禁制

一軍勢甲乙人等濫妨狼藉事

武藏國 師岡保内十二ヶ郷

一放火事

一對地下人百姓非分之儀申懸事

右條々堅令停止訖若於違犯之輩者忽可被處嚴科者也

天正十八年四月日

本附書官印アリ

就當寺法度之儀如此被遣成御朱印候上者彌非分之族聊不可在之者也

天正十八

淺野彈正少弼

七月日

長吉花押

成佛寺并門前中

從備前宰相花房志摩守差越高麗之様子申越候一々被聞召屆候雖然今度如被仰遣候代官以下任御朱印旨可申付候就其大明國へ先懸同備之事備前之宰相都相殘儀迷惑候由違而申越候條輝元隆景ハ先四國衆次ニ可相動旨被仰出候間得其意各へ可申聞候輝元隆景ハ秀家次ニ相動候様ニ可申談候無御渡海以前成次第大明へ可相動候旨右衆中へ尙以可申聞候先々様子切々可注進候也

六月十二日

本附書官印アリ

羽柴東郷侍從との

石田治部少輔との

増田右衛門尉との

大谷刑部少輔との

木村常陸介との

加藤遠江守との

前野但馬守との

熊野社門入テ右コアリ境内ノ鎮守トスニ間ニ二間半ノ社ナリ神體ハ二尺餘ノ
 居石ノ島 稻荷社熊野社ノ天神稻荷ノ二坐ヲ合祀ス例祭ハ年々六月八日ナリ前
 松院門ヲ入テ 福泉院ニ左ノ方 庚申堂小堂ナリ 地藏堂本堂ニ向テ 塔頭見
 此下ノノスル 寶樹院同時ニ 春正廢院松ノ千貫石トテ氏直寄附ノ松樹及石アリ
 皆廢院ナリ 寶樹院同時ニ 良心院同シモ 貞徳院ニ廢セリ ○慶運寺成佛寺
 ナリ淨土宗知恩院末吉祥山芳艸院ト號ス開山定進社音譽聖觀ハ江州甲賀郡ノ
 人ニテ父ヲ望月外記ト云コノ人中年ニ及フマテ子ナカリシニ一日同郡瀧ノ神
 祈極シテ上人ヲ五ウケタリ七歳ノ時母ヲ失ヒ九歳ニ遊學同所瀧村稱明寺ノ運
 二投郷ニ歸リ俄ニ足ノ病アリテ一歩モ來リ芝増上寺ニ遊學同所瀧村稱明寺ノ運
 後故郷ニ歸リ俄ニ足ノ病アリテ一歩モ來リ芝増上寺ニ遊學同所瀧村稱明寺ノ運
 二至リテ丹誠ヲコラシ誦經セシカハ病立トコロニ愈タリソレヨリ攝州兵庫ニ至

リテカノ地ニ西光寺ヲ草創シ其後フタタヒ江戶へ至リ橋場法源寺ノ第二世トナ
 リ又コノ後當寺ヲ開闢セリ其後モトヨリ和歌ノ道ヲ好メリタマハ太田持實ノ入道トナ
 ナリコノ住シテ頃師ヲ信スルコト甚篤シ文明六年六月十七日江戶歌合者ノ其一
 ハ又モヤ山ノ小車ノ乗リ得テミレハ我カアラハコソト以上ノ事跡等ニテ考レ
 ハ當寺ノ開闢ハ永享年中ヨリ得テ文安ノ頃マテアルヘシト寺傳ニモイヘリ本堂ハ
 八間ニ九間南向ナリ本尊彌陀ハ三尺二寸ノ立像ナリ二菩薩ノ像アリ長二尺八寸
 ツ、是モ古物ナリコノ餘内佛ニ阿彌陀一體アリ立像ニシテ長二尺八寸許聖徳ハ
 子ノ御作ナリト云傳フ門九尺西向ハレリ鐘樓本堂ニ向テ左ノナレハ遺作モ
 當寺ノ領七石ノ御朱印ハ慶長四年賜ハレリ鐘樓本堂ニ向テ左ノナレハ遺作モ
 イト煉ナリ鐘ハ第二十一世中興開山是感ノ建立スル熊野社門ヲ入テ向ヒモ
 所ニシテ延寶三乙卯稔七月十六日ノ數字ヲ刻セリ
 三尊ノ彌陀ヲ安ス中尊八寸脇士地藏堂同邊ニアリ
 四寸ツ、イッレモ木像ナリ
 餘ニ直心院觀喜院蓮生院ト
 テ三院アリシカ今ハ廢セリ

濱横町

海邊獵師町ノ方へ通スル所ニシテ中ノ町ノ東カハナリツノ在所ハ飯田道トムカヘ

九番町

中ノ町ノ北ニツ、ケリムカシハ往還ノ間ナニワカナ瀧ノ橋ノ方ヨリ一番二番ト
 次第セシユヘ今ハソノトナヘモヤミシカト九番町ト下ノ十番町ノ名ハ殘レリ然レ
 ハ前ノ西ノ町中ノ町ハ後ニオコリシ名ナルコトシラルサレトコノ所昔九番町ノ地
 ニハアラテ六番町トヨヒシ所ナラント土人イヘリ

十番町

九番町ノ北ニツ、ケリツノコトハ前ニイヘルカコトシ
 金藏院 西側ナリ海道へ三間五尺出ハリタリ新義真首宗山城國醍醐三寶院末ナリ
 醍醐三寶院ノ始祖勝覺僧正ノ開基ナリト云本尊阿彌陀 鐘樓文化九年ノ地震ニ
 作シレヌ二尺餘ノ立像ナリ本堂十間ニ七間突向ナリ 鐘樓破壊シテイマモ遺
 銘ニ及ハヌ
 銘左ニ出ス

武州橋樹郡神奈川金藏院。鈞鐘造之意趣者。爲壽感道榮大禪定門雙親成等正覺。小
 泉八左衛門重忠。年來願望。斯時已成。奉掛華鏡者也。是所謂諸行无常之鐘響。如來說
 法密音。是生滅法之義趣。化身暫現即隱也。爾則依一打者。上徹有頂。因二響者。下通三
 途。免五衰三熱苦。夕者告旅客懇親。朝者覺衆生睡眠。其功不淺。厥德太深。故篤信檀主。
 現世者禍災消除。而子孫繁昌。當來者三輪清淨之成覺無疑。兼亦一天泰平。四海安穩。
 寺内長久。庄内快樂而已。
 住持金藏院權大僧都秀整。

願人武州橋樹郡神奈川小泉八左衛門尉重忠

干時萬治二己亥五月十三日

寺中 寶藏坊 門ヲ入テ右ニアリツカナル寮ナリ 熊野三社 本社一間ニ四尺拜
頃カ當寺へ移セリ例祭ハ年々六月十五日ヨリ同キ十八日マアナリ

荒宿町

十番町ノ北ニツ、ケリ

東光寺 西側ニアリ新義具首宗宿内金藏院ノ門徒ナリ平尾山ト號ス關關ノ年代及
僧モナクテ廢セサルハカリナリ住 不動堂 間半ニ
寺ノ後ニアリ本山ハ第三世大經阿闍梨日輪應元年起立スル所ナリ本寺求長光山
大經院ト號ス本山ハ第三世大經阿闍梨日輪應元年起立スル所ナリ本寺求長光山
ノ五間異向ナリ本師ハ宗祖日蓮ノ像ナリ一級伊豆國ヨリ此地ニ移リ住シケル
波木井善太郎ト云者アリ世ヨリナル信者ニテ毎初池上ノ祖師堂ニ參詣スル
國時善太郎ト云者アリ世ヨリナル信者ニテ毎初池上ノ祖師堂ニ參詣スル
テカ同胞ノ弟日豫ト云モノアリ祖師在世ノ頃ハ十歳許ノ小童ナリシカ黒髮ヲナ
テ祖風ヲ西海マテテ授ケテカセリトホリ法ヲ弘メ老母下總國平賀ニアリ病床ニ臥シ
願ニ日像ニ對面セシトカセリトホリ法ヲ弘メ老母下總國平賀ニアリ病床ニ臥シ
橋邊ニ今我弘通ナカラス日像ニ檢テ下ニ趣テ都師トモニ題目ノ聲ヲヘンシカ
ナラス權門ノ不排勝イカハニシテ檢テ下ニ趣テ都師トモニ題目ノ聲ヲヘンシカ
ヲ出シコレ我ノ不排勝イカハニシテ檢テ下ニ趣テ都師トモニ題目ノ聲ヲヘンシカ
我ニ對面ノオモヒヲシテ檢テ下ニ趣テ都師トモニ題目ノ聲ヲヘンシカ

輪當寺 建立テ法充滿ノ中ヲ恐レコノ像ヲ皮籠ニイレ負テ池上ヘ下リヌンノ後日
勸請ノ板札アリト云々 稻荷社 門ヲ入テ右ニ祠ナリ 日調石像堂 同アタリ
第二世ノ住持ナリトモアリシニヤ ○慈雲寺 同ナラヒニアリコレモ本門寺ノ末寺ナ
ヘ住職ニシテ長十七年六月十七日トシテ再建セリ今コレハ其頃ハ既ニ開闢アリ
五間半異向ナリ 寺寶 曼陀羅一幅 本山第十四世 御手掛梅 本堂ノ前ニアリハ
本尊三寶ヲ安ス 鬼子母神堂 尺二寸許ノ立像ナリ二間ニ大ノ師ノ作トイヒ傳
春コトニ住僧登城ノ 鬼子母神堂 尺二寸許ノ立像ナリ二間ニ大ノ師ノ作トイヒ傳
時梅花ヲ獻セシト云 鬼子母神堂 尺二寸許ノ立像ナリ二間ニ大ノ師ノ作トイヒ傳
鎮守三番神ノ像ヲ相殿トセリト云 ○能滿寺 西側ニアリ古義眞言宗島山
官小泉次太夫吉次カ寄附セル所ナリト云 ○能滿寺 西側ニアリ古義眞言宗島山
現セ本尊虚空藏ハ長五寸許ノ木ノ坐像ナリ相傳フ正安元年八月十三日海支配
法印ハ慶長十九年閏六月朔日寂セラレ本堂ハ八間ニ五間異向ナリ 神明社 境内
元ノ社地長十九年閏六月朔日寂セラレ本堂ハ八間ニ五間異向ナリ 神明社 境内
除地三畝十歩アリト云前ニ鳥居ヲ九尺四方ノ社ナリ正安 稻荷社 地ニツモ境
リ皆巽ノ方ヘ向ヘリ年々九月ノ中祭レリ

新町

荒宿町ノ北ニツ、ケリ

良泉寺 西側ニアリ淨土眞宗京六條東本願寺末海岸山ト號ス開山ヲ良念ト云此僧
僧遺體ト云モノ、時ナリトイヒ傳ヘテス本堂七間ニ六間半異向ナリ 鐘樓 門ヲ入
本尊阿彌陀ノ立像長一尺三寸作ラテス本堂七間ニ六間半異向ナリ 鐘樓 門ヲ入

アリ八尺四方鐘ハ近キモノ
ニテ寛政二年ノ銘文アリ ○長延寺 西側ナリ京六條西本願寺末ナリ海見山ト號
コアリカイトノ頃カ盛所ヘウツセリト云コノ玄永ハ本願寺頭如上人ノ弟子ナ
リ元和六年七月十二日寂セリ本堂七間ニ六間半異向ナリ本尊阿彌陀長二尺餘ノ
立像ナリ惠心僧都ノ作トイ
ヒ傳フレトモタシカナラス

並木町

新町ノ北ヨリ新宿村マテ云此所道ノ左右トモニ並木アルユヘニ此名アリ

觀福寺 西側ナリ大門前數町ノ間ハ年貢地ナリ浄土宗宿内慶運寺末歸國山浦嶋院
コトナレハ詳ナル故テ傳ヘテ後白旗上人中興セシヨリ丹波國與佐郡水ノ江ノ浦
鳴カ子ノコトヲ引テサマノ奇怪ナリコトナリ玉手 觀音堂ノ正面ニアタ
箱ナト云モ今寺寶トセリイヨウケルセリコトナリ立像 石階ノ前ニ
ナリ則チ當寺ノ本堂ナリ異向ト云ヘリモトノ頃カ廢セヨリ鐘モ文化十
アリノ客殿ニ収メ置ク又丘上ニ昔ハ鐘樓アリシカコレモ今ハ廢セヨリ鐘モ文化十
年改錫シトモ及ハス末 客殿觀音堂ニ坐像ニテ長三尺餘ナリ阿彌 龍燈松ノ山
再造ノコトニ及ハス 客殿觀音堂ニ坐像ニテ長三尺餘ナリ阿彌 龍燈松ノ山
昔海上ヨリコトハ龍燈ノメカハリシコトアリ故ニ此名アリコトノ逸ニ
四阿屋アリコトハ龍燈ノメカハリシコトアリ故ニ此名アリコトノ逸ニ

穢多町

東側ニアリ往還ヘ地ノ端五十二間程カ、ル並木敷地マテ出ル除地屋敷二段七畝二
十四歩家數十軒アリ

猿師町

本宿ノ東ノ裏ニテ海岸ヘ一町ハカリ張出セリ

小傳馬町

同續ニアリ

吉祥寺 新義真言宗コトテ當所十番町ノ金藏院ノ住僧隱遁ノ所ナリ本堂五間半ニ開山
問本尊大日ヲ安ス本 庚申堂左ニ入テ 稻荷社ニワツカナル祠ナリ
堂トモコト南向ナリ 舊家百姓源左衛門 年十月六日日本セリ法名ヲ壯嚴院清譽淨哲ト號スコノ人元和九
家ニ仕ヘシト云リ小田原 ○百姓甚左衛門 内海氏ナリト云先祖新四郎ハ當所ニテ
役帳ニモ見エシ人ナリ
鍛冶ヲ業トセシト云
ノ頃ノ文書ヲ藏セリ

屋敷之儀御代言申上付而夏秋二百七十文所永代被出置之間公私御用ニ無御沙
汰可走廻者也仍如件

未十二月廿四日

神奈川

朝比奈右衛門尉奉之

鍛冶新四郎

コノ文書ハ火災ノ時灰燼中ヨリ出セシモノヲウツカニ文字ノミ ○百姓武
助雨宮城主雨宮攝津守家國カ子孫ナリト云其後今ノ武助ニイタルノ由來ヲ傳ヘ

豊頭寺園



此地ノ領主平尾内膳モツテイテ度々防戦アリシコトノ時又兵火ノ爲ニ鳥有トナ
 レリ時ノ僧日照ト云モツテイテ度々防戦アリシコトノ時又兵火ノ爲ニ鳥有トナ
 テ興復セシメヨリ其功勞ヲモッテアリシカハ御入國ノ時東照宮此所ヲ過サセ命セテモ
 内ノ地海邊ニ往還ヘカハリシカハ御入國ノ時東照宮此所ヲ過サセ命セテモ
 スルナリ其後日善ノ道ノ幅セハカリシカハ御入國ノ時東照宮此所ヲ過サセ命セテモ
 ケラレトシトキカノ僧等寺寶記録以下チケルモ寺然リハモトノ如ク相續セリ本
 トハコトトシトキカノ僧等寺寶記録以下チケルモ寺然リハモトノ如ク相續セリ本
 ルノ貫主鎌倉ヘ往來ノ時ハ今モ必當所ニ休息ス 寺寶 日蓮木像一軀ノ一尺三寸
 敬禮セテカ後日蓮救ノ時開基妙湖別テ惜ミコノ像ヲ開眼セリト云 曼陀羅一軸
 筆ナリノ 三十番神堂 門ヲ入テ左ニ四ナリ 稻荷社 同ナリヒ ○豊顯寺 枝郷三ツ
 道ヨリハ半道餘ヲ隔テ西ニ二年正月日蓮宗越後國蒲原郡本成寺ノ末法照山ト號
 ス開山漸巧日多永祿十二年正月日蓮宗越後國蒲原郡本成寺ノ末法照山ト號
 三河國八郡多米村コアリテ本顯寺ト號シテ伊勢新九郎長氏ト交リテ共ニ關東ヘ下
 寺ナリ長兵衛長等ノ武術ヲ修業ノ次ハ權兵衛カノ本國コアリテ本顯寺ト號シテ伊勢
 リ天長年中日相武等ノ武術ヲ修業ノ次ハ權兵衛カノ本國コアリテ本顯寺ト號シテ伊勢
 ウツ照坊日名子郷公日有授與之今當寺ニハ權兵衛カノ本國コアリテ本顯寺ト號シテ伊勢
 孫寂照坊日名子郷公日有授與之今當寺ニハ權兵衛カノ本國コアリテ本顯寺ト號シテ伊勢
 庵トアリ當所ヘウツリ時ノ住僧ナルヘシ本堂八間半ニテ左ノ方ニ寶ヲ開山ト號シテ伊勢
 ハ當所ヘウツリ時ノ住僧ナルヘシ本堂八間半ニテ左ノ方ニ寶ヲ開山ト號シテ伊勢

碑面ニ弘治三年丁巳卯月五日乘尊覺位
 コヤスサレタ多米氏ノ系圖ヲ詳
 ノ墓ナルコトハ其間ケレトモ過去帳ニ
 ス法名ノ元龜三年十二月四日ト影
 リ 運信齋日領墓 同並コレモ北ノハ石
 塔ナリ面ニ日領位天正五年丁丑四月
 廿五日ト飲ハ多米周防守慈父ト然
 ハ日飲ト飲ハ多米周防守慈父ト然
 シ俗稱チノセシ 三澤檀林 境内ノ南
 ルコト現住日珖門派ノ僧徒ト議ヘテ
 享保中ノ河内守ナリ時ニ松平對馬守
 正月二十七日ナリ時ニ松平對馬守
 ヲ明力ヲ合セテ三月六日ナリ時ニ松
 越等力ヲ合セテ三月六日ナリ時ニ松
 五年ニシテ功 門柱間ニ火腕アリ
 ナセリト功 門柱間ニ火腕アリ
 堂 本院寮 講堂ノ表通ニ 玄講寮
 ノ北下表通ニ西側ニ 集講寮 同所
 アリ九間半ニ七間ニ 條講寮 講堂ノ北
 四間半ナリ 條講寮 講堂ノ北

上杉一類ヲウチ破リ十八日ニ鎌倉ニ攻入候所ニ尊氏ステ鎌倉ヲ去テ武州狩野河ノ城ニ堀籠リ十九日狩野河ヘウチ向トキヨシヲ義宗注進ノ狀ヲ南帝ヘ獻セテ立歸ルテ敵陣ヲ擊平ラクヘキコトヲ謀ラシメテ云々トアルハ當城ノコトヲ當所ニヒツタコイフ處モ非レハ姑クコトニ記シ置リトイ

神奈川町 耕地

宿驛ノ西ノ方ヨリ青木町ノ裏ノ方マテ出ハリタリ東ノ方新宿村ヨリ東西子安ノ村々犬牙シ北ハ白幡篠原六角橋ノ三村ニ隣リ西ハ同宿ノ内青木町マテ瀧ノ川ヲ境トス東西凡十三町餘南北ハ二十町餘ナリ東南ハ宿ノ裏ノ方海岸ニテ西北ノ方田畑小山マシハレリ田少ク畑多シ家數千百五十三軒道程ハ江戸日本橋ヨリ七里隔レリ檢地ハ元祿八年安藤對馬守タ、セリコノ後モタヒ、新田ヲ開キシニヨリ寛播磨守正舖カ檢セシモノ享保十六年同十七年フタ、ヒアリ寶曆十一年ニ伊奈半左衛門同十四年ニ一色安藝守石谷備後守小野日向守明和七年ニ伊奈半左衛門寛政八年久世丹後守廣民等各承リテタ、セリ

小名 齋藤分 瀧ノ橋ヨリ乾ノ方チ云小田原役帳ニ宗甫カ知行八貫五百文小机郷齋藤分 十八段目 西ノ方 關下 同邊 奥屋 平尾谷 平尾前 以上皆西ト唱フ方 芝北ノ方 立ツ町 同シモ 深町 宿ノ裏ニ 柳町 同シモ 御殿町 同シモ

大カ山 方西北ノ 白樂山 同邊 西遊寺山 古西遊寺ト云寺アリ地畑ナリ今ハコノ寺アリ 中丸山 今山上ヘ畑タル所ニテ廣キ山ナリ

瀧ノ川 青木町ノ境ヲ流ル水源ハ近郷ノ溜井六ヶ所ヨリ流レ出ルモノ 瀧ノ川合テ水元ニナリナリ川幅六間程當所宿ノ南ニテ海ヘ出ルモノ 瀧ノ川合テ水元ニナリナリ川幅六間程當所宿ノ南ニテ海ヘ出ルモノ 瀧ノ川合テ水元ニナリナリ川幅六間程當所宿ノ南ニテ海ヘ出ルモノ

神太寺村

神太寺村モ神奈川宿ノ西ニ隣レリ昔ハ神臺地トモ書シト見ユ郷庄ノ唱ヲ傳ヘス江
戸日本橋ヨリ七里餘ノ行程ナリ民家スヘテ二十六軒所々ニ散住ス東ハ六角橋村ニ
界ヒ南ハ神奈川宿ノ内青木町ニ隣リ西ヨリ北ヘハ片倉村ニ接セリ東西ヘ四丁南北
十町ニアマレリ當村ハ平地ナレトモ少ク高低アリ天水場ニシテ常ニ旱損ノ患アリ
土性ハ野土砂交レリ小田原記ニ天文六年上杉朝定北條氏綱ヲ攻ントセシ時片倉神
太寺ニ要害ヲトリ出城トセシコト見ユ今片倉ハ鄰村ナレハ正シクコノ地ノコトナ
ルヘケレト其事跡ノクハシキコトヲ傳ヘス村名ノ起リハ近村小机ノ城主笠原越前
守信爲此地ニ一字ヲ草創シテ神太寺ヲ建リ其二世ノ住僧天叟順孝代ニ至テ此寺ヲ
小机村ニ移ス今ノ雲松院是ナリモト當村ニアリシ時ノ寺號ヲ呼テ村名起ルト土人
イヘリ又元龜三年此邊ヲ檢地セシ者鳥山内神臺地雲松院分トアレハ古ハ鳥山村内
ニ係リシ地ナルヘシ雲松院ノ舊地ハ村内ノ中央ヨリ少シク巽ノ方ニアリテ畑トナ
レリ御入國ノ後正保ノ頃ハ伊奈氏ヨリ支配セリ其間ノコト定カナラサト後ニ至リ
テハ飯塚常之丞江川太郎左衛門普沼安十郎中村八太夫伊奈友之助等カ支配ヲ經テ
今ハ大貫次右衛門光豐カ支配ナリ元祿八年安藤對馬守檢地セリ土俗重陽ノ佳節ハ

九月十九日ト定ム其故ハ古ヘ平尾武藏某ト云シ者神奈川ニ於テソレノ年九月九日
討死セシヨリ當村六角橋村トモニ土人其日ヲサクルト云神奈川宿ニテハ武藏カコ
トテ大膽トモ云傳ヘリ是昔ノ領主ナリシニヤ

高札場 一ヶ所村ノ西
北ノ方ニアリ

小名 赤田谷戸 村ノ巽ノ
方ヲ云 長山谷 是モ同
邊ヲ云 市藏谷戸 西南ノ
隅ヲ云

神奈川用水 村ノ西片倉村界ヨリ中央ヲ流ル、コト凡三百八十間餘東ノ方六角橋
村ニ入ル是モ神奈川宿用水ナレハ當村ニ用ナシ爰ニ用ル處ハコノ邊
ノ出ル清水ヲ溜 溜井 東ノ方六角橋村界ニアリ長二十七間幅二十間
テ田間ニ沃ケリ 山王社 西北ノ界丘上ニアリ社ハ並木ノ大門一町餘ヲ入テ南向ナリ大サ一町半ニ
二間此村ノ鎮守ニシテ村民ノ持ナリ鎮座ノ年代ヲ傳ヘス例祭ハ六月十五
日ナ 末社稻荷社 本社ノ傍 稻荷社 村ノ異ノ方ニアリ西向
村民五右衛門カ持ナリ

白旗村

白旗村ハ郡ノ中央ヨリ少シ南ニ寄テアリ江戸日本橋ヨリ七里半ノ行程ナリ家數三
十一軒村内ニ散住ス東ハ子安村ニ隣リ南ハ神奈川宿ニ接シ西ハ篠原村ニシテ北モ
亦同村ナリ東西十一町南北九町半スヘテ山ヨリニシテ土地平カナラス土性ハ陸田
ハ黒土野土赤土ナリ水田ハ上中下共ニ黒土ニシテ殊ニ薄田ハ野土ナリ水陸ノ田相
半セリコノ餘百姓林百六十二箇所アリ段別二十三町二段二十一歩松杉及雜木立リ

御入國ノ後御料所ニシテ伊奈半十郎支配セシ由云傳フ今ハ大貫次右衛門支配セリ
檢地ハ元祿八年安藤對馬守重治糺セリト云

高札場 字龜久保谷戸ノ東
庚申堂ノ調ニアリ

小名 中谷戸 村ノ中ニ云 西谷戸 西ニ云 上谷戸 村ノ方後原 龜久保 中央ヨリ少

溜井 村ノ西北ノ方篠原村ノ界ニアリ長八十六間幅ハ廣キ所ニテ三十七間ホト狹

八幡社 村ノ中央丘上ニアリ九尺ニ二間南向ナリ神體ハ木ノ立像ニテ長八寸餘有
ノ持ナリワカ近キ頃 ○稻荷社 村北ノ丘上ニ云

片倉村

片倉村ハ郡ノ坤ノ方ニアリ郷庄ノ唱ヲ失フ江戸日本橋ヨリ八里餘ノ行程ナリ民家
三十一軒所々ニ住ス地形小カサナリ谷間澤多シ其アタリニ水田少シクアリ故ニ陸
田ノ方多シ土性ハ野土赤土交レリ村内スヘテ林五十七箇所イツレモ百姓持ニシテ
所々ニアリスヘテ二十八町九段六畝三步當村ノ四境東ハ六角橋神太寺ノ二村ニ隣
リ南ハ帷子町ニ界ヒ西ハ三枚橋村下菅田村ヨリ北ノ方ハマタ三枚橋岸根ノ兩村ニ

及ヘリ村ノ廣サハ凡東西ヘ五町餘南北十七町餘ナリ此村モ開闢ハ知サントモ昔ハ
上杉北條等ノ分國ニシテ御入國ノ後ハ御料所ニナレリ正保ノ頃伊奈半十郎カ家ニ
テ支配ス夫ヨリ志村田宮岩手伊右衛門辻源五郎池田喜八郎久保田十左衛門飯塚伊
兵衛江川太郎左衛門伊奈攝津守菅沼安十郎等カ支配ヲ經テ今ハ大貫治右衛門預リ
奉ル檢地ハ元祿八年安藤對馬守カ承リニテアリシト云

小名 本宮 村ノ北ニ云 海老久保 北ノ谷合 三ツ田 耕地ナリ 池田 是モ東ニ
庚塚 邊ニモ同 岡毛 中央ヨリ少シ 寺下 村ノ中 大丸 西ノ方 五段野 西寄村
境ヲ 中丸 西ノ方谷ノ丘 佛切臺 南ノ方小高 田向 西ニテ南 池谷戸 是モ南

溜井二箇所 共ニ西南ノ間字池谷ニツテ此村ノ用水ニシテ當村ニテハ用ヒス
杉山社 村ノ東ニ石ノ島居ヲ建コシモ西向ナリ例祭年々六月十五日 別當淨遠
寺 社ノ北ニ隣レリ日進宗ナリ房州小湊誕生寺末神光山ト號ス本尊三寶ヲ安ス
正年中一宇ノ精舎トナシ片倉山ト號シ江戶谷中感應寺ノ末トナレリ住職種
日宛文祿二年正月二十八日寂夫ヨリ二十餘年斷絶セシカ後寶林院日住住職種
寛永二年八月十五日遷化ス此住僧ヲ以今ハ開基ト稱セリ寺地ハ字元宮ト云所ニ
アリシカ年代知ラス日遷化ス此住僧ヲ以今ハ開基ト稱セリ寺地ハ字元宮ト云所ニ
年安藤對馬守檢地ノ時社地ヲ除キリ夫日

下菅田村

下菅田村ハ郡ノ南ニアリ郷名ヲ失ヘリ今或ハ神奈川郷トモ呼リ小机領ノ内ナレト
 土人ハコレヲ庄名トセリ江戸日本橋ヨリ行程八里東ハ鳥山三枚橋片倉ノ三村ニ鄰
 リ南ハ羽澤村ニ接シ西ハ都筑郡内上菅田鴨居本郷ノ三村ニテ北ハ小机村ナリ東西
 三十町南北十六町民家百五軒村内小山多ク谷間ニ家居ヲ結ヘリ土性ハ黒土野土打
 交リ畑多ク田少シ天水ノ場ナレハ旱損ノ患アリ林合セテ三町五段一步村内所々ニ
 散在シ何レモ村民ノ林ナリ土地ニ應シタレハ松櫛ノ類ヲ多ク植ユ北ニヨリ一條ノ
 道ヲ開ク三枚橋村ヨリ入り都筑郡ノ内鴨居村ニ貫ケリ村内ヲ經ルコト三十町是ヲ
 飯田道ト云ソノ故ハ土人ノ説ニ鄰村小机城ヲ或ハ飯田城トモ云ヒシ故コノ名ヲ得
 シト云ヘリ按ニ郡内小机村雲松院ニ藏セル笠原越前守信爲カ享祿二年ノ文書ニ熊
 野堂ノ地早雲寺長氏入道ノ茶湯料トシテ寄附セルヨシヲ載タリ今村内ノ小名ニ熊
 野堂ト云アリ則コノ所ナルヘシ彼文書ニ菅田トハ記サスシテタ、熊野堂ト書タル
 ハコノ村古ヘ小机村ノ内ニシテ小机落城ノ頃ハ此道多ク原野ナリシヲ其後隣郡菅
 田ノ村民來テ開キシヨリ本村ヲ上トシ爰ヲ下トナセシニヤサアラハ享祿ノ頃ヨリ
 後今ノ村名起シコト知ヘシサレト慥ナルコトハ考フヘカラスコノ地往昔ハ小机城
 主ノ領所ナルヘシ御入國ノ後ハ御料又酒井河内守高尾孫兵衛二人ノ領地入アロタ
 リシカ元祿十二年酒井氏ノ知行ハ上地トナリ酒依清十郎知ル所トナレリ今御料所
 ノ地ヲハ大貫次右衛門支配シ其他ハ高尾學之丞酒依清左衛門ノ知行交レリ

高札場ニケ所一ハ中村組ニアリ御料ノ方ナリ
 小名 中村組ニアリ北 戸倉組 中村組ヨリ西ニアリ戸倉氏住セル 熊野堂組ノ
 東ニアリ享祿ノ頃ハヤ此名 日向根組 戸倉組ノ西 下村組 隣ニ東ニ 道慶谷
 アルコトハ前ニ見エタリ 故此名アリト彼土人云リ又爰ノ土人ハ往昔道慶トイヘル醫師アリシ故名トセ
 ルト何カ正シ 道祖神戶ナリ 田縁村ノ異 的場村ノ北 マル山 西村ノ 吉
 原ノ是モ村

土橋 字嶺渡コアリ悪水堀ニ架ス長六
 用水トナセリ 〇悪水堀二箇所 小机ノ北ニアリ堀ノ幅四間都筑郡鴨居村ヨリ入
 經ルコト三町一ハ東方コニアリ堀ノ幅二間許當村ト片倉三
 枚橋ト雨村ノ中間ヲ流ルコト邊コトハ名ツケテ三枚橋ト唱フ
 神明社 小名十三塚コアリ鎮座ノ初ヲ知ラス村ノ鎮守ナリ社一間半ニ二間巽ニ向
 六日村内 〇八幡社 小名下村組ニアリ社並ハ二間半ニ二間西向入口コト木ノ島居ヲ
 最勝寺持 〇八幡社 小名下村組ニアリ社並ハ二間半ニ二間西向入口コト木ノ島居ヲ

〇杉山社 小名二間前ニ木ノ島居ヲ立村内長道寺持 〇杉山社 小名日向根コアリ
 是モ山王稻荷ヲ相

殿トス社ハ三間ニ二間神體不動ノ立像
一尺許社前ニ木ノ鳥居ヲ立坤ニ向フ
○御嶽社 小名中村組ニアリテ其ノ坂ヲ下
アリテ木ノ鳥居 末社稻荷社 本社ノ左
○山王社 村ノ中央

長道寺 山ノ北ニ元ニ日蓮宗池上本門寺ノ末山正壽山ト號ス
木ヲ氏トス法號ヲ信經院官藤ト云客殿五間半四方南向本尊三寶
番神堂 門ヲ入
安セリトモ坐像長三寸三
○專稱寺 明徳元ノ隔ニ八月七日寂ス客殿六間半ニ開山
十何レモ坐像長三寸三
○觀音堂 門ヲ入テ右ノ方ニ尺運慶ノ作ト云
東南ノ間ニ向ッ本尊阿彌陀立 觀音堂 門ヲ入テ右ノ方ニ尺運慶ノ作ト云

勝寺 村ノ東ノ方ニ古義新首宗鳥山村三會寺ノ末熊野山ト號ス
ハコノ僧都ノ開山トモカサモラシクハ草創ノ年歴モ推シル
富士淺間社
小祠ナリ小高 秋葉子權現金毘羅合殿 後ノ高キ所ニ祠境内背 熊野社 境内ニ當リ
ノ門ト並テ別ニ門ヲ設ケリ社ハ 淺間社 門ヲ入テ右ノ方ニ本祠ニアリ

音堂 門ノ前ニ小高キ所ニ堂乾コト向ヒテ方正觀音ノ立 墳墓古塚 小名十三塚ニコレ
サレト古ハ十三アリシナリカラ戦死セシ人ヲ埋メシトイヘト健ナルコトハモト
地ニ於テ戦争アリシナリカラ戦死セシ人ヲ埋メシトイヘト健ナルコトハモト

舊家名主藤左衛門 酒依清左衛門采地ノ民ナリ先祖ハ笠原氏ノ家士ニテ川原石倉
古刀一振 鎧一筋 家ニ傳ハル刀ハ無銘ニシテ長二尺四寸五分柄ハ長八寸作リモ
無銘ナリコノ外ニ鞍モアリシカ
イツノ頃ニヤ失テ今ハナシカ

無銘ナリコノ外ニ鞍モアリシカ
イツノ頃ニヤ失テ今ハナシカ

新編武藏風土記稿卷之七十四終

新編武藏風土記稿卷之七十四目錄

橘樹郡之十四

川崎領

市場村

潮田村

渡田村

大島村

堀之内村

川中島村

中島村

壹澤村

下新田

小田村

池上新田

大師河原村

稻荷新田

新編武藏風土記稿卷之七十一

橘樹郡之十四

川崎領

川崎領ハ郡ノ東邊ニアリ領内二十六村其間南北ヲ貫テ東海道ノ往來ニカ、レルハ小土呂砂子新宿久根崎ノ四町ニシテ是川崎宿ナリユノ外ニ市場村モ海道ニカ、レリ爰モ東邊ハ海濱ニ接シ西ハ稻毛領ニ交リ南ハ神奈川領ニ隣リ北ハ多磨川ヲ隔テ荏原郡六郷領ニ及ヘリ大抵東西へ一里餘南北へモ一里ニアマレル地ナリ

市場村

市場村ハ川崎宿ノ西ニ並ヒテ大抵東西南北十二町餘南ハ鶴見村ニ接シ北ハ矢向下末吉ノ二村ニ交リ東ハモトヨリ川崎宿ニテ潮田用水堀ヲ以カキリ西ハ古川ヲ隔テ上末吉ニサカフ又東南ノ間ニテハ菅小田ノ二村ニモ少シク交レリ村内スヘテ平行ニシテ高低ナク土性ハ眞土ニ砂錯レリ水田多ク陸田少シ又蘆原芝原竹藪松雜木ノ林等許多アリ各貢稅ヲ奉リ古ハ村ノ西北ノ方ニ民居ヲナセシニ其後東海道今ノ地ニ開ケシヨリ隣村川崎宿等トヒトシテ移轉スト云サレハ今モ往古民家多キ所ノ畑ヲ字シテ元屋敷ト唱ヘリ村ノ開ケシ年代ハ傳ヘス御打入ノ後ハ御料所ニテ伊奈半

十郎カ支配所ナリシニ貞享ノ末ヨリ御代官岩出伊右衛門カ支配ニ屬シ元祿ノ始村
内四十石餘ノ地ヲサキテ木造金彌ニ賜ヒシニイカナル故アリテヤ幾程ナク復御料
所ニカヘサレシト云リ其後ハ打續テ御料所トナリ御代官田中休藏柴村藤右衛門舟
橋安左衛門志村多官伊奈半左衛門等相替テ支配セシニ寛政四年ヨリ大貫次左衛門
カハレリ檢地ハ寛永二十一年伊奈半十郎元祿十年織田越前守カウケタマハリテ租
税ノ數ヲサタメシトシノ後明和七年伊奈半左衛門カ檢地セシコトアレト是ハ後年
開キ新田ヲ檢セシニチナヘテ村内ニ及ヒシニアラス東海道ノ村内ニカ、ルコト
凡九丁餘南ノ方鶴見村ヨリ東ノ方川崎宿ニ達ス民家ハ四十三軒ナリ

高札場

東海道往還ノ内一
小名 道上 東海道往還ノ上トイフ義ナリト 道下 同ノ往還ニ對シテ東南ノ方ヲ
東海道往還ノ内川崎宿 中宿 上宿ノ南ニ續キ 下宿 中宿ノ方ナリ又 橋場 鶴見橋
云 大杉橋場ト云宿 元屋敷 前北ノ方ナリ往古東海道今ノ地ニ移サレサル
鶴見川 村ノ西末吉村ヨリ流レ來リ東流シテ澤見岡村ノ間ニハカク呼ビサレ
ツク時ハ水滿溢レテ平地ニ流スル川幅十八間ヨリ二十間餘ニ及フ秋雨ノ降ル
コトヨリヤ、モスレハ往來ニ絶スル云 ○古川村ノ枝流ナリ西ヘカ、リテ流ル
ニ水ヲ末吉村ト當村ト界川トナリカ、利ノ日カ、記セシ條爲ニ未吉村ノ内 ○沼南
ヘ水流ヲ轉シタレハ古川トハ唱ヘリト未吉村ノ記セシ條爲ニ未吉村ノ内 ○沼南

原村ノ境 ○用水 宿河原用水ノ末流ヲ引用ユ南河原村ヨリ入レリ村 ○惡水堀 村ノ所
地ヨリ惡水ヲ沃ケルモノ一條ノ堀トナリ 餘水ハ鶴見川ニ落入レリ村 ○惡水堀 村ノ所
ナリ海道ヲ貫テ末流ハ鶴見川ニ入リ 餘水ハ鶴見川ニ落入レリ村 ○惡水堀 村ノ所
産物 鶴見餅 慶長年中惠比須屋某ト云モノノ鶴見橋ノ邊ニ住セシトキ初テ製セ
米餠頭トヨフ鶴見橋ノ邊ニ軒ニ製スルモノ五軒ニ及ヘリ往來ノ旅人コレヲ籠ニイ
エケレト次ヲ製スルモノ五軒ニ及ヘリ往來ノ旅人コレヲ籠ニイ
ニ其名頗モ聞ユリ

鶴見橋 東海道ノ内鶴見川ニ架ス橋名ノ
熊野社 東海道往來ノ間ニ西ノ方ニ立別當遍照院ニ耕地スル中ニ去帳ニ弘仁四年ノ社
鎮座トスレト他ノ證ニキナケレハ今ソノ舊地ヲ無稽ノ社ト呼ビ又土人ノ傳ニ當
社ハ往古村ノ西北ノ方ニ鎮座セリ今ソノ舊地ヲ無稽ノ社ト呼ビ又土人ノ傳ニ當
モ大低東海道ヲ轉セラ九月十五日頃移リ ○伊勢宮 海道ト熊野社ト呼ビ又土人ノ傳ニ當
海道ヨリ北ノ方五町許ニ上屋ヲ立 ○若宮八幡社 是モ海道中ニ北ヘテ二町餘隔
四ノ方ノ祠ニテ九尺四方ノ上屋ヲ立 ○若宮八幡社 是モ海道中ニ北ヘテ二町餘隔
未タ再建ニ及ハス云 ○神明社 蹟ヲ以テ上ノ西ノ方ニ四町餘隔
遍照院 言ノ西南海道ヨリ西北ノ方ニ八間退テアリ光明山金剛寺ト號ス新義具
此ノ人明暦二年六月六日寂當寺古ハ今寺號ノ稱セシカ近頃避ルコトアリテ院號ヲ
唱ヘリト又昔ハ村ノ西方ニ住シテ今寺號ノ稱セシカ近頃避ルコトアリテ院號ヲ
後ノ代ハ傳ヘサレト是モ恐シハ東海道轉テ移アリテ安置ス
メ鑄ノ鐘ニ益ナケレハ略ス 觀音堂 鐘樓ノ觀音ヲ安置ス
モ考證ニ益ナケレハ略ス 觀音堂 鐘樓ノ觀音ヲ安置ス

神明社 蹟ヲ以テ上ノ西ノ方ニ八間退テアリ光明山金剛寺ト號ス新義具
此ノ人明暦二年六月六日寂當寺古ハ今寺號ノ稱セシカ近頃避ルコトアリテ院號ヲ
唱ヘリト又昔ハ村ノ西方ニ住シテ今寺號ノ稱セシカ近頃避ルコトアリテ院號ヲ
後ノ代ハ傳ヘサレト是モ恐シハ東海道轉テ移アリテ安置ス
メ鑄ノ鐘ニ益ナケレハ略ス 觀音堂 鐘樓ノ觀音ヲ安置ス
モ考證ニ益ナケレハ略ス 觀音堂 鐘樓ノ觀音ヲ安置ス

神明社 蹟ヲ以テ上ノ西ノ方ニ八間退テアリ光明山金剛寺ト號ス新義具
此ノ人明暦二年六月六日寂當寺古ハ今寺號ノ稱セシカ近頃避ルコトアリテ院號ヲ
唱ヘリト又昔ハ村ノ西方ニ住シテ今寺號ノ稱セシカ近頃避ルコトアリテ院號ヲ
後ノ代ハ傳ヘサレト是モ恐シハ東海道轉テ移アリテ安置ス
メ鑄ノ鐘ニ益ナケレハ略ス 觀音堂 鐘樓ノ觀音ヲ安置ス
モ考證ニ益ナケレハ略ス 觀音堂 鐘樓ノ觀音ヲ安置ス

社觀音堂ノ○專念寺 東北ノ方海道ヨリ東へ六十間餘退テアリ一心山稱名院ト號
觀音堂 客殿ノ前ノアリ二間半ニ
四間本尊阿彌陀坐像二尺五寸許ナルヲ安ス 觀音堂 客殿ノ前ノアリ二間半ニ
ナルヲ安ス臺座ハ唐木ト見ユ傳ヘ云佛師定朝カ作ニシテ近江國石山寺觀音ノ摸
寫ナリト始ハ故有テ江戸芝井町ニ住セシ商人ノ家ニ持傳シテ元祿年中カノ商人
カ最愛ノ女ノ死セシ時ツノ善提ノ爲ニ當寺ニ寄附セリト又此堂ハ昔境内ニ祀レ
ル富士淺間ノ本地佛十一面觀音ヲ安セシ堂ナルカ年歴テ破壞ニ及ヒ本尊モ失ヒ
タルヲ再興セシ
モノト云傳ヘリ

菅澤村

菅澤村ハ郡ノ東ニアリ江戸日本橋マテ行程五里半村ノ四境東ハ小田村下新田ノ二
村ニ接シ西ハ鶴見川ヲ隔テ、鶴見村ニ隣リ南ハ潮田村ニテ北ハ市場村ニ交レリ村
ノ廣サ凡東西へ十町ニアマレリ南北ハセハキ所ニテハ一町許或ハ二三町ニ及ヘル
所モアリ家數二十七軒此村平地ニシテ田多ク畑少シ土性ハ眞土ナリ茅野スヘテ六
段四畝七步芝原四段七畝二十步イツレモ海邊ニアリ開墾ノ年代ヲ傳ヘス御代官ノ
遷替ハ近村ニ同クシテ今ハ大貫次右衛門光豐カ支配所ナリ檢地ハ元祿十五年織田
越前守ナリ

高札場ニアリ

小名 道上耕地 村ノ東ノ 道下耕地 同レホト

鶴見川

長一町許ニシテ方市場村ヨリ入テ當村ヲ流ルト凡
寶泉寺 村ノ西ニシテ龍澤山ト號ス天台宗同郡駒林村金藏寺門徒ナリ文祿二年當
本尊大日坐像ニテ長七寸 山王社 社地ハ境内ニ石鳥居ヲ立リ社大ニテ二間半異ニ
許客殿六間ニ五間門異向 天神稻荷相社 境内ニ入テ左リニアリ ○供養塚ニケ所一ハ東ノ方ニアリ九步程ノ
メ祭ルヘト村民ヲ惱セシコトアリ其時里正蛇ニ向テ速ニ形ヲ隱サハ山神ト崇
地ニシテ塚上ニ松一
椽アリ寶泉寺ノ持

潮田村

潮田村ハ郡ノ東ニアリ土人ハ丸子庄トモ云傳フレト今ハサタカナラストイヘリ小
田原役帳ニヨレハ小机ノ内トアリ江戸日本橋ヨリ行程凡六里半村ノ四境東ハ下新
田ニテ少シク北ニヨリテハ小田村ニ接セリ西ハ鶴見川ヲ隔テ、生麥村ニ隣リ南ハ
スヘテ海岸ニ添處千間許ニシテ北ハ菅澤村ニ交レリ村ノ廣サ東西二十八町餘南北
十六町ナリ家數二百四十七軒此村ハ平地ニシテ田多ク畑少シ土性ハ眞土ニシテ砂
交レリ萱野一町五段鶴見川附ノ海邊ニアリ野八町八段九畝十步海邊ニテ野九町二
段九畝是モ同ホトリニアリ當村開墾ノ年代ハ傳ヘス永祿ノ頃ハ太田新六郎康資カ
知行十二貫文ソノ外十六貫八百五十四文當所ノ内地頭方ト役帳ニアリ又向山某カ

知行三十四貫百十七文ノ由シルセリ正保ノ頃ニハ松下孫十郎ノ知トコロニシテ寶永四年ニ至リ海岸堤ノ修復等自力ニ及ハサリシヲ憂ヒ公ニ願ヒ奉リ同郡小倉村ニテ替地ヲ給ヒシト云後伊奈半左衛門預リ奉リ田中休藏ヨリ川崎平右衛門伊奈備前守等ノ支配ヲ經テ今大貫次右衛門預リ奉リ又檢地ハ寛文十年地頭松下氏ヨリ頼ニヨリ伊奈半十郎檢地ス新田ノ檢地ハ明和五年伊奈備前守寛政元年伊奈攝津守等ナ

高札場 北ノ方ニアリ

小名 東江村ノ方ニアリ

北新田 村ノ北ニアリ

鐵念 南ノ方ニアリ

四家 北ノ方ニアリ

川端 鶴見川ノ方ニアリ

中端 村ノ方ニアリ

鶴見川 川幅深村ヨリ入テ西ノ村境ヲ流ルル村ニカトルコト七百五間末流ハ海ニ入ル
岩ナレハ歩行コト名アルニヤ湖ニシテ用水 菅澤村ヨリ出テ沃ク幅僅ニ五尺餘
海岸湖 除堤長千間程ナリ南方ニ築ケリ一ツハ
鶴見川 資曆十四年池上太郎左衛門カ願ニヨツテ燒出セリ鹽竈ハ巽ノ方西岸ニアリ
産物 鹽一町四段九畝十五歩西南ノ方ニ一町七段許ノ葦野アリ巽ニテモ元祿ノ頃マテハ鹽ヲ製シヌ其稼ヲ廢
三嶽社 祭年々西ニアリ本社三間ニ二間南ニ向ツ石ノ鳥居ヲ社前ニタツ例
○杉山社

社ノ北ニ祭年々九月九日社南ニ向ツ石ノ鳥居ヲ社前ニタツ例
○貴船社 西ノ方居村ニアリ
○天神社 北ノ方ニアリ
○稻荷社 三ヶ所 鉄念下ニアリ
○白山社 村ノ中央ニアリ
○神明社 村ノ中央ニアリ
○若宮八幡社 村ノ東南ニアリ
○第六天社 村ノ西ニアリ
○大聖寺 行寺末寺ナリ開山ハ傳ヘサレト境内ニ第四世ノ住持祐秀ノ墓ヲ見ル
永十六年九月十二日示寂スルトキハ開山ノ年代ハ古キコトナル
○正善院 山ノ西ニアリ
○東漸寺 號ス歴代ノ内秀譽寛文八年十月十六日示寂ト記セシノミナ
○鐘樓 方鐘ニ寶曆八年ノ銘アリ
○藥師堂 境内ニ入テ先ノ許本堂ハ傳ヘス本尊大日坐
○天滿宮 同シ邊ニ
○地藏堂 門前ニアリ
○光永寺 字下辻ニアリ
○辨天社 尺四方向ノ方ニアリ
○稻荷社 小祠ヲ建光永

大聖寺 行寺末寺ナリ開山ハ傳ヘサレト境内ニ第四世ノ住持祐秀ノ墓ヲ見ル
永十六年九月十二日示寂スルトキハ開山ノ年代ハ古キコトナル
○正善院 山ノ西ニアリ
○東漸寺 號ス歴代ノ内秀譽寛文八年十月十六日示寂ト記セシノミナ
○鐘樓 方鐘ニ寶曆八年ノ銘アリ
○藥師堂 境内ニ入テ先ノ許本堂ハ傳ヘス本尊大日坐
○天滿宮 同シ邊ニ
○地藏堂 門前ニアリ
○光永寺 字下辻ニアリ
○辨天社 尺四方向ノ方ニアリ
○稻荷社 小祠ヲ建光永
○神明社 村ノ中央ニアリ
○若宮八幡社 村ノ東南ニアリ
○第六天社 村ノ西ニアリ
○大聖寺 行寺末寺ナリ開山ハ傳ヘサレト境内ニ第四世ノ住持祐秀ノ墓ヲ見ル
永十六年九月十二日示寂スルトキハ開山ノ年代ハ古キコトナル
○正善院 山ノ西ニアリ
○東漸寺 號ス歴代ノ内秀譽寛文八年十月十六日示寂ト記セシノミナ
○鐘樓 方鐘ニ寶曆八年ノ銘アリ
○藥師堂 境内ニ入テ先ノ許本堂ハ傳ヘス本尊大日坐
○天滿宮 同シ邊ニ
○地藏堂 門前ニアリ
○光永寺 字下辻ニアリ
○辨天社 尺四方向ノ方ニアリ
○稻荷社 小祠ヲ建光永

後當國ニ來リ天正四年四月此所ニ庵ヲ結ヒ文祿四年九月十日寂ス光興ノ嫡男中務光行ノ嫡子ヲ潮田左馬介光永ト云光興初ハ入野ト名乗シカ後ニ潮田ニ改メトイヘリコレハ當所ニウツリ住テ在名ヲ名乗シニヤ光永カツテ一字ノ寺閣ヲ受コ營ミシニヨリ潮田山ト號シ光永寺ト名ツクコノ光行ハ北條左京大夫氏康ノ旗下ニ屬セシ人ナルコトイヘリ此人永祿十一年正月二十三日卒ス光永ノ法號ヲ花岳了臺大禪定門ト云天正十二年三月十八日卒セシ人ナリ父子トモニ當寺ニ位牌ヲ安セリ本堂六間半ニ六 藥師堂 境内ニ入テ左コアリ堂二間四方藥師ハ立像間東向ナリ門モ同シ

下新田

下新田ハ郡ノ東ニアリ川崎領ニシテ江戸日本橋へ五里餘ノ行程ナリ村ノ四境東ハ小田村西ハ潮田村ニ交レリ北ノ方ハ菅澤村ニ接シ南ハスヘテ海岸ニ添テアリ東西凡五町南北三町程ナリ家數三十一軒當村開墾ハ元和四年ノ事トノミ云傳フスヘテ土性ハ砂或ハ赤真土錯レリ御代官ノ遷代ハ潮田村ニ同シ秣場七畝十步茅野一段二畝二十四步アリ檢地ハ元祿十年織田越前守承レリ

善性寺 村ノ東ノ方ニヨレリ新義真言宗同郡神奈川宿金藏院門徒傳榮山世尊院ト號ス開山ヲ詳ニセス寺傳ニ元文四年ノ起立ナリトイヘトモ一念法師ト云モノハ位牌アリテ元祿十六年六月寂ストイヘハ元文ヨリ前開ケシ寺ナルコトシルヘシ本堂西向ニテ五間ニ四間本尊大日坐像ニシテ二尺ハカリナルヲ安ス福吉稻荷 境内鎮守ナリ本社宮作ニシテ茅屋ナリ拜殿二間ニ一間半石ノ鳥居ヲ立

渡田村

渡田村ハ小田村ノ北ニアリ昔ハ村名ヲ巨田ト書シヨシコレハ新田義貞ノ家人巨新左衛門早勝カ舊領ナルニヨリ右ノ文字ヲ書シニヤト訛號定カナルコトハ知サレト村内成就院ノ傳ニイヘリ又昔稻毛庄トモ唱ヘント村民傳ヘタリ江戸日本橋へ行程四里村ノ四境東ハ大島村ニ界ヒ西ハ川崎宿ニ交リ南ハ小田村マダ海岸ニツク所長凡九百四十間餘ナリ北ノ方ハ堀内村川崎宿ニモ接セリ東西十四町餘南北七町餘ナリ家數百三十軒所々ニ散住ス當邊ノ方ハ砂交レリソノ邊スヘテ萱野芝原等ニシテ秣場モソノアタリニアリ御入國ノ後ハ伊奈半十郎カ家ニテ代々預リ奉リソノ後御代官ノ遷替アツテ今大貫次右衛門支配セリ檢地ハ元祿十年織田越前守ナリ其後新田ノ檢地ハ寛延四年伊奈半左衛門忠辰安永八年其子伊奈半左衛門忠郁寛政七年同九年ニハ大貫次右衛門檢地セリ

高札場 村ノ中央ヨリ東ノ方ニアリ

小名 若坊 巽ノ方 地路 東ノ方 中瀬耕地 西ノ方 本木耕地 北ノ方 田向 北ノ方

用水 川崎宿ノ用水ヲ引テ當村ノ田間ニ溉キ餘水ハス 〇潮除堤 長九百四十四間南

太神宮 村ノ西ニアリ本社東向ニテワツカノ宮造ナリ覆屋二間ニ 〇辨天社 村ノ方ニアリ森山トモイヘル總カナル社ナリ 〇御靈社 村ノ西成就院ノ邊ニアリ祠ヲ置

傳云此村ハ亘新左衛門早勝ノ苗領ニシテ早勝ハ永和三年七月二日卒ス
村民舊恩ヲ報セントテ宅地ノ跡ニ小祠ヲ營ミ早勝ヲ御靈ノ宮ト祝ヘリ
社ヲ馬ノ中央ニ形ナリ南向ニ亘新左衛門内ニ小祠ヲ置テ神體ハ鳥帽子素菟ニテ弓矢ヲ持
ハ三間半ニ肌ヲ離サ、鳥居兩柱ノ間八尺コト并成院持寺傳ニシテ新田左中將
義貞平日肌ヲ離サ、鳥居兩柱ノ間八尺コト并成院持寺傳ニシテ新田左中將
亘早勝泥中ニ埋メ一邑舉テ鎮守ト崇メ祀シテ村民早勝ニ請求テ清潔ノ地ヲモテ
村内土中ニ埋メ一邑舉テ鎮守ト崇メ祀シテ村民早勝ニ請求テ清潔ノ地ヲモテ
院ノ持ナリ

成就院 寺ノ西ニアリ明王山聖無動寺ト號ス新義具言宗荏原郡高畑村寶藏院天
レヨリ其後證トスヘキ物ナリ願フヘキ便リナクハ自ラ盜ヘシタ、口碑
傳ヘタリ又文明年中紀州高野山ノ僧明辨ノ開基ノ由ナレト其地ナルコトハ今
不動堂 境内ニ入テ左ノ方ニアリ二童子夢ニ弘法大師ノ作ニシテ新田左中將義貞武州
郡亘田ノ里ニ安置セシ不勳ノ所ニ入テ告テ東向ニテ夫ヨリシテ義貞守
本尊トシテシト云傳フ立像長一尺五寸餘堂ノ大サ東向ニテ夫ヨリシテ義貞守
音堂 境内ニ三寸許ノ如意輪觀音ニ 地藏堂 像門前ニ建リ繞ノ平屋ナリ石ノ
寺ノ背後墓所ノ中ニクテハ當寺ヲ開闢セシト云文明年中徳治三年ハ百三十年前ノコト
花園院 御即位ノ年ナレハ當寺ヲ開闢セシト云文明年中徳治三年ハ百三十年前ノコト
此墓所當寺境内ノ外ニテ別ニ八畝餘地ナリ ○東光院 新義具言宗荏原郡高畑村寶
瞻院門徒開山詳ナラス今傳フル所ニ世代ノ古キハ權大僧都辨祐寛永十九年七
月三日示寂ストアリ本尊藥師坐像ニシテ長一尺五寸許容殿五間ニ四間半ナリ
觀音堂 村ノ北續キコトアリ堂ハ平屋ニシテ三間四方觀音立像ニシテ長二尺餘川崎宿

尺八寸 ○庚申堂 成院ノ前ニアリ堂ハ二間四方西向ナリ ○供養塚 村ノ東海岸ニ
ノ高サコシテ塚上小竹生茂リ内ニ孤松アリ土人或ハ狐塚トモイヘリ上ニ五輪
ノ石塔ヲツ成院ノ傳ニハ栗生左衛門尉忠貞ノ骨ヲ埋メ、故栗生塚ト唱ト云
ヘトモサコハアヲズ六十年程前ニ五輪ノ塔ハ建シモノ
コト供養ニヨリテ後人ノ偽作セシナリト村民イヘリ
堂屋敷跡 村ノ中央ニアリ今猶二千三百ノ見捨地ナリ昔不動堂アリシトノ傳ヘ
十歩トアレハ恐クハ其跡ヲ知ス然レトモ寛永ノ頃ニシテ物ニ不動院地中三畝
彼寺ノ境内ニアル不動堂昔コノ地ニアリテ別ニ一寺ナリシコトヤ

小田村

小田村ハ下新田ノ北ニアリ郷庄ノ唱ヲ失フ小田原北條家人所領役帳ニ小菅攝津守
カ知行四十貫八百四文稻毛小田村トアリ是ヲ以テ見レハ此頃マテハ稻毛ノ庄ノ内
ト見エタリ江戸日本橋ヨリ行程五里餘村ノ廣サ東西へ四町許南北ハ十三町ホト四
境ノ村々ハ東ノ方渡田村ニ隣リ南ハ下新田ニ接シ又海濱ニシヘル地千三百八間西
ハ菅澤市場ノ二村ニ及ヒ北ハ川崎宿ナリスヘテ村内モ平地ニシテ土性ハ眞土砂交
レリ水田多ク陸田少シコノ餘茅畑ト號シテ南ノ方堤ノ内ニ九段九畝六歩ノ地アリ
是昔ノ鹽燒場ノ跡ナリト云又堤ノ外ニ二十三町九段五畝十三歩ノ地アリテ共ニ永
錢ヲ貢ス家數百二十三軒皆打交リテ散住ス御入國ノ後檢地アリシハ正保四年伊奈
半十郎カ承リニテ御料私領トモニ糺セリ又元祿十年ハ織田越前守ナリ此時御料ハ

因是萬民爲救轉變給棄也。榮號山王乎。以是萬法莫不歸一心王。三本扇子衆生之仰。壽命之風也。御興者包三世委也。仁義禮智信。在賢而不在愚。則聖人之道有揀擇取捨矣。如天降雨擇地而下矣。只即一指守之哉。轉法輪而度衆生。子孫繁昌國家安全。祈所真如。以法界爲自身。般若實智以爲自心。則人上以慈悲演說法。本源自性天真佛也。觀念觀法受處矣。車不橫推。理無曲斷。是神專之行處也。得妙事如此。西方果曼荼羅胎金兩部。日月兩輪。而爲事理本尊。故曰以幾累德。勳功顯因緣。無二無別者。一實相也。故爲圓寂佛界。不捨法界。亦歸本有成真。如以觀密法賢。因之摩壽命。頌曰。諸神加護歷人明。武運長久。天下平。國土瀟。開山五社。當時音在似禁聲。

當地頭

- 掛斐與右衛門尉
- 間宮庄五郎
- 小幡源太郎
- 飯室全左衛門尉
- 須田次郎太郎

右之緣起者。景虎乳。陸沉至處改。其時節當地邊據。而一堆一擔則崖事如此實哉。各不可守忽者也。大阿闍梨法印辨譽和尚。以善緣綴之。而爲銘之。現前奉守護。以廣開露門。而三寶之弟子。謹命現前矣。十二時中無尖無難。聖人難測焉。

時萬治二己亥五月十七員

觀音堂 纒ナル堂ナリ門ヲ入リ左ノ方ニアリ觀世音ハ正觀音ニテ源頼政カ守本母ツカレル百姓十兵衛ナルモノヨリ當寺ニ頼ミテ杉山社市向ノ西ノ方ニアリ小社

比叡宮 宮地ハカリユテ社トシ地中ニ大ナル銀

伊勢宮 社前ノ南ノ方ニアリ小社

淺間社 村ノ南ノ方ニアリ山神社 山ノ東ノ方ニアリ前ニ石鳥居アリ

稻荷社 小社ナリ村持

阿彌陀堂 佛ヲ安メ坐像ニシテ一尺五寸ホリ今土人ハ觀音堂ト唱フレトモ阿彌陀

地藏堂 四方ノ名主榮助持

阿彌陀堂 村ノ南ノ方ニアリ觀世音アリ

左衛門持 七

觀音堂 向正觀音立像七尺八寸是モ百姓持也

墳墓頼政塚 村ノ西北ノ

ノホトリハ平地ニシテ松一株アリ松ノ下ニ石塔アリ

タサレトモ曲カニ爲類政大臣菩提也

アツトモ近來ノモヒロヒテ取ニ足カク菩提ノ諸國ヲ修ニテ此地ニ至リ

結ヒカモノ白骨ヲ收其身モ此所ニ空クモナリタル云此緣起實永年中

屋敷跡殿屋敷村ノ中央ニアリ此所今百姓ノ家五六軒アリ廣サ五 ○馬場先殿屋敷
 アリ此所ニ七郎右衛門トテ飯田氏ノ百姓住メリ人ノ傳ヘニ此モノハ先祖代
 官ニテモ勤メタリヤコノ家ヲ馬場先ノ代官ト云フコトハ事ヲモテミレハコノ
 七郎右衛門ハ舊家ナルヘキヤサレト證トスヘキコトハナシカマヘノ内ニ古碑二
 枚アリ一枚ハ漫滅シテ文字見エヌ一枚ハ長サ四尺餘横一尺許コト碑面ニ上ノ方
 月トアリ日ノ所滅シテ分カス
 舊家百姓榮助陶山氏ニテ世々問宮庄五郎カ采地ノ名主トテリ御入國ノ頃ヨリ御料
 豐臣太閤ヨリ賜リタル
 文書アリ其文左ノ如シ

禁制 武藏國橋戸郡 小田村

一軍勢甲乙人等濫妨狼籍事

一放火事

一對地下人百姓非分之儀申懸事

右條々堅令停止訖若於違犯之輩者忽可被處罪科者也

天正十八年四月日

大岡秀吉印アリ
 按ルコ此朱印ハ天正十八年關東神社寺院一圓ニ天問ヨリ與ヘシ朱印ナルヘシ此
 類他ニモアリ是モカノ榮助カ初ハ神職ナトニテ村内山王神領ニツキテ出サレ
 タルモノニ
 ナハナキヤ

大島村

大島村ハ渡田村ノ隣村ナリ江戸日本橋ニ行程五里ニアマレリ村ノ四境東ハ海岸ニ
 シツ所凡三四丁西ハ川崎宿堀内村ニサカヒ南ハ渡田村ニ交ハリ北ノ方ハ中島大師
 河原ノ兩村ニテ良ノ方ハ池上新田ニ隣レリ村内平地ニシテ凡東西二十町南北五町
 ニ餘レリ土性ハ眞土或ハ砂交レリ家數スヘテ百四十四軒所々ニ散住セリ又當村北
 ノ方ヘ八丁許ヲ隔テ、飛地アリ此所ニモ民家六軒アリ檢地ハ元祿十年織田越前守
 信久ナリ其新旧ハ享保十八年寛播磨守正舖寶曆十一年伊奈半左衛門忠宥等ナリ安
 永八年海邊ノ新田ヲ開シトキ伊奈半左衛門忠都寛政十二年大貫次右衛門光豐等檢
 地ス御代官ノ遷替ハ近村ニ同シ

高札場村ノ北ノ方ニアリ

小名 若房耕地村ノ中央 遠野越耕地村ノ西ノ方 四谷北ノ方 橋戸耕地モ同

信濃屋敷海邊ノ方當村ト池上新田トノサカヒ 植村信濃守抱屋敷跡ト

地ツハキ 釜屋東ノ方 二町步南ノ方 樋口邊ニモ同 江端村ノ中

池二所一ハ字樋ノ口ニアリ凡三畝一ハ 用水海邊ノ方新田ノ用水ニ沃ケリ川崎

入村内チカヒテヘテ當村ノ中央ヲ流レ海ヘ ○潮除堤東ノ方海濱ニアリ長

八幡社村ノ中央ニアリ覆屋三間四方内ニ小祠ヲ置拜殿三間ハカリ 末社稻荷辨

過ス慶長年中川崎宿地割ノトキ村ノ乾ノ方ソコハクノ地カノ宿内ニ屬セシニヨリ
海道ニ隔テラレテ今ハ二區トナリ乾ノ方玉川ノ岸ニアル地ハ飛地ノコトクナレリ
民家四十三軒ミナ川崎宿ノ巽ノ方ニ住セリ當村平地ニシテ水田多ク陸田少シ土性
ハ眞土砂交レリ檢地ハ元祿十年織田越前守寶曆十一年伊奈半左衛門等承ル御入國
ノ後ハ伊奈半十郎カ家ニテ代々支配シテ今ハ大買次右衛門預リ奉リヌ
高札場 村ノ西ノ方川崎宿
小名 蒲原耕地 村ノ東中嶋
宮前耕地 村ノ中
川下耕地 北ノ方川崎往
多磨川 村ノ乾ノ方南河原村ヨリ凡長百五十間許川幅百三十間
○惡水堀 村ノ中央
内ニテ二流ニ分レ一河原村ノ界ヲ流テ大嶋村ニ入ル氷路凡十五町許
○多磨川堤
長百三十間許多磨川
山王社 村ノ東ノ方コアリ社額二十石ヲ付テ伊勢郡伊勢村ハ當村川崎宿
命ノ五坐チ安セリ欽明天皇ノ御宇當所ニ鎮坐シテ古ハ武靈郡下ノ神坐ト稱セシニ
イッノ頃ニカ山王權現ノ社ト改號セリト云々類朝ノ代ニ佐々木高綱奉行ハ後
立セルニヤ又川崎宿存スル寺ノ傳記ニ其文ニ東關ノ武陽郡高綱奉行ハ後
元祿八年宮内左衛門敦信カ修理ヲ加ヘ石見能幸三冬仲下幹五日開眼供養ト祭ハ每
年正月三日流鏑馬ノ式ヲ行ヒ六月十五日ハ社内ニテ市ヲ立テ商人等ト村々
ノ渡田村ノ旅所ニ渡ス式行ヒ六月十五日ハ社内ニテ市ヲ立テ商人等ト村々

社ハ二間ニツキ半幣殿一箇半ニツキ石馬屋ヲ立イッレモ南ニ向マハ
間ニツキ三末社天神社本社ニ向テ 熊野三社 是モ同ク左
ノ子孫御代官ニ勤メシ田中休庵右衛門 猿園彦社 本
社ノ内ニ尺ノ入口ニ間ニ 辨天社 本
文元ノ先三月初ハ紀州熊野ヨリ出シモノ
ハ取ヘキモ今日ケレト古キ家ナルコトハ是
ノ配下ナリ今社額ニ付シ水帳ニ刻テ山王領合
月ニ至リ始テ高ト石ノ御朱印ヲタマヒハ
ルハ當社ニツキ長十六年ノ棟札ニ名ニ
是ハ當社ニツキ長十六年ノ棟札ニ名ニ

武藏國稻毛郡 河崎六ヶ村

神樂堂 本社ニ
疱瘡神社 同
御靈社 是モ
辨天社

神主鈴木主馬地

- 一 軍勢甲乙人等濫妨狼藉事
- 一 放火事
- 一 對地下人百姓非分之儀申懸事

右條々堅令停止詔若於違犯之輩者速可被處罪科者也
天正十八年四月日
太閤發吉印アリ
稻荷社 村ノ北界ニアリ覆屋ノ内ニ
小祠ヲ置村內寶壽院持ナリ

ヘキノ旨命セラルル同年醫國河野三秀ト云モノ和製砂糖坐トナランコトヲ請ヒ
カトイシホトナク病ニフシテ其願ヲヤメシカハ太郎左衛門コ砂精坐トナランコトヲ請ヒ
ヤトアリケレトイマタ甘蔗ノ多カラサルヲ以テ辭シ奉リケルヨリ武州橋下郡
佛向帷子等ノ御林ノ地ヲカシ給ヒテ蔗苗ヲ植シメラル所々へ傳テ法年ヲ歴テ其傳
野東海道京師大坂中山道甲州道中及比甲州駿州等ノ所々へ傳テ法年ヲ歴テ其傳
イヨシヒコロリ寛政十一年ニ至リテ太郎左衛門多ノ工夫ヲ以テ製造セシ水砂糖
買アリシコトヲ願ヒ氷砂糖製シテ献上セリ御免ヲ蒙リケル同十二年ノ任セテ其法
ヲ傳ヘマシ
用水 中嶋村ヨリ入村ノ
除堤 南ノ方ニ築ケリ凡長五百十九間ハ御普請
川中嶋等村々入會ナリ
若宮八幡社 七尺ノ北ニ六尺東ニ向フ拜殿五間ニ二間半社前ニ石ノ御朱印ヲ賜フ本社
年々九月二十日ナリ祭 未社天神社 境内ニア
ニ向ヘリ拜殿二間 未社天神社 境内ニア
山權現社 宇西ノ持ア ○音荷社 是モ同邊ノア
社 宇長崎村ノ持ナリ ○音荷社 是モ同邊ノア
明長寺 村ノ北ノ方川中嶋村平問寺ノ邊ニア
項 餘ナリ慈覺大師ノ作ナリト云本堂八間ニ六間南ニ向フ

壽榮寺 善薩ノ作アリ新義真言宗松原山ト號ス本尊不動立像ニシテ長二尺餘行基
平屋作リニシテ六間ニ三間半開山ト號ス古キ所ハ世代モ見ユ ○觀音堂 宇野
ス今記ス石ノ通央辨法印真享三年十二月十五日寂ストアリ ○觀音堂 宇野
ヨリ如意輪觀音石ノ坐像ニシテ長一尺四寸許堂大サ五間四方西向ナリ延享ノ頃
ヨリ堂ヲ立シヨシヲ坐像ニシテ長一尺四寸許堂大サ五間四方西向ナリ延享ノ頃
○觀音堂 宇野村ニア今ハ古クハ馬頭觀音坐像ニシテ長七尺八寸許ナルヲ安
舊家名主太郎右衛門 太郎右衛門カ先祖池上右衛門大夫宗仲ハ鎌倉將軍ノ番匠ナ
聖セシモノ多シ先祖宗仲文弘安ノ頃日蓮上人ヲ池上氏ハ藤原姓ニテ本門白眞信
基ノ苗裔ナリ從五位下左衛門尉康光カ先祖ノウチハ世系ヲ記シテ年中鎌倉
公ノ前朝コトハ從五位下左衛門尉康光カ先祖ノウチハ世系ヲ記シテ年中鎌倉
右大將頼朝與州征伐ノ時先相傳フ康光カ先祖ノウチハ世系ヲ記シテ年中鎌倉
ノ里ニ出ケルコトヲ初テ郷導ノ功アリハレシカハ此事ケルヲ見テ其跡ヲシタヒ川
トテ一ツ雁金ノ紋ヲ賜ハリシト功アリハレシカハ此事ケルヲ見テ其跡ヲシタヒ川
年號ハ堀河院ノ御宇ニテ頼朝ノ出飛ニシテ東ナリ相州ニシテ頼朝ノ御宇ニテ
コトナレハ遙ノ後御宇ニテ頼朝ノ出飛ニシテ東ナリ相州ニシテ頼朝ノ御宇ニテ
ル事ナレハ遙ノ後御宇ニテ頼朝ノ出飛ニシテ東ナリ相州ニシテ頼朝ノ御宇ニテ
池ノ上ニ住セリ其頃鎌倉將軍ノ家ヘシテ池上ノ位ニシテ相州ニシテ頼朝ノ御宇ニテ
久三六六十五日宇治川合戦ノ條ニ池上ノ位ニシテ相州ニシテ頼朝ノ御宇ニテ
胤義自殺セシニヨリ頼信カハ又嘉禎四年正月二十日將宅へ送リシカ
隆兵ノ列ニ池上藤兵衛尉ト云アリ是康光カ四年正月二十日將宅へ送リシカ
既ニ同年六月五日春日社參供奉ノ列ニ池上藤兵衛尉ト云アリ是康光カ四年正月二十日將宅へ送リシカ
閉院雜掌目録ノ建長六年六月十五日康光カ四年正月二十日將宅へ送リシカ

新編武蔵風土記稿 橋野郡卷十四

天正六年戊寅七月廿八日

景勝花押

荻田孫十郎丞

今度念劇之處遂籠城走廻事神妙ハ依之大河津治部左衛門分并早川分宛行ハ彌々忠信簡要ハ仍執達如件

天正六九月朔日

景勝印

荻田孫十郎丞

去朔日於符内頸壹討捕之殊更北條丹後守鎗付事ハ無比類ハ不始今數度之高名神妙ニ向後彌可抽忠功事肝要候謹言

貳月三日

景勝花押

口宣案

上卿 持明院中納言

天正十六年九月一日 宣旨

豐臣長繁

宜叙從五位下

藏人左中辨藤原賴宣奉

口宣案

上卿 持明院中納言

天正十六年九月一日 宣旨

從五位下豐長繁

宜任主馬允

藏人左中辨藤原賴宣奉

宛行知行分之事

一高千七百三拾四石六斗貳升者

符中領 高木村

一高六百石七斗貳升者

同領 聖丸村

一高七百貳拾壹石六斗三升五合者

同領 榎津村

一高三百八拾九石者

大野領 堂本村

一高千四百四拾八石六斗三升者

勝山領 伊知地村

一高百四拾貳石七斗貳升者

符中領 笹川村

一高百五拾壹石九斗四升壹合者

同領 櫻谷村

一高百五拾三石八斗六升七合者

西方領 若杉村内

一高四拾壹石八斗六升七合者

同領 今市村

高合五千八拾五石

右爲加増令扶助訖全可有領知者也仍如件

元和元年卯九月五日

荻田主馬助之へ

川中島村

川中島村モ郡ノ東端ニアリ江戸日本橋マテ凡五里ノ行程ナリ村ノ四境ハ東北稻荷新田ニ界ヒ西南ハ大師河原村ニ隣レリ村ノ廣サ凡東西二町半ハカリ南北モ二町ニスキス家數五十六軒此村モ平地ニシテ田畑等分ナリ土性ハ眞土砂交リニテ旱損ノ患アリ萱野一町一段三畝十五歩東ノ海岸ニアリ開墾ノ年代ハ傳ヘサレト村内ノ平

間寺ハ崇徳院ノ御宇大治年中ノ頃ヨリ起立セシ寺ナレハ此地モソノ頃ハ開ケシナルヘシ正保ノ頃ヨリハ伊奈半十郎カ家ニテ代々支配シテ今ハ大貫次右衛門光豊カ御代官所ナリ檢地ハ元祿十年織田越前守其後新田ノ檢地ハ寶曆十一年吉田權右衛門ナリ

高札場

小名

本村 平間寺ノ中瀬川ノ北多磨

多磨川堤

長二百十六間餘用水堀大師河原村境ヨリ當村ヲ過テ新田ニ流ル

稻荷社

平間寺ノ御朱印地ノ内宇中瀬川ノ長六寸例祭年々九月十五日流鏝馬ヲ執行ス

弘法大師堂

村ノ長ノ方稻荷新田ノ境ニあり御朱印六石ノ地ヲ附セラル大起ハ本

像ハ大治年中平間某ト云モノ常ニ寸大ノ自カラ作ル所ノ像ナリト云縁起ハ此國ノ生レテ彼國ニテモ年々コノ漁獵ヲ業トシテ夜不思儀ノ夢ヲミシテ後大寺ヲ平間寺ト號セリト寺傳ニ云サレト同郡ノ下平間村ノ稱名寺古ハ眞言宗ナリシカ僧如信ノ代ニ至リ持傳ニテ親鸞ノ徒トナリカノ後多磨川ニ流レテ幸ニ漁人ト稱名寺ニ云傳ヘリニ草堂ヲカク祖師シテ定メカタクコトニ寺僧ノ官所浮タルコト本堂三間ニ七間門南向ナリ 鐘樓左ニ堂アリ 稻荷青龍權現神明合社本堂アリ

太子堂 本堂ニ向テ 什物 不動尊像一軀 長三尺五寸坐像ニテ行基菩薩ノ作ト
 長三寸許惠心 大黒像一軀 長一尺五寸 稲荷像一軀 長九寸ノ
 像各軀ノ作ナリト云 彌陀經分紙金泥ニシテ長五寸七 六字名號
 各軀モ弘法大師作ナリト云 彌陀經分紙金泥ニシテ長五寸七 六字名號
 長三尺二寸コレ 心經二卷 是モ同ノ大御 辨財天像 長七寸六分ノ坐像ナリ淳和
 師相州江ノ嶋ニオイテ百日間一萬坐ノ護摩ヲ修セシ 不動像 長一尺四寸ノ立
 ノ作 不動像 二寸傳教大師ノ作ナリ 簾ノ名號 建禮門院御坐ノ間ニ六字ノ名
 ト云 不動像 二寸傳教大師ノ作ナリ 簾ノ名號 建禮門院御坐ノ間ニ六字ノ名
 コヨリ名付シト云故有テ當寺ニ傳ヘリ 田螺石 大師常陸國筑波ヘ修行ノ折カ
 サハハリトナリシガハ大師深ク憐テ田螺ノ内ノ親トモテホシキモノヲ取法
 カテ以此石中ニ封籠シ後ハ其災ナシトイヘリ大サ一尺五寸五分四方ナリ 芋
 石横五寸八分許堅三寸ホトアリ其形アタカモツクイモノ如シコレモ大師修行ノ
 別當平間寺 大師堂ニ向テ右ニカアリ金剛山金乘院ト號ス當寺古ハ荏原郡高畑村寶
 ニナレリ開山ハ尊賢ト云康治二年四月二十一日寂ス古キ御朱印モアリシコヤ今
 ハ傳ヘスヲ慶安元年十月二十四日大猷院殿ヨリ御寄附ノ御朱印ヲ藏セリ其文
 ニ弘法大師堂領稻荷明神領トシテ當村ノ内六石ノ地先規ノ如ク御寄附ノコト及
 寺中諸役免除セラレ由テ載ス當御代ニ至リ寛政八年十月二十七日始テ當寺ヘ
 成セラレ其後文化十年九月二十七日 塚ノ除地ニテ其故ヲ傳ヘリ

稻荷新田

稻荷新田 八川崎宿ノ西ニ隣レリ郷庄ノ唱ヲ詳ニセス村名ノ起リハ往古此邊大師河
 原ニツ、キシ寄洲ナルヲ墾闢シテ村落ヲナセシニタマシ隣村川中島ナル稻荷ニ近
 キ邊ナルヲ以シノマ、名付シト云ツノ開キ初ハ寛永二年ノ事ニテ大師河原村ノ
 里正池上太郎左衛門カ先祖幸繁及ヒソノカ別家ニテ當村ニ住ル七左衛門カ家祖某
 ト力ヲ合セテ新墾セリ又ソノ頃石渡四郎兵衛ト云モノモ是ニ與レリト四郎兵衛カ
 甥六郎左衛門里正カ支配スル方ナ七稻荷トヨヒ六郎左衛門カ支配スル方ナ六稻荷
 ト唱ヘリ檢地ハ元祿十年織田越前守カウケタマハリニテ租米ノ數ヲ定メリソノ後
 享保十八年寛播磨守同二十年松波筑後守元文四年神尾若狹守寶曆四年及安永六年
 伊奈半左衛門等改メアリシカト是ハ年ヲオヒテ開キタル地ヲ檢セシニテ村内ナミ
 ナ改メシト云ニハアラスト村ノ廣狹東西二十五町餘東ハ海岸ニシヒ西ハ中島村川
 崎宿ノ耕地ニ界ヒ南ハ池上新田ニツ、キ北ハ玉川ニ限リテ川ノ向ハ荏原郡羽田村
 ナリ村内スヘテ平行ノ眞土ニシテ陸田多ク水田ハ少シ今ハ御代官大貫次右衛門民
 家ハ三百八軒ナリ
 高札場 小名殿町

小名 殿町 村ノ北方ト云往古コハニ上杉憲幸カ館アリ 江川町 村ノ東南大

坊野 村ノ南コアル耕地ナリ昔コノ地ハ萱野ナリシニ池上本門寺ノ大坊ヲ修造

多磨川 村ノ北境ヲ流ル隣村川崎宿ヨリ流入川幅ハ百五十間餘 ○用水 稻毛川崎ノ

水神社 村ノ中程御朱印ノ地ノ内ニアリ石ヲ作リ慶安元年十一月二十四日社領三石

大僧都 祐海真享三年八月十四日示寂ス客 ○道祖神社 七尺ノ東ヘヨリテアリ九尺ニ

仲冬ノ日ト刻ス法榮寺持ナリ ○辨天社 尺ニ四尺法榮寺持 ○辨天社 村ノ三間ニ

祭ハ毎年九月ニ 地蔵堂 社ニ九尺四方 ○神明社 祠是モ村民持 ○辨天社 村ノ西

ノ小祠ナリ勸請 末社 稻荷社 社ニ三間ニ二間 ○別當 清寶院 辨天ノ湯殿山派ノ後背ニ住

中島村

中島村 大師河原村ノ隣村ナリ相傳フコノ村開ケシオコリハ多磨川ノ中ニアリシ

寄洲ヲ道々開墾シテ村落ヲナセシカハ村名モ中島ト呼ヘリト云村ノ記録ニ稻毛庄

トアレトモ今ハソノ唱ヲ失ヘリ村ノ四境東ハ大師河原村ニ交リ南ハ大島村西ハ堀

之内村ニ接シ北ハ久根崎町ナリ東西五町南北四町民家三十八軒散在セリ土地平カ

ナレトスヘテナイハ、低キ地ナレハヤ、モスレハ水損アリ年トシテ早損モ少クア

ル地ナリ水田多ク陸田穠ニシテ土性ハ眞土及カラ砂ノ所モアリ御料所ニシテ伊奈

半十郎カ家ニテ代々支配セシニ彼家職ヲ失ヒシヨリ大貫次右衛門支配セリ檢地ハ

元祿十年織田越前守承リニテ紀セリ寶曆十一年伊奈半左衛門新田ヲ檢地シテ租稅

ヲ定ム 小名 蟹田耕地 村ノ南 野良新工 村ノ西 蒲原耕地 村ノ北 瓜幡下耕地 村ノ

用水 川崎領ノ用水ヲ乾ノ方川崎 ○惡水堀 村ノ北ヨリ東ヘ屈曲シテ村境ヲ流ルハ

之内大堀ノ五村カ、ヒ大郎河原久根崎堀 八幡社 村ノ東ノ端ニアリ勸請ノ年歴詳ナラス神體ハ秘シ置ハ見コトヲ

ノ惣鎮守ニシテ例祭年々六月十四日ナリ此時神輿ヲ旅所ヘ渡シ 別當 遍照寺 村

東ニアリ天台宗寛永寺末光明山無量院ト號ス開山詳ナラスサレト同寺ニ
寛永十九年七月三日天海僧正ヨリアタシテ其文ニ武藏國橋郡河
村光明山直末云々又寺傳ニ今ノ住僧マサ凡七十四世ニ及ヘリトイヘハ何
東ノ山直末云々又寺傳ニ今ノ住僧マサ凡七十四世ニ及ヘリトイヘハ何
院ナルヘン本尊彌陀立像長二尺五寸間座像長三尺及ヘリトイヘハ何
繁茂セリ小祠コシテ上屋アリ例祭○稻荷社字浦原耕地ニアリ是モ畑中
年々九月十九日村内遍照寺持ナリ祭○稻荷社字浦原耕地ニアリ是モ畑中
リ長六七丈アリ同寺持ナリ

新編武藏風土記稿卷之七十一終

新編武藏風土記稿卷之七十二目錄

橘樹郡之十五

川崎領

川崎宿

小土呂町

新宿町

南河原村

小向村

矢向村

小倉村

下平間村

砂子町

久根崎町

戸手村

古川村

江崎村

塚越村

新編武藏風土記稿卷之七十二

橋樹郡之十五

川崎領

川崎宿

川崎宿ハ郡ノ北ノ塚多磨川ノ涯ニアリ東海道五十三驛ノ一ナリ江戸日本橋ヨリ四里半ノ行程ニテ南ノ方神奈川宿ヨリハ二里半北ノ方品川宿ヘモマダ二里半ヲ隔テリ稻毛庄川崎郷ニ屬スト云宿内今小土呂砂子新宿久根崎四ヶ町ニワカテリ相傳フ昔ハ今ノ宿内ノ地大抵砂子久根崎二村ノ地ナリシカ御打入ノ後長谷川七左衛門長綱承ニテ町ノ地割ヲ改メ人馬ノ役ヲ命セリ此時土地ノサマ大ニ古ヲ變セリサレト其頃ノ町家ハ今ノ砂子久根崎ノ二町ノミニテ南ノ方小土呂町ト砂子久根崎ノ間新宿町ノ地トハ猶繩手ナリ此時ヨリシテ人馬ノ役アリトイヘトモソレモ神奈川品川二宿ノ間往來ノ人馬ヲ僅ニ給スルノミニテ旅宿ナトハアツサリシカ此二宿ノ間五里ノ行程ヲ隔テ、トカク旅人ノ便アシケレハトテ寛永四年命アリテツヒニ宿驛トハ定メラレキトキニ宿ノ戸數乏クシテ役ニタヘス願上テ小土呂新宿ノ二村ヲモ宿内ヘ加ヘシヨリ今ノ如ク四ヶ町トナリシトコレニヨレハ御打入ヨリ前ニ宿内ノ地

四ヶ村ナリシヲ寛永年中ヨリ合セテ一宿トセシトイハシカ按ニ川崎ノ地名ハ古キ
モノニ見エタルモアレト四ヶ村ノ名ハ多ク見エス恐ラクハ古來四ヶ村ヲ總テ川崎
郷ト唱ヘシヲ後ニ其内ノ小名ヲモテ砂子村小土呂村ナト、ハ唱タリケンソレナ一
日四ヶ村ニ分テタレト後ニ又合セテ一宿トセシナルヘシ文明十三年太田左衛門大
夫人道道灌カ平安紀行ニ河崎ト云海近キ宿ニテ使ナト跡ニヤリテコ、ニテシハシ
ヤストラヘハ長光寺ノ日耀上人クタモノナト僧ニモタセテ贈リタマヒマケント
立物スルニ洲崎ニカサ、キ立リケレハ

朝ホラケ霞ウナカス川崎ニ波ト見ルマテタテルシラサキトアリ今宿内旅宿四十
四軒總軒別百五十一烟ナリ地子免ノ地三町三段三畝十歩ニシテ其左右ニ耕地アリ
其四至ハ東ノ方丈師河原堀之内ノ二村ニ隣リ南ハ渡田小田ノ二村ニテ東南ノ隅ニ
ハ中島及ヒ大島ノ二村ニ接シ西ハ南河原矢向ノ村々ニテ西南ハ纒ニ市場村ニ交ハ
レリ北ハ南河原小向ノ二村東北ハ荏原郡八幡塚村ニテ多クハ多磨川ヲ界トセリ東
西三十町南北ハ二十七八町ニ及ヘリ海道ハ南ノ方市場村ヨリ入テ北ノ方八幡塚村
ニ達ス長二十四町三十六間此内多磨川ノ幅百五間家々軒ヲ並ヘタル所十四町二十
四間並木ノ間五百九間道幅ハ三間半ヨリ五間ニ至レリ往還ノ西側ニ十五ヶ所ノ横
町アリ東側ニモ又十六ヶ所ノ横町アリ宿内ヲ始トシテ耕地ニ至ルマテ總テ平地ニ
シテ土性ハ多ク眞土ナリ宿内宗三寺ノ傳ニヨレハ鎌倉右大將賴朝時代佐々木四郎
左衛門高綱當所ヲ領セシト云東鑑文應二年弘長元年五月十三日佐々木壹岐前司泰綱
澁谷太郎左衛門尉武重ト口論ノ條ニ泰綱ノ云先祖佐々木判官定綱奉逢于右大將軍
草創御代抽度々勳功兄弟五人之間令補十七箇國守護職云云是ヲ以考フルニ宗三寺
ノ傳ヘ據アルニ似タリ遙ノ後小田原北條氏分國ノ頃ハ其家人間官豐前守信盛當所
ヲ領シテコ、ニ住セリ永祿二年ノ役帳エハ信盛カ孫豐前守康俊六十六貫九百七十
六文ヲ領セシコト及ヒ鶴田新三郎カ知行當所ノ内萬秀院分及ヒ六郷ノ内ニテ二貫
八百五十文其餘大珠寺分五貫文コレ又川崎ニ伏スト記セリ萬秀院大珠寺ハ今二寺
トモニ廢セシニヤ詳ナラス御打入ノ時久保田藤五郎吉政ヘ當所ヲ賜ハリシカ慶長
六年ヨリ總テ御料所トナリ小泉次大夫吉次支配セリ其後伊奈半十郎忠治カ御預所
トナリ子孫世々支配セシカ寛政四年ヨリ大貫次右衛門光豐支配セリ

高札場 砂子町ノ内
西側ニアリ

小土呂町

小土呂町ハ宿ノ南ノ方ナリ昔ハ此町ノ邊ハ多ク砂子村ノ地ニシテ小土呂ノ地先僅

ニ犬牙セシト云其頃ハ居村モ渡田村ノ方ヘヨリテ住居セシカ寛永四年宿禰トナリ
シ時此町並ヘ移住セシト云往還長サ三町十四間アリ

教安寺 西側ニテ往還ヨリ三十二間程奥ノ方ニテ一乘山兜院ト號ス淨土宗江
及フト云トキハ開闢ノ年歴モ推テ知ルヘレ本堂七間ニハ六間半東南ヘ向ヘリ
本尊ハ三尊ノ彌陀木ノ坐像ナリ長三尺許脇土ハ長二尺ハカリニテ立像ナリ
樓一間四方鐘ノ徑一尺五寸第三世ノ僧在住ノ頃天正十
樓八年七月四日鐘ヲ刻スルノヨリ銘文ハナシ 天神稻荷合社左門ヲ入テ
小社 地藏堂同並ヒ 觀音堂 是モ同並ヒニテ
ナリ

砂子町

砂子町ハ小土呂町ノ北ニ續ケリ當所宗三寺ノ縁起ヲ閱ルニ此地名ノ起リハ延暦年
中本尊藥師出現ノ時此邊スヘテ海濱ニテ然ルヘキ家モナカリシカハ砂子ヲカキ寄
テ其上ニ安置セリ是ヨリ打續キテ土地繁昌セシニヨリ終ニ砂子村ト號ストイヘリ
サレト古キ世ノ事ナレハ實ニ然リトモ云カタシ其後ノ事ハ總テ傳フル所ナレタ
太田道灌カ平安紀行ニイサコト云所ニテ
カモメイルイサコノ里ヲ來テ見レハ遙ニカヨフ奥津浦風トヨミシコト見エタリ
サレトスヘテノ地名ハ川崎ト號シテ砂子ト云ハ小名ナルコト勿論ナルヘシ今往還
ノ長サ四町二十三間左右ニ人家軒ヲ連テタリ

佐々木社 東側ニテ義光寺ノ南ニ隣レリ宿内宗三寺ノ記録ヲ閱ルニ時先祖ノ靈ヲ家ノ
ハニ記リシト云按ニ沙々貴神社ハ江州蒲生郡ニ坐ス式内ノ神ニテ佐々木氏世々
ノ氏神ナレハ高綱遙拜ノタメニ勸請セシナルヘシ又宗三寺ノ傳ニテ佐々木氏世々
網ノ靈ヲ合セ祀リテ佐々木大明神ト號セリトイヘリ近キ頃マモ神體ハナカ
リシヲ元祿十二年宗三寺ノ檀越間宮勸負信常實一ノ口ナリ納メテモ神體ハナカ
シテ宮作ナリ此御ニ鳥居ヲ大々例祭ハ年々九月十九日ナリ宗三寺持ニ 末社稻荷秋
葉合社 左ニテ向テ

養光寺 佐々木社ノ北ニ隣レリ海榮山ト號ス禪宗曹洞派ニテ行基菩薩ノ作ナリト云此
藥師ハ延暦六年海中ヨリ波ニ打コセラレシト云所ノ町割ノ時取上テ安置セリト云
シテ一寺トセリテ安置セシニ宗三寺ヨリ僧ヲ置テ守ラシメテ元カカノ寺第七世僧指月造營
トナリ雨華臺ノ三字ヲ扁ス ○善養寺 是モ同並ヒニテ往還ヨリ二十四間程
山功徳院ト號ス開山冬譽ハ寛文五年七月十八日寂セリ本堂四間四方西向ナリ
尊彌陀木ノ坐像ニテ長二尺餘當寺ニテ五香散ト云藥ヲ制シテ世々弘ムコトモ
シテ諸病ニ驗シハシメシ所ニ 稻荷社 本堂ニ向テ ○大德寺 同並ヒニテ
月十六日寂ス山寶池院ト號ス淨土宗江戶芝増上寺ノ末惠心僧都ノ作深舉延寶三年七
方 金毘羅社 門ヲ入テ右ニアリ ○宗三寺 奥ノ方ニテ三十二間程ニテ表門ヲ往還ヨリ
ト號ス禪宗曹洞派ニテ郡中末吉村寶泉寺ノ末寺ナリ臨濟宗鎌倉建長寺ノ末倉右大將
頼朝ノ時代僧領室玄統ノ開關スル所ニテ初メハ臨濟宗鎌倉建長寺ノ末倉右大將
救安寺ノ本尊是ナリ然ルニ佐々木四郎左衛門高綱此邊ヲ領セシト云當寺ヲ出テ

ナリシカ盛正後ニ亂心シテ家廢セリコハニ聖前守カ名乗テ康
信ト記セシハ誤ナリ信盛カ玄孫チ三郎右衛門康信ト云シナリ
ニテ荏原郡品川宿常行寺ノ末寺ナリ教主山定相寺ト號セリ寺傳ニ慈覺大師ノ開
基ナリトイヘト覺東ナシ客殿三間ニ二間半本尊彌陀木ノ立像ニテ長二尺許又辨
天ノ木像アリ弘法大師ノ作ナリ地藏堂門ノ側ニアリ二間四方ノ像ノ遠籠ナリ地蔵ハ
リト云長一尺許ノ立像ナリナリ
鑄云 辨天塚 客殿ノ後ニ古木アリ二間四方ノ像ノ遠籠ナリ地蔵ハ
ト云 小杉村妙泉寺ヨリ起立セシ寺ナレハカノ寺ノ山號ヲ用ユト云日蓮宗ニテ安房
國平郡吉濱村妙本寺ノ末寺ナリ開山日順寛文八年五月十八日寂セリ本堂五間ニ
六間西北ニ向ヘリ本尊ハ日蓮ノ像ニテ長一尺五寸許ノ坐像ナリ 稻荷社ニテ
像ニテ長一尺五寸許ノ坐像ナリ 川崎壘跡イヘル如クハハニ變革セシ地ナレハ其詳ナル事ハ今日知ルヘカラス
新宿町

砂子町ノ北ノ續キナリ是モ寛永四年ヨリ宿ノ内へ入シ町ナリト云新宿ト云ハ久根
崎ノ宿ニ對シテ起リシ名ナリト云サレハモトヨリ久根崎ノ端村ナトニテヤアリケ
ン長サ五町十間ナリ

一行寺 北側ニアリ往還ヨリ一町許奥ノ方ニアリ專修山念佛院ト號ス淨土宗ニテ
方南向ナリ本尊彌陀木ノ立像ニテ長二尺五寸許慈 閻魔堂 門ヲ入テ左ニテ
覺大師ノ作ナリトモ行基菩薩ノ作ナリトモイヘリ 閻魔堂 尺ニテ二間闊ハ本
坐像ニテ長二尺許 ○眞福寺 崩レ入テ其地ノ昔ハ六郷ノ渡頭ニアリカ洪水ノ時境内川中
長二尺許 ○眞福寺 崩レ入テ其地ノ昔ハ六郷ノ渡頭ニアリカ洪水ノ時境内川中
神奈川宿金藏院ノ末寺ニテ瑠璃光山金剛院ト號セリ又東照坊トモ稱ス客殿五間
ニ七間本尊藥師木ノ坐像ニテ長六寸許左右ニ日光月光ノ二菩薩及十二神ノ像アリ

天正社 右門ニアリ 地藏堂 是モ同邊ニアリ地蔵ノ像
久根崎町 北ノ續キニテ堤マテノ間ナリ長一丁五間アリ此町ハ砂子町ト同ク宿驛開
ケシト云

德泉寺 東側ニテ其地ヲ昔ハ荏原郡羽田村ニアリシカ寛永四年ノ洪水ニ境内多磨川
末寺ニテ羽田山神光院ト號セリ開山詳ナラス客殿七間四方ニテ向ナリ本尊彌陀木
ノ立像ニテ長二尺又別ニ同シ長ノ彌陀アリス客殿七間四方ニテ向ナリ本尊彌陀木
寺第六世尊塞ノ時當所大師道ノ神明社ニテ感得セシト云

堤外往還
久根崎町ヨリ多磨川ノ涯マテノ間ナリ往還ノ長サ二十六間左右ノ田畑ハ新宿ノ地
ナリ又川ノ北八幡塚町ノ續ギニモ當所ノ地少シクカ、レリ

多磨川 故ナリ東北ノ方ヲ流ル此邊ニテ或ハ六郷川トモ呼フ是ハ荏原郡六郷ニ係ル
福替ノトモ大抵百五間ヨリ百四十間マ ○六郷渡 大橋跡附東海道往還ノ内多磨川
テナリ洪水ノ時ハ二百六十間ニ至ル

ヨリ荏原郡八幡塚町へ達スコハヨホト古キ往來ニテ昔ハ橋アリコト小田原記ニ
 年武田信玄當國へ勤ノ時六郷ノ住人方彈正カ橋ヲ造リシメテ其後數御修
 見ユ其後久カシ再造ニ及ハサリシノ慶長五年命アリテ造ラシメテ其後數御修
 造モアリカトシ元祿元年七月廿一日ノ洪水ニ橋落テヨリ永シク廢セラレテ今ノ如
 ヲリ當宿トナレテ八幡塚村ノ條ニ委ク出シテ六郷ノ照見ルハ往昔川崎宿
 ノ者イロヒカリナラハ郷ノ時八幡塚カヘリテ賑ハヒヨリ橋モ八幡塚
 高札場又川ノ邊往來ノ北側ニ接地アリモ一ケ所アリモ同制札ナリ
 小名田外間小名所在及水利寺社皆同ノ記ス西原宿ノ南並木 渡田同シ
 田ノ接地ナレハ此 本木邊モ同 四貫橋同級 中島新宿町ノ 五ヶ村土呂ノ
 名起リナレハ此 本木邊モ同 四貫橋同級 中島新宿町ノ 五ヶ村土呂ノ
 境フテ

川崎用水 市場村ノ内字三ツ手ト云所ヨリ流來リ ○鶴沼宿ノ西ニ一歩ト云此邊
 御放鷹ノ地ニ此沼アリハ鶴沼ト云所ヨリ流來リ ○鶴沼宿ノ西ニ一歩ト云此邊
 シスメルヲ以テ名アリハ鶴沼ト云所ヨリ流來リ ○鶴沼宿ノ西ニ一歩ト云此邊
 町ノ西裏ヲ流レ長十七間程ニ大嶋村ヘ入一流ハ砂子 ○石埋以二ヶ所ノ一ヶ所ハ砂
 一ハ字西原ニメニ設ク共 ○掛樋上ニアケ村ノ内恩水堀ノ入流ハ砂子 ○石埋以二ヶ所ノ一ヶ所ハ砂
 ニ惡水ノ爲メニ設ク共 ○掛樋上ニアケ村ノ内恩水堀ノ入流ハ砂子 ○石埋以二ヶ所ノ一ヶ所ハ砂
 除ノ多磨川水 ○稻荷社 砂子町ノ内前ニ此社アリ宇本木ニテ東稻荷ト云
 神明社 小土呂町ノ前ニ鳥居アリ ○稻荷社 砂子町ノ内前ニ此社アリ宇本木ニテ東稻荷ト云
 南西ニ向ヘリ石ノ鳥居アリ ○稻荷社 砂子町ノ内前ニ此社アリ宇本木ニテ東稻荷ト云
 タツ是モ同寺ノ持ナリ ○稻荷社 砂子町ノ内前ニ此社アリ宇本木ニテ東稻荷ト云

醫王寺 久根崎町ノ内東南ノ耕地ニアリ藥王山無量院ト號ス天台宗荏原郡品川宿
 セン八ナリト云然レハ宗祖傳教大師ノマノタリ從ヒシ人ナルコト此後法燈ヲ
 尊藥師木ノ坐像ニ信盛カ當所ニ住セシ頃願所ト定メシト云今本堂七間ニ六間本
 コテ長一尺八寸許其餘十二將神等ノ像アリ 鐘樓門ヲ入テ右ニアテ二間四方
 享保十年十月 月ト彫ル

南河原村

南河原村ハ郡ノ東ノ方川崎宿ノ邊ニアリ江戸日本橋ヲ距ルユト四里ナリ相傳フ當
 村ハ古多磨川ノ河原ナリシ荏原郡八幡塚村ノ農民來リテ開墾シ其地勢多磨川ノ
 南ニ當レル處ナレハ南河原ト名付シトサレト年代ナト詳ナラス又其頃ハ民家モ僅
 二軒ナリシニ其後次第ニ新田ヲ開テ土着セシカハ今ハ民家九十軒ニ及テ村内ニ散
 在セリ村ノ四境東ヨリ南ヘカ、リテ川崎堀之内ノ二村ニ錯リ西ハ矢向村北ハ戸手
 小向ノ二村及多磨川ヲ隔テ荏原郡八幡塚村ナリ東西十二三町南北四町ニ餘レリ村
 内平地ニシテ水田多ク陸田少シ此邊ハ多磨川ニ傍シ地ナレハ水損ノ患アリ土性ハ
 真土ニシテ砂交レリ御入國ノ後御料所ニシテ伊奈氏支配シ其後アマタ遷替アリテ
 今ハ大貫次右衛門光豐支配所ナリ檢地ハ元祿十年織田越前守信久紀セリ其後追々

新田ヲ開キ享保十八年寛播磨守延享二年神尾若狹守明和四年辻源五郎安永二年伊奈半左衛門稅務ヲ定メリ又原野一町三段八畝餘良ノ方多磨川ノ岸ニアリヨ、ヨリ

モ永錢ヲ貢セリ

高札場ニアリ

小名 河原村東ニ中辻子程ヲ云 原辻子村ノ西

多磨川村ノ内ニアリ川幅八十二間北ノ方小向村ニカナル

用水堀村ノ内ニアリ川幅八十二間北ノ方小向村ニカナル

悪水堀村ノ内ニアリ川幅八十二間北ノ方小向村ニカナル

女體權現社村ノ内ニアリ川幅八十二間北ノ方小向村ニカナル

伊勢宮村ノ内ニアリ川幅八十二間北ノ方小向村ニカナル

諏訪社村ノ内ニアリ川幅八十二間北ノ方小向村ニカナル

稻荷社村ノ内ニアリ川幅八十二間北ノ方小向村ニカナル

道祖神社村ノ内ニアリ川幅八十二間北ノ方小向村ニカナル

七面堂村ノ内ニアリ川幅八十二間北ノ方小向村ニカナル

圓真寺村ノ内ニアリ川幅八十二間北ノ方小向村ニカナル

本隨寺村ノ内ニアリ川幅八十二間北ノ方小向村ニカナル

客殿六間四方南門向ナリ

相殿二間半ニ間八幡ヲ

天正十八年北條家没落ノ時カノ家入齋藤大學助久義トイヘルモ

日小田原城ニテ氏直ノ爲ニ討死セシ中浦田嘉左衛門トイヘルモ

テ今ノ寺號トセリ寺ナルハシ其後慶長年中浦田嘉左衛門トイヘルモ

テ寛永七年二月二日死セリハシ其後慶長年中浦田嘉左衛門トイヘルモ

テ院日詔トセリ元和三年四月十九日寂ス本尊三寶祖師長一尺五寸ナルヲ

テ客殿六間半ニ間七鐘樓門ノ左ニアリ天明六年ノ銘文アリ

テ荏原郡高畑村寶幢院延命山圓明寺ト號ス開山詳ナ

テ弘法大師筆一軸 晴雨曼陀羅一軸 根尾妙惠ノ筆ナリ寺僧ノ話ニ當村早魁ノ時

テ川崎宿ノ渡船場ニイタリシヨリ驛中ヲ廻リ小土呂町ヨリ村内ニ歸ルコト例ナ

テ戸手村 戸手村ハ南河原村ノ並ニアリ小田原家人所領役帳ニ小机戸手内トアレハ其頃ハ小

テ机庄ナルヘシ江戸日本橋マテ行程五里村ノ四境東多磨川堤ヲ境トシテ南河原村ナ

テ新編武蔵風土記稿 戸手村ノ巻十五 七

スル永祿元年北條氏康ヨリ彼カ先祖石井八太夫ニ與ヘシ文書ニ小机之内北向大道寺一跡二十貫八十文餘ノ事トアリ然ルニ郡内及ヒ都筑郡ニ小机庄アリテ北向ト云地名ナシヨリテ思フニ古ハ北向ト號セシヲ後ニ小ノ字ニ改シニヤハタ北ノ字ノ草書小ノ字ニ似タレハ誤リ書セシコトモアルニヤ又隣村戸手村ハ小机ニ隸セシヨシ小田原家人役帳ニ記シタレハ恐クハ當村モ古ハ同庄ナルヘシ村内ナヘテ平行ニシテ砂錯タル眞土ナリ大抵東西ヘ八町南北四町餘南ハ戸手南河原ノ二村ニ接シ西ハ下平間古川ニ並ヒ長ハ多磨川ニ限リテ川ノ向ハ荏原郡高畑古市場ノ二村ナリ此村開墾ヲ詳ニセス前ニイヘル氏康ノ文書アルトキハ小田原家人ノ所領ナリシコト論ナカルヘシ又土人ノ話ニ往昔田中加治高橋廣澤安西荒井齋藤榎本野崎石渡ナトイヒシモノヨソリテ此ホトリノ荒野ヲ新墾セリト此中高橋安西荒井齋藤榎本石渡等ノ諸氏ハ北條家麾下ノ士ニ見エタレハ若クハ其子孫ニヤ御入國ノ後ハ御料地トナリシナルヘシ見ニ正保頃ノモノニハ伊奈半十郎忠治御代官所ト記シアレハ御料所ナルコト知ヘシ其後御代官江川太郎左衛門英暉カ支配所トナリ其子左兵衛英勝ツイテ支配セシ頃有章院殿ノ御靈屋料ニ御寄附アリシヨリ今ニ替ラス檢地ハ寛永廿一年伊奈半十郎カウケタマハリニテ租税ノ數ヲ定メシト其後ハ御靈屋料ノ地ナレハ細入ハナカリシト云家數ハ六十八軒ナリ

高札場 村ノ北小名

小名 官脇通 村ノ西北平間村ノ接地ヲ云又此小名ノ中ニ將監屋敷ト呼フ所アル人ナルコト 是ハ昔將監ト其氏ヲ傳ヘス云モノ住セシユヘ名トストイカナナ詳ニセス 官前通 同シ邊 坊屋敷 是モ同シヤ 高畑下 多磨川向荏原郡高畑村ニ積キタル飛

多磨川 長ノ方兩郡ノ境ヲ流ル當村ニカカ用水 稻毛用水川崎用水ノ二流ヲ引用ニ八幡宮 七年ノ西北ニモアリ社ノ上ニ覆屋アリ二間ニ三間半勸請ノ年歴ハ傳ヘス寛文九日千卷隨羅尼ヲ讀 經ス村内妙光寺持

妙光寺 村ノ南ニアリ田中山ト號ス日蓮宗池上本門寺ノ末開基ハ當村ノ里正源左ト云俗姓ハ田中氏ニテ開基和泉カ第二子ナリ寛永七年十一月十五日示寂其後享保年中田中休忍右衛門喜古中興シテ堂宇以下營造セリト其人ノ事ハ下ニ出ス碑銘ニ見エタリ客殿六間ニ 三十番 神堂 門ヲ入テ左ニア 田中喜古墓 客殿ノ右七間本尊三寶祖師ヲ安ス 院速成

日解碑陰ノ銘ニ云

享保己酉冬十二月壬午。故玉川崎玉等知縣。田中氏卒。葬于川崎驛小向邑。田中氏諱丘隅字喜古。以寛文壬寅三月十五日。生武之八王子。蓋此先相人世仕甲之信玄氏。信

玄氏之亡也。遷于武者窪島氏。妣委宅氏。生二子。昆曰祖道。季即丘隅。小向田中無男。以女妻之。遂為嗣。因冒田中氏。田中氏之女生喜乘而卒。繼室淺岡氏。生千為淺岡氏。後丘隅生而偉。及長有經綸天下志。慨然慕管敬中之為人。始在川崎之驛。羸而民散矣。時縣令知丘隅之賢。舉而理之。居一歲。民始定矣。三季民始贖。而知縣義乃置田一區為義田。以救親故及貧獨之急。享保癸卯之春。官召問農政水土事。條上事情。命治荒河。累有功。賜秩為冠帶老人。丙午。澆酒勾河。大有効。築堤東西曰文命。建神禹祠。事見于碣之中。己酉。擢玉川。坊玉等知縣。居數月卒。長子喜乘襲其官秩。丘隅治縣之日。均賦稅而除冗費。省徭役。而愛民力。有豫備而不奪時。明利害。令無訟。虛偽無所入。姦究無所施。及沒。無不以嘆惜者。所書民間省要行于世。銘曰。良桓夏夏耕彼南山。以施有政。惟國之幹。孝子田中喜乘立。

古川村

古川村ハ小向村ノ西多磨川岸ニアリ。川ノ北荏原郡ノ内ニモ古川村アリ。テ混シ易キニヨリ土人當村ヲ呼テ戸手古川ト云。戸手村ノホトリナル古川ト云。義ナルヘシ。是モ郷庄之唱ヲ失フ相傳フ往古多磨川此地ヲ流レシニ其後瀬替リテ洲トナリシカハ農人其地ヲ開懇シテ村落ヲナセリ。故ニ村名モ是ヨリ起レリトサレハモト川ノ跡ヲ開

キシモノナレハ泥田深クシテ今ニ至リテモ耕作ニ困メリト云。江戸日本橋ヲ距ルコト四里半村ノ四境東ハ小向村南ハ戸手村ニ錯リ西ハ塚越村北ハ下平間村ナリ。東西三町南北十町許民家十四軒東北ノ方ニ連リ住セリ。土地平ナレハ水田多ク陸田少シ。水旱ノ兩災アレトタマサカノコトナリ。土性ハ黑土及ヒハナ錯リナリ。土産トセルモノ近キ頃梨木ヲ裁テ其菓實ヲトリ江戸へ鬻ケリ。檢地ハ寛永廿一年八月廿五日伊奈半十郎忠治糺シテ貢稅ヲ定メリ。御入國ノ後御料所ニシテ伊奈半十郎支配シ其後賜ハリシ年歴ハ傳ヘサレト久世大和守廣之カ領地トナリシニソレモ程ナク上地トナリテ又御料所トナリ其後隣村戸出村ト同時ニヤ有章院殿ノ御露屋料トナレリ。高札場村ノ東ヨリ

小名 鶴見田

鶴見田村ノ中央 關免村ノ中央ヨリ 上下ハ長ノ方下 大師河原用水堀村ノ北ヨリ 下平間村ヨリ 村內斜ニ八九町南 ○惡水堀村ノ北下 東ノ方小向村ニ至レリ 組合ノ自普請ナリ ○惡水堀村ノ北下 神明社 宇鶴見田ニアリ 稻荷ヲ相殿トス前ニ木鳥 庵村ノ北ノ方ニアリ 臥龍廟ト號ス二間ニ三間ノ庵ナリ一向宗ナルヨリ今ハ住僧 舊家百姓九左衛門氏 今村ノ里正ヲ勤ム其傳ナル所ニヨレハ天正ノ頃北條左京大夫

コトニ寵愛シケレハ懐妊ノ身トナレリ其頃小田原没落セシコト近キホトリニ
ユカリノ者アリシハ頼テ忍ヒテ居レリイッ程ナク一子ヲ産セシコトニ男子ナ
リケレハ是ヲ力ニ思ヒイカコモシテ一家ヲ起サシテハカカリニ其事ムナシ
クシテ日ヲ送リシコアル時同國ノ僧郡内下平間村ノ稱名寺ニ入院ノ折モカ
又ナナミアリシカハ親子共ニ連レ來リテ當所ニ土着シテ農民トナレリト
セル文書等コシルセモノナケレハマサシトモ云カヤサレト氏政自殺セシ時
彼婦人ニ贈リシ自詠ノ歌ト國貞ノ刀一腰及ヒ婦人ノ所持セシ櫛篋ナリト持
ヘタリ其サマニ巴ノ紋ヲ散シ黒塗ニア線ニ朱ノ布目アリテ内ハ梨子地ナリ
粧具三アリ實ニ天正ノモノナリヤ
知ルヘカラス氏政自詠左ノ如シ

うせあむとするときめあるものよせの情あきこせせあけくをきて

吹とふく風あうらとを花ははる紅葉のれこる秋あらはこそ 氏政

北條家譜ニモ氏政ノ辭世ナリトテ歌ヲ載セタリ彼親
子其後ハ全ク土民トナリ世々此所ニ居テ今ニ至レリ

矢向村

矢向村ハ川崎宿ノ西ヲ去コト二十町餘ナリ郷庄ノ名ハ今唱ヘサント小田原家人所
領役帳ニ稻毛矢向一貫五百文ノ地ヲ太田大膳亮領セシ由ヲ記ストキハ古ヘ稻毛庄
ニ隸セシト見ユ又村内最願寺ノ鐘ニ橘樹郡稻毛庄矢向郷トアリ是寶永七年ノ銘ナ
リ此頃モ猶庄名ヲ傳ヘタルコト知ラル村ノ廣狹東西ヘ七町南北十町許東ハ南河原
村西ハ江崎村北ハ塚越戸手ノ二村ニ接シ南ハ鶴見川ヲ界トシテ上末吉村ナリ又巽
ノ方ニテハ市場村ヘモ少シク交レリ家數八十二軒土性ハ眞土ニシテ水田多ク陸田
少ク平行ノ地ナリ村ノ開ケシ年歴ハ詳ニセサレト此地ニタテル良忠寺ハ弘安元年
草創セシ寺トイヘリサモアレハ此頃既ニ開ケシナルヘン思フニ此村名モ矢上矢向
ト同シ時名ヲオヒテ矢口ヨリ出タルナラン永祿ノ頃ハ巳ニ前ニモ云如ク太田大膳
亮カ知ル所ナリ御打入ノ後ハ御料地トナリ伊奈半十郎カ支配ニ屬シ正保ノ頃ハ御
料及ヒ松波十右衛門カ知行入會ナリ其後ノ事詳ナラス今ハ松波五郎右衛門新見出
羽守淺草誓願寺領等入會ノ地ナリ誓願寺領ハ元祿九年五月同十六年十月ノ二度ニ
賜フ處ナリ此餘鶴見川ノ邊ニ付テ流作場ト唱ヘ一段餘ノ地ヲ關キテ明和年中ヨリ
租稅ヲ出ス是ハ御料ノ地ナレハ御代官ノ支配ニ屬セリ檢地ハ寛永二十一年アリシ
トノミ傳ヘテ糺セシ人ノ姓名ヲ知ラス近村ヲ以例スルニ恐クハ是モ伊奈半十郎忠
治カウケタマハリナルヘシ

高札場三ヶ所 一ハ村ノ中程新見出羽守知行ノ内一ハ誓願寺領ヨリ少シ
小名 樋口 村ノ巽市場村ノ界ヲ云今コトハ二廻 前袋 同ノ邊 中袋 村ノ南鶴見
ト云アレハ是ニ對シテ名付ト云 神田 村ノ北 小橋 村ノ中央
鶴見川 係村ノ南境ヲ流ル當村ニ ○古川 二ヶ所 共ニ鶴見川ノ枝流ニシテ僅ナル流レ
流ヲ移シタレハオノツカカラ古川ノ名ハ起リシト云 ○用水 三ヶ所 一ハ川崎用水ト

新編武蔵風土記 橋村部卷一五 十一

小倉兩村ノ間ヨリ引來リ村內處々ノ水田ニ沃キ餘水ハ南河原村ニ入レハ矢向
 水ト云村ノ西ヨリ引來リ是モ處々ノ耕地ニ沃キ餘水ハ南河原村ニ入レハ矢向
 河原用水ト云村ノ北縁ヲ流レテ南河原村ニ達ス此水ハ當村ニ引用ユルト云
 利ヨカラズシテ濫漑ノ用ヲナサレハ川崎矢向ノ二流ノ引用ニハト云
 山王社村ノ東ヘヨリテアリ古ハ社領三千貫文ノ地アリテ近郊市場江ヶ崎探越古
 川平間等ノ村マテナヘテ當社ヲ鎮守トシテ此ノ地アリテ近郊市場江ヶ崎探越古
 大社コソテ最古キ宮柱ナルヘテ社領三千貫文ノ地アリテ近郊市場江ヶ崎探越古
 トキハ當社領ノ遺名ナルト云モアリ云村內神田ト云小
 名ハ當社領ノ遺名ナルト云モアリ云村內神田ト云小
 コアリ方 ○十二天社 村ノ南ヨリテアリ最上ニ覆 ○伊勢宮 村ノ西北ケ崎村ノ地
 ノ見レリ古キ鎮坐ト見ユルヲ ○稻荷社 小祠其忠寺持 ○稻荷社 村ノ西方ニ
 其忠寺 記主禪師ニテ弘安元年ノ草創ト云記主淨土宗京都知恩院ノ末山ナリ開山ハ
 條ニ詳ナリ當寺古ハ神奈川宿慶運寺ノ子院ナリト云カ四十一世讚譽ハ寛保二年正月十
 恩院ノ直末ニ屬セリユヘテ今是ヲ中興ノ開山トナセリ讚譽ハ寛保二年正月十
 四日示寂寺傳ニ村內ニ十二天森ト呼フ所アリ往昔記主禪師鑱倉光明寺ニ住シテ
 荏原郡鶴木村ナル光明寺ニ往來ノ時カノ十二天森ノ邊ニ鶴見川ノ淵ヨリ一編ノ藥
 アヤシク得タリ師奇異ノ思ヒテナシテ假ニ草庵ヲ搦ヘカノ像ヲ安置セリカ其後終
 師像ヲ得タリ師奇異ノ思ヒテナシテ假ニ草庵ヲ搦ヘカノ像ヲ安置セリカ其後終
 詳ナラズトナリシカハ即チ師ノ名ヲ取テ寺號トナセシト云今ノ地ニ移リテ年歴ハ
 客殿七間ニ六間半本尊三尊 寺寶 藥師像一軀 此像ノ來由 佛舍利七粒 六字
 彌陀長二尺許ナルヲ安置ス 善導圓光兩大師畫像二幅 記主禪師
 名號一幅 大僧正祐天 袈裟一具 同人ノ著セ 善導圓光兩大師畫像二幅 記主禪師
 記主禪師木像一軀 觀音堂一尺三寸許ナルヲ安ス往昔村內舊藏ノ發生セル下
 出出現ノ像ナレハ舊藏ノ觀音ト尊稱セリト今其 鐘樓門コ入テ右ノ方ニアリ
 寶跡ヲ呼テ觀音トイヘリ舊藏ハ皆枯ウセテナシ 鐘樓門コ入テ右ノ方ニアリ
 祿十七年ノ古銘

當山開祖諱良忠字然阿。謚記主禪師。其盛德載詳于諸傳。不可勝記焉。禪師嘗傳宗轍
 於鎮西。轉法輪於關東。因時來往當村。示教利害。偶有一夕感靈相。繇是草創一廬。掛錫
 日廼斯地是也。其後門葉修飾之。以勅號呼山。以法諱名寺。斯乃欲使其芳跡。后代不變
 也。日蔽蒂甘棠。勿剪勿敗。召伯所憩。蓋所以慕其德。其意相似也。自後春秋幾乎四百餘
 載。夕燈晨香。盛衰有異。而靈地無變。豈非開祖名實之德風乎。余住于茲有年矣。普慕檀
 緣。繼其將絕。與其將廢。佛宇僧房。厨庫垣墻。皆悉新之。但恨未全法器也。凡釋門法器若
 千鐘爲之長。其長未也。可謂一大闕事乎。爰有檀信當所當村。惟橋傳兵衛者。謂余曰。拙
 聞父母慈恩。界天罔極。幸常懷風樹之恨。冀欲鑿華鯨。以終兩親。念譽淨專士及萬靈之
 冥福。寧可乎。余曰。曾哉言乎。居吾語女。夫鳴鐘之爲妙用也。非啻報六時早晚。告四序昏
 曉。且降魔退不祥。警衆發深省。抑亦鄉里農家春耕夏耘秋收冬藏。而亟民事者。無待鐘
 聲。不長與夜寐。惟非農業之一助乎。因此想之。追薦莫大於焉。吾子勉旃。檀信聞之欣然
 應諾。於是乎相俱戮力。新鐘此成。將簾之。乃作之銘。

銘曰

山稱記主 寺號良忠 惟師所憩 斯倡宗風 雁塔雖古 鯨鐘未充

檀家戮力 愚氏成功 其體牢固 厥相玲瓏 聲徹天上 德遍人中

鳥鳴月落 勵農物豐 花散降霜 省衆心通 縮林鎮護 素葉長隆

善哉法器 化用無窮

惟時元祿十七龍集甲申春三月十五日武陽橋樹郡矢向村

記主山良忠寺四十一代

曾蓮社讚譽上人法子徹玄謹誌

冶工 木村將監安成

正樂寺 村ノ中央ニアリ重巖山ト號ス新義具言宗神奈川宿金藏院末開山及蓮立ノ
此寺他ノ記録ニ傳ヘサレハ市場村通照院ノ中興尊秀此寺ヲ草創セリトモイヘリ
殿三間ニ三間半本尊大日如來ヲ安ス ○最願寺 真忠寺ノ東ニ隣リ淨土具宗西
寺古ハ真言宗ニテ江戸麻布善福寺ノ子院ナリシト是誤ナリ其事ハ下ニ辨セリ又
寺傳ニ中興祐源ノ時ニ至リ始テ淨土具宗ノ門ヲ入テ西本願寺ニ屬セリユヘコ今
是テ開山トナセリト祐源ハ慶長十二年三月朔日寂ス按ニ往古眞言寺ノ頃麻布善
福寺ノ子院ナリト云コトハ誤ナリイカト云コト此寺ノ墓所ニ延慶二年ノ古碑
アリテ是往古ノ開山ノ墳ナリト傳ヘ山號ヲ延慶トイハ其頃ノ起立ナルヘ
ルニカノ善福寺ノ眞宗ノ門ニ入レハ觀關東教化ノ頃ナル日同寺ニテ傳フル
感ナレハ延慶以前ノ事ナルコト明クセヨリテ思フニ此寺往古眞言寺ノ頃本寺
ハナカカリシコヤ改宗ノ時ニ至リテ始テ善福寺ノ末寺トナリ再本山ノ直末ニ屬セ
シナルヘシ寺傳ニ云處ハ語リ傳ヘテ誤リアル 鐘樓門 鐘ニテ左ニアリ實永七年
ナラシ客殿五間ハ六間半本尊彌陀ヲ安置スル

モラセリハ 古碑一基 境内墓所ノ入口ニアリ背石ノ板碑ニテ長四尺餘幅一尺許ナ
リトイヘリ 延慶二年二月九日ト記セリ寺傳ニテ古眞言宗ナリト時ナ
開山ノ墳ナ

江崎村 江崎村ハ郡ノ北ニヨリテアリ古ハ稻毛領ニ屬セリト何ノ頃ヨリカ川崎領ニ屬セ
リ江戸日本橋ヨリ行程五里ニ餘レリ土人ノ傳ヘニ往古此村ハ矢向ト一村ナリシト
名義ノ起リヲ尋ヌルニ矢向ハ村ノ形鏡ノ如ク圓ク此村ハカノ鏡ノ柄ノ如クナル處
ナレハ江崎ト名付ナトイヘハ柄ヲ江ト書カヘタルニヤ覺東ナキ説ナリ村ノ四境東
ハ矢向村南ハ鶴見川ヲ隔テ、上末吉村ニ界ヨリ北ヘワタリテハ小倉矢向ノ二
村打交リ東西五丁南北へ八丁程民家二十八軒土性ハ眞土ニテ此邊玉川ノ水ヲモテ
用水トナセリ水田多ク陸田少シ天正十九年九月地頭荒川長兵衛カ檢地セルヨシ水
帳ニ見エタレハ此頃ヨリ私領ノ地ナリシト見ユソレヨリ引續キテ知行シ今ノ八左
衛門ニ至リ

江崎村 江崎村ハ郡ノ北ニヨリテアリ古ハ稻毛領ニ屬セリト何ノ頃ヨリカ川崎領ニ屬セ

リ江戸日本橋ヨリ行程五里ニ餘レリ土人ノ傳ヘニ往古此村ハ矢向ト一村ナリシト

名義ノ起リヲ尋ヌルニ矢向ハ村ノ形鏡ノ如ク圓ク此村ハカノ鏡ノ柄ノ如クナル處

ナレハ江崎ト名付ナトイヘハ柄ヲ江ト書カヘタルニヤ覺東ナキ説ナリ村ノ四境東

ハ矢向村南ハ鶴見川ヲ隔テ、上末吉村ニ界ヨリ北ヘワタリテハ小倉矢向ノ二

村打交リ東西五丁南北へ八丁程民家二十八軒土性ハ眞土ニテ此邊玉川ノ水ヲモテ

用水トナセリ水田多ク陸田少シ天正十九年九月地頭荒川長兵衛カ檢地セルヨシ水

帳ニ見エタレハ此頃ヨリ私領ノ地ナリシト見ユソレヨリ引續キテ知行シ今ノ八左

衛門ニ至リ

高札場 村ノ中

新編武蔵風土記 高札場 村ノ中

十三

山稱記主 寺號良忠 惟師所憩 斯倡宗風 雁塔雖古 鯨鐘未充
檀家戮力 愚氏成功 其體牢固 厥相玲瓏 聲徹天上 德遍人中
鳥鳴月落 颯農物豐 花散降霜 省衆心通 緇林鎮護 素葉長隆
善哉法器 化用無窮

惟時元祿十七龍集甲申春三月十五日武陽橋樹郡矢向村
記主山良忠寺四十一代
曾蓮社讚譽上人法子徹玄謹誌

冶工 木村將監安成

正樂寺 村ノ中央ニアリ重養山ト號ス新義具言宗神奈川宿金藏院末開山及基立ノ
此事他ノ記録ニ傳ヘサレハ後ヲ安ス客 ○最願寺 真忠寺ノ東ニ隣レリ淨土真宗西
殿三間ニ三間半本尊大日如來ヲ安ス
寺古ハ真言宗ニテ江戶麻布善福寺ノ子院ナリシト是誤ナリ其事ハ下ニ辨セリ又
寺傳ニ中興祐源ノ時ニ至リ始テ淨土真宗ノ門ニ入テ西本願寺ニ屬セリユヘコ今
是テ開山トナセリト祐源ハ慶長十二年三月朔日寂ス按ニ往古真言寺ノ頃麻布善
福寺ノ子院ナリト云コトハ誤ナリイカコト云ニ此寺ノ墓所ニ延慶二年ノ古碑
アリテ是往古ノ開山ノ墳ナリト傳ヘ山號ヲ延慶トイハ其頃ノ起立ナルヘ然
ルニカノ善福寺ノ真宗ノ門ニ入テハ觀關東敷化ノ頃ナルヨリ同寺ニテ傳フル
處ナレハ延慶以前ノ事ナルコト明ケテ善福寺ノ末寺トナリ再本山ノ直末ニ屬セ
ハナカテシニ改宗ノ時ニ至リテ始テ善福寺ノ末寺トナリ再本山ノ直末ニ屬セ
ナラシメ客殿五間ニ六間半本尊彌陀ヲ安置スル 鐘樓門ニ入テ左ノ銘文ヲ考證セ
モラセリハ 古碑一基 境内墓所ノ入口ニアリ背石ノ板碑ニテ長四尺餘幅一尺許ナ
開山ノ墳ナ
トイヘリ

江崎村ハ郡ノ北ニヨリテアリ古ハ稻毛領ニ屬セリト何ノ頃ヨリカ川崎領ニ屬セ
リ江戸日本橋ヨリ行程五里ニ餘レリ土人ノ傳ヘニ往古此村ハ矢向ト一村ナリシト
名義ノ起リヲ尋ヌルニ矢向ハ村ノ形鏡ノ如ク圓ク此村ハカノ鏡ノ柄ノ如クナル處
ナレハ江崎ト名付ナトイヘハ柄ヲ江ト書カヘタルニヤ覺東ナキ説ナリ村ノ四境東
ハ矢向村南ハ鶴見川ヲ隔テ、上末吉村ニ界ヒ西ヨリ北ヘワタリテハ小倉矢向ノ二
村打交リ東西五丁南北へ八丁程民家二十八軒土性ハ眞土ニテ此邊玉川ノ水ヲモテ
用水トナセリ水田多ク陸田少シ天正十九年九月地頭荒川長兵衛カ檢地セルヨシ水
帳ニ見エタレハ此頃ヨリ私領ノ地ナリシト見ユソレヨリ引續キテ知行シ今ノ八左
衛門ニ至リ

江崎村

江崎村ハ郡ノ北ニヨリテアリ古ハ稻毛領ニ屬セリト何ノ頃ヨリカ川崎領ニ屬セ
リ江戸日本橋ヨリ行程五里ニ餘レリ土人ノ傳ヘニ往古此村ハ矢向ト一村ナリシト
名義ノ起リヲ尋ヌルニ矢向ハ村ノ形鏡ノ如ク圓ク此村ハカノ鏡ノ柄ノ如クナル處
ナレハ江崎ト名付ナトイヘハ柄ヲ江ト書カヘタルニヤ覺東ナキ説ナリ村ノ四境東
ハ矢向村南ハ鶴見川ヲ隔テ、上末吉村ニ界ヒ西ヨリ北ヘワタリテハ小倉矢向ノ二
村打交リ東西五丁南北へ八丁程民家二十八軒土性ハ眞土ニテ此邊玉川ノ水ヲモテ
用水トナセリ水田多ク陸田少シ天正十九年九月地頭荒川長兵衛カ檢地セルヨシ水
帳ニ見エタレハ此頃ヨリ私領ノ地ナリシト見ユソレヨリ引續キテ知行シ今ノ八左
衛門ニ至リ

高札場 村ノ中
央ナリ

小名 東通リ村ノ東 西通リ西方 江尻西ノハツ 堀北ノ方

鶴見川 小倉村ヨリ入矢向村ニ通セリ川幅十五 八幡社 小名東通リヨアリ本社ニ覆屋アリ本地正觀音坐像五寸許村ノ老松ニ棟アリ

村内外古松多シ ○第六天社 東南ノ方矢向村ノ境ニモ壽德寺持 壽德寺 瓦奕ト云寛永二十年十二月十八日寂ス客殿六間ニ五間半本尊彌陀坐像長

六寸ナルヲ安セリ境内ニ庚申及地藏ノ二像石 小倉村

小倉村ハ江崎ノ隣村ナリ郷名ノ唱ヲ失ヘリ庄ハ古稻毛ニ屬セシ由小田原家人所領

役帳ニモ十五貫文稻毛小倉三橋分太田新六郎知行トアレハ此頃ハ稻毛ヲ唱ヘシナ

リ今ハ其名ヲ失ヘリ江崎自本橋ヨリ行程五里許東ハ塚越村ニ境ヒ南ハ江崎村ニ隣

リ又鶴見川ヲ隔テ、上末吉村ニモ交レリ西ハ南加瀬村ニ及ヒ北ハ北加瀬鹿島田ノ

二村ニ及ヘリ東西凡十三町餘南北廿二丁餘土地總テ平カニ土性ハ眞土ナリ民戸百

八軒用水ハ多磨川ノ分水ヲ引ケトモ鶴見川ノ水溢ル、時ハ水損ノ患アリ水田多ク

陸田少シ此村北條分國ノ頃ハカノ家人ノ所領ナリシ事ハ前ニ載タリ御入國ノ後ハ

御代官所ニテ伊半奈十郎忠治カ支配ナリ正保元年ニ至リ同人檢地セシ事アリ其後

ノ事ハ詳ナラス寶永五年村内ノ地ヲ割テ松下勇次郎ニ賜ハリ其餘ハ古ニヨリテ御

料所ナリシカ正徳三年文昭院殿ノ御靈屋料ニ御寄附アリテ今モカノ御料ト松下勇

次郎ノ知行所ナリ

高札場ニケ所ニ中央

小名 籠田 東ノ方村ハツレコアリ此邊ノ田間ニ松樹 池頭村ノ西 池尻北方

新田 村ノ東

鶴見川 南加瀬村ヨリ入南ノ方江崎村ニ至ル村 ○末吉橋 土橋ナリ鶴見川ニ架ス

諸所 ○石橋 塚越村境ノ用水堀ニ架ス長サ二間幅 ○用水 村ノ東ノ方ニ架ス

村ニ入江ケ崎

杉山社 村ノ東北ノ端ニ立本社ニ覆屋アリ前ニ石ノ島居アリ ○八幡社 村ノ南ノ

トヨフ處ニアリ前ニ石ノ島居ヲ知ラヌ ○牛頭天王社 村ノ西ノ小名南田ニ架ス

本社ニ覆屋アリ前ニ石ノ島居ヲ知ラヌ ○牛頭天王社 村ノ西ノ小名南田ニ架ス

初テ傳ヘス ○太神宮 村ノ北方ニ立本社ニ覆屋アリ前ニ石ノ島居ヲ知ラヌ

無量院 村ノ西方ニ立本社ニ覆屋アリ前ニ石ノ島居ヲ知ラヌ

州品川ノ僧仙房天文五申年入院云々 ○觀音堂 村ノ南ノ

境内ノ正面ニ客殿六間ニ七間東向本尊彌陀坐像長二尺寸ナルヲ考レハ舊

アリ山州清水ノ觀音ヲ撰ヒシ行基菩薩ノ作ナリト縁起アリト取ヘキ事實ナク且

新編武蔵風土記 卷之十五 十四

近キ頃ナリタルモノナレハ漏ラセリコハニ一棟ノ松アリ昔
ヨリ今モ能燈上ルコトアレハ是ヲ能燈ノ松ト名ツケリト ○正藏寺村ノ中央小
浄土宗郡内小田中村泉澤寺ノ末裔王山壽光院ト號ス開山ノ僧ヲ善光ト云永祿二
年十月十二日寂セリ中興開山ハ覺譽善智ナリ寛文十一年九月廿八日寂セリ客殿
七間ニ六間本尊彌陀坐像長一尺ナルヲ此寺今ハ衰微シテイッノ頃ヨリ此像ノ銘ニ開
基善光安置トアレハ舊キモノナルヘシ此寺今ハ衰微シテイッノ頃ヨリ此像ノ銘ニ開
事ヲ知ラス

塚越村

塚越村ハ其名ノ起ル處ヲ按ニ村内ニ古冢アリテ其邊ヲ塚ノ越トイヘリ此塚アルヨ
リ起リシ地名ナル事シラル其地ハ江戸日本橋ヲ距ルコト四里半ノ行程ニシテ郡ノ
良ノ方ニ當レリ家數四十軒散住ス村ノ四境ハ東ハ戸手村ニ隣リ南ハ矢向村ニテ西
ハ小倉村ニ界ヘリ乾ハ鹿島田村ニシテ北ハ下平間村良ハ古川村ナリ東西八町許南
北八十町ニ餘レリ水田多ク陸田少シ土地總テ平ニシテ土性ハ黒ヘナ土錯レリ此邊
專養芥粕及ヒ千綱ノ力ヲカリテ種樹セリ久世大和守カ領セシ頃延寶四年新墾ノ田
一段九畝二十九歩アリ總テ田畑トモニ水旱ノ患アリト云當村御入國ノ後久シク御
料所ナリシカ後久世大和守廣之カ領分トナリ後又御代官所ニ復シタリ元祿四年御
代官ハ山川金右衛門カ支配所トナリ同七年永田作太夫カハリ同十二年大岡喜右衛
門寶永元年小長谷勘左衛門等遷替セリ今ハナヘテ増上寺御靈屋料ナリ檢地ハ正保
元年ニテ伊奈半十郎忠治糺セリ

高札場 村ノ中央ニアリ此
道 村ノ古ノ田ノ地トナリテ後此名起レリ

小名 田町 村ノ東ノ 下方ノ 上ノ中央 中郷 是モ中 袋村ノ北下平間 田町
大師河原用水 村ノ北ノ下方ノ平間村ノ 〇戸手村用水 乾ノ下方ノ平間村ノ
川崎領大用水 乾ノ境ノ西ノ方ノ小倉村ノ 〇用水 村ノ北ノ大原ノ
深平均二尺ノ方ノ手村ニ出長二百八十間幅一間 〇用水 村ノ北ノ大原ノ
ハ下平間村ノ境ノ大原ノ用水ニ所ナリ長四間半幅三尺高六寸アリ
アヒョア長二間半幅一尺五寸高五寸ナリ長三間幅三尺高六寸アリ
地頭所ニテ 〇惡水埋以 長五間高五尺幅三間幅三尺高六寸アリ
造ル所ナリ 〇惡水埋以 長五間高五尺幅三間幅三尺高六寸アリ
トモニ村ノ前ニ造ル所ナリ

御嶽社 村ノ北ノ上方ノ前ニ本社七尺四方其中ニ宮造ノ社ヲ安セリ拜殿ニ
詳ナラス例祭ハ九月十八日ナリトモ其年ヲ定メテ神明社 御嶽ニ向テ左ノ
モ東明寺ニテ勸請 〇稻荷社 村ノ東ノ方ニアリ小祠ナリ前 〇荒神社 村ノ東ノ方ニ
ノ年佐野木工之助カ子孫持主鳥養仁兵衛ト云モ其子孫村ノ置兵衛カ持主アリ
八年秋木工之助カ子孫持主鳥養仁兵衛ト云モ其子孫村ノ置兵衛カ持主アリ

此家ニテ世々預リ奉リソレヨリ後年月詳ナラス久世大和守廣之ニ賜ヒ又イツノ頃

カ御料所ニ復シ夫ヨリ増上寺有章院殿御靈屋料ニ附セラルト云今尙其御料ナリ

小名 本村間村ノ北方土平 堤外是モ北ノ方ニテ 砂場方ニ至ル所ヲ云 三屋

西方ニテ鹿嶋 田村ノ境ナリ

用水 村ノ許乾ノ方上平間村ヨリ入所々々ノ水田ニ沃キ村ノ中央ニ至テ止ル川幅三間

ノ方古川村ニ乾ノ方ヲ流ルモ七百二十間餘此用水ノ南ニテ水ノ向方ニ

テ異ノ方小向村ニ入○堤百二十間高方一丈幅六間許是川崎ノ水々々

幅一間長五百十間許○掛樋是モ村ノ乾ノ方間半幅三尺六寸高サ三向村

修理モニテ公ヨリ○掛樋用水ニカシ長四間半幅三尺六寸高サ三向村

天満宮 一尺ノ北ノ方ニテ餘社邊ニ松樹數株アリ例祭九月廿五日小倉林無量院持下同

稻荷社 村ノ北方ニ○稻荷社祠例祭天満宮ニ同

稱名寺 村ノ中央ヨリ少シク北ニ寄テアリ淨土眞宗ニテ東本願寺末平間山歡喜院

巧如ノ作ナリ當寺古ハ眞言宗ニテ開山ヲ圓山ト云應永元年三月廿九日示寂セシ

事寺ノ舊記ヨリ見エタレト古キ事ナレハ詳ナラス殊ニ明暦年中回祿ノ災ニ罹リテ

舊記マテモ悉ク尙有セシカハ總テ本願寺ノ末トナリ今ノ宗ニ改ム其後東西分派ノ

時當寺ノ住僧某當宗ニ歸依シテ本願寺ノ末トナリ今ノ宗ニ改ム其後東西分派ノ

頃ニヤ當派 鐘樓 尺ニ寸餘實曆六年二月九日四方鑄造ナリ○宿願寺 村ノ中央

ニ北ニ寄テアリ淨土眞宗ニテ勢州一身田專修寺ノ末トナリ今ノ宗ニ改ム其後東西分派ノ

坊ト云モ暫廢寺トナリシレハ開山開基詳ナラス先住唯照 ○清安寺 村ノ中央宿願

尺八寸ノ立像ヲ安ス開山宗願寺末日照山ト號ス客殿四間四方西向本尊彌陀長

建セリ以來暫廢寺トナリタル是又示寂ノ年ニ至リ知山再

新編武藏風土記稿卷之七十二終

新編武藏風土記稿卷之七十二終

新篇武藏風土記稿

久良岐郡 卷一之

卷三

二十二

105

30

館書圖京東

八	一	一			
冊	二	〇	八		
	號	架	函	類	門

新編武藏風土記稿

久良岐郡目錄

卷之一

郡圖

總說

卷之二

金澤領

社家分村

寺分村

平分村

洲崎村

泥龜新田

町屋村

廣金澤新田

卷之三

金澤領

寺前村

卷之四

金澤領

谷津村

柴村

新編武藏風土記稿 久良岐郡目錄

富岡村

坂本村

水取澤村

金井村

吉原村

卷之五

本牧領

本郷村

横濱村

堀之内村

卷之六

本牧領

瀧頭村

岡村

太田村

詩田村

卷之七

本牧領

上大岡村

森公田村

森中原村

中里村

峯村

卷之八

本牧領

雑色村

關村

久保村

宿村

赤井村

宮ヶ谷村

宮下村

北方村

中村

根岸村

尾張屋新田

磯子村

吉田新田

井戸谷村

下大岡村

森雑色村

杉田村

矢部野村

栗木村

松本村

最戸村

別所村

中里村
永田村

弘明寺村
引越村

新編武藏風土記稿卷之七十二目錄

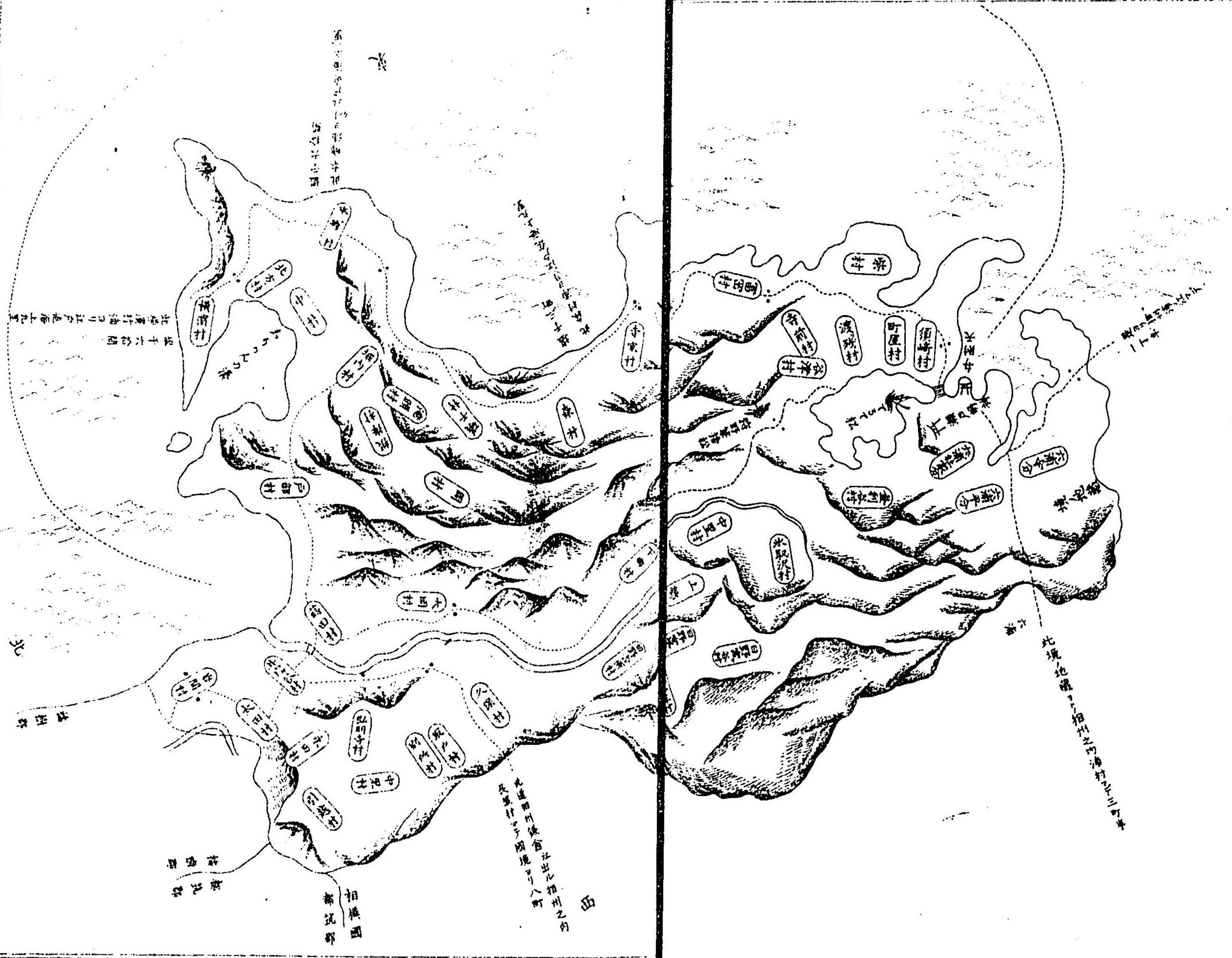
久良岐郡之一

郡圖

總說

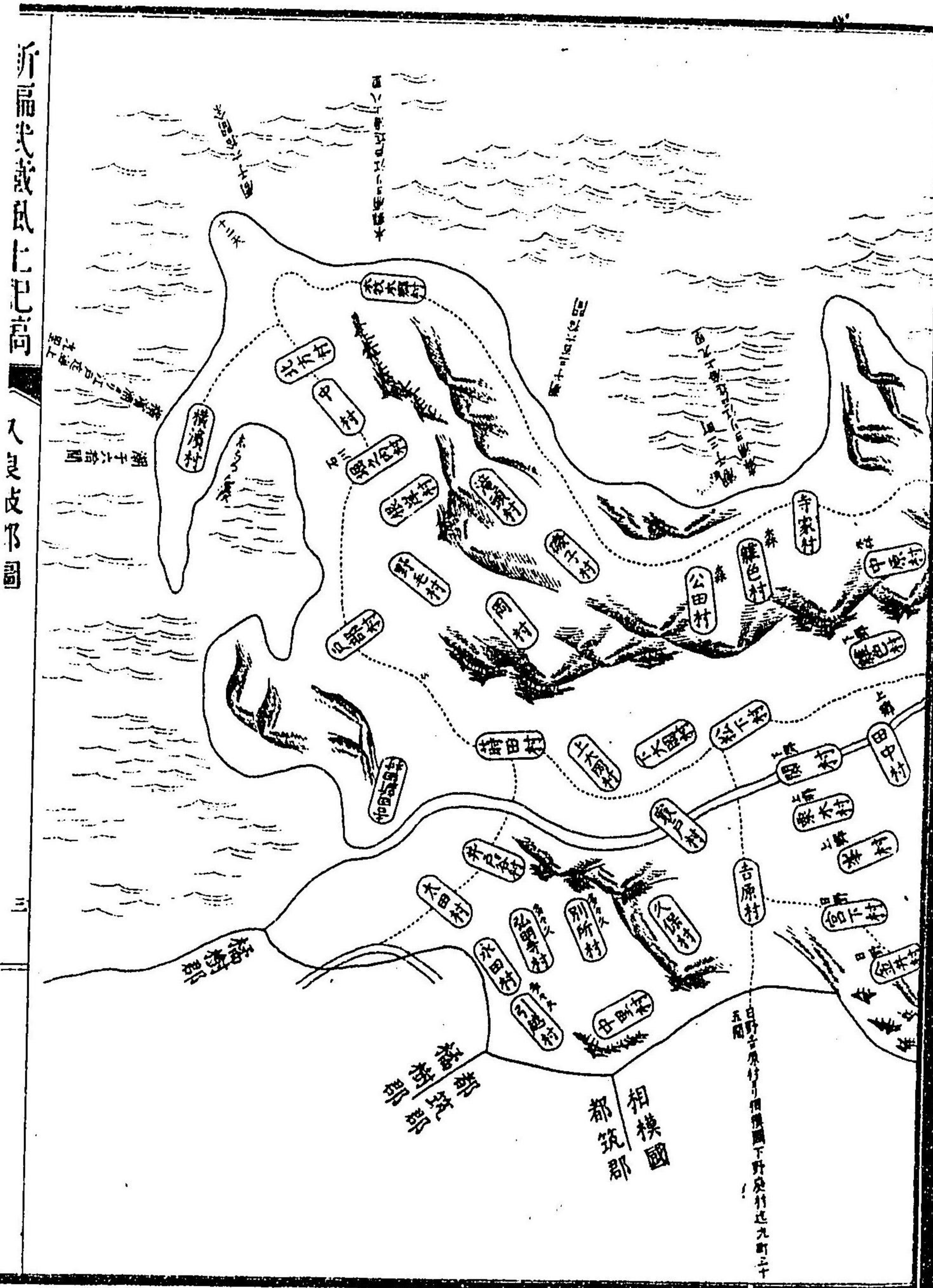
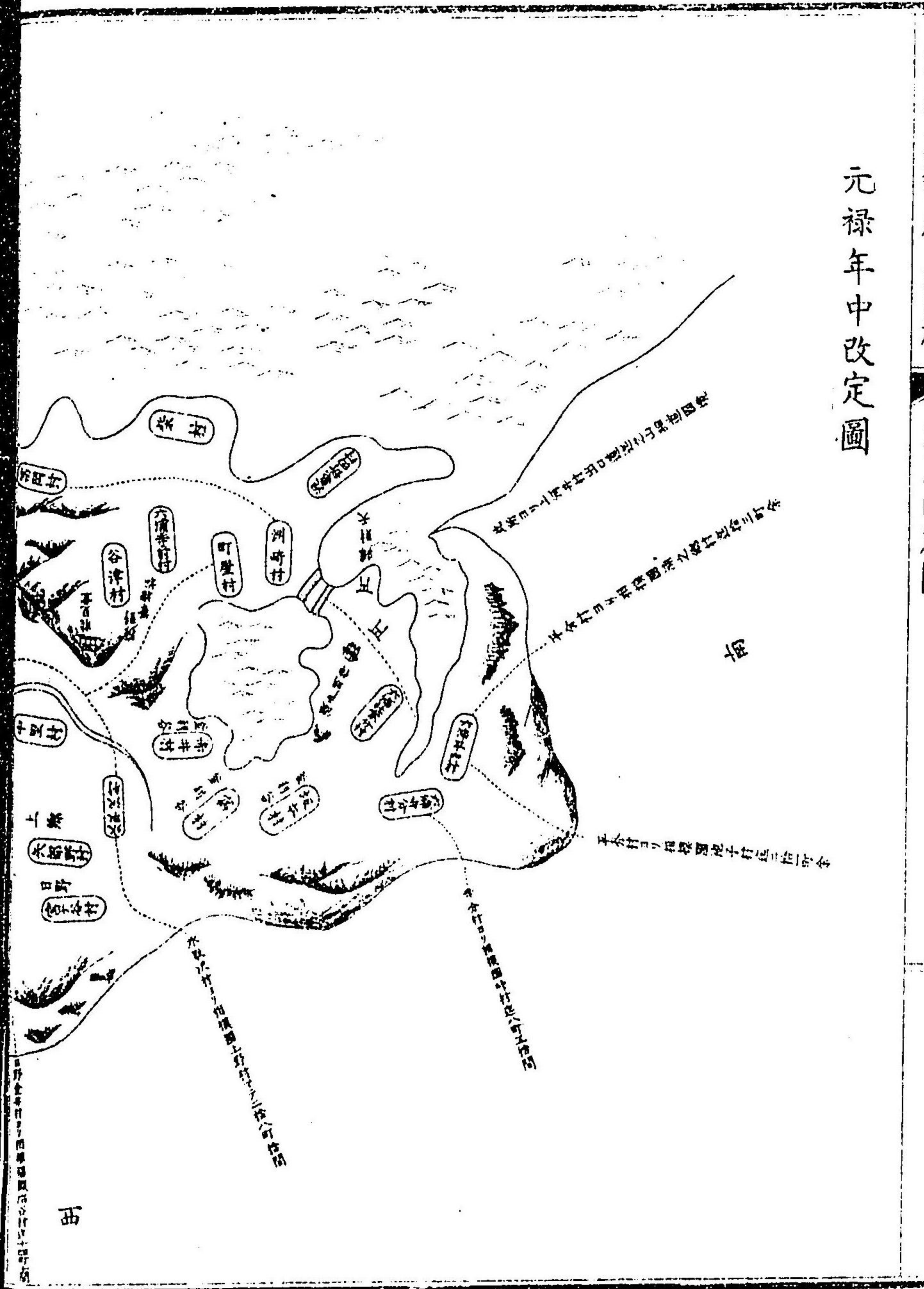
安閑記ニ倉棟立花多氷横淳四所ニ屯倉ヲ置シユト見ユ倉棟ハ當郡ノ事ナラント云
説アリ按スルニ此四倉皆多磨ノ府中ヨリ南ニ在カ如クオモハルレハ倉棟ノ唱轉訛
シテ久良岐トナリモテ來シモ知ヘカラス迄ノ後鎌倉將軍ノ頃ハ館ヲ距事遠カラス
殊ニ風景ノ勝地ナレハ將軍モシハク遊覽アリテ土地ノ繁華大方ナラス仁治ノ頃六
浦ノ切通開ケテ後ハ愈往來ノ便ヲ得タリ室町將軍ノ時ニ至テモ管領鎌倉ニ在住シ
猶此地モ賑ヒシナレハ故水戸殿撰述ノ鎌倉志ニ此地ヲ相州ニ附シテ收入セラレシ
モ宜ナリ御入國ノ後江戸ヲ府城ト定メラレシヨリ行程宿ヲ經ルニアラサレハ至ル
コトヲ得ス故ニ今邊鄙ノ地トナレリ郡域ハ西南相模國三浦鎌倉二郡東ハ總テ海濱
ニテ良ニサシ出タルハ本牧村ナリ因テ此浦ヲ本牧浦ト呼フ此所ヨリ江戸迄船路八
里ニ及フト云西北ニ彎曲セル所ヲ洲乾湊ト云神奈川臺ト近ク相望ム北ノ地先ハ橘
樹郡界乾ハ都筑郡界ニ至ル廣サ相州鎌倉郡界ヨリ海岸マテ二里或ハ三里袞鎌倉郡
峠村界ヨリ橘樹郡保土谷界ニ至マテ七里餘土性赤土多シ連山重疊レテ陸田山林ノ
ミ多ク山間ノ平地ニ水田ヲ耕ストイヘモ動モスレハ早損ヲ患フ海濱ニ至テハ漁鹽
ノ利アリ金澤迄ハ北ノ郡界保土谷宿ヨリ郡内太田村ニ入行程五里餘ニシテ町屋村
ニ至ルコノ邊谷津寺前町屋洲崎寺分社家分平分等ノ村々ヲ總テ金澤ト稱セリコノ

正保年中改定圖



北

元禄年中改定圖



邊ヨリ鎌倉浦賀ノ二道アリ鎌倉街道ハ寺分村ヨリ相州鎌倉郡峠村ニ達ス浦賀街道ハ平分村ヨリ三浦郡浦郷村ニ達スコノ外洲崎村ノ内小名野島ヨリ乗船シ海上二里ヲ經テ三浦郡横須賀村ニ移レル路アリコレ浦賀ヘノ捷徑ナリ共ニ金澤ニカ、ル其地ノ舊名ナルニ由テ金澤道ト呼ヘリ土人ノ風俗他郡ニ變ル事ナシトイヘトモ郡城海道ノ東ニ僻在スルヲ以寒村多ク土民モ鄙野撲質ナリサレト金澤ノ邊ハチノツカラ風俗モ華奢ニナラヘルハ鎌倉ノ遺風ナルヘシ郡城ノ沿革ヲ考ルニ和名抄當郡八郷都筑郡六郷及餘戸アリ橋樹郡五郷ノミナル時ハ當時當郡彼二郡ヨリ大郡ニテ今ノ如ク編小ナルヘカラス且星川諸岡二郷ノ如キ今見ニ隣郡ニ地名遺リ又小田原役帳ニ今ノ橋樹郡岩間青木ノ地名ヲ載セ共ニ傍ニ久良岐郡ト記スル類ニ據レハ後世境界變革シテ郡城ノ狹リシ事知ヘシ此郡鎌倉將軍ノ時ハ將軍ノ領地ナルヘシ後世領ノ比ハ上杉氏ナトノ領地ナリシニヤ小田原北條氏割據ノ頃ハ旗下ノ人々分テ領セシ事役帳ニ載ス御入國ノ後モ旗下ノ知行及御料所交レリ

郷名

倭名抄所載郷名七並郡家

船浦

布久良ト註ス今此地名ナシトイヘトモ次第ヲ推ニ六浦ノ邊ナルヘシ鮎ハ倭名抄龍魚ノ部ニハ安由ト訓シテ今ノ年魚ノ事ナリ布久ハ同部ニ鮎ト書スサヲハ鮎ノ字經ノ字形近ニヨリテ誤レルカ又布久ノ訓誤アルモ知ヘカワストカク鮎浦ノ轉訛シテ六浦ト唱フルナルヘクオモハル

大井

於保井ト註ス今考ル處ナシ

服田

波止太ト註ス是モ考ル處ナシ

星川

保之加波ト訓ス今都筑郡ニ上星川村アリ橋樹郡ニ下星川村アリ共ニ郡城ニ近キ地ナレハ則此郷名ノ村名ニ變セシニテ郡界後ニ改マリシコト知ヘシ

郡家今其所在ヲ傳ヘス

諸岡

毛呂乎加ト訓ス今橋樹郡ニ師岡村アリ是モ星川ノ類ナルヘシ按ニ鶴岡八幡所藏嘉吉元年十二月廿六日前下野守某カ出セシ文書ニ鶴岡八幡宮本地護摩公料武

藏國師岡保柴關所事云々ト見エタリ此師岡保モシクハ此所ニヤサレト多磨郡ニモ師岡村アレハソノマサシキ事ハ知ヘカラス

洲名

須奈ト註ス今考ル處ナシ

良崎

與之波之ト註スコレモ考ル處ナシ

中古所唱

久友郷

相州鎌倉鶴岡八幡宮所藏貞治四年七月二十二日將軍義詮文書ニ武藏岡久良郡久友郷事故御所一圓御寄附狀分明也云云ト載セ及同所藏應安六年四月二十八日細川武藏守頼之カ出セシ狀ニモ久良郡久友郷トミエタリ今久友ノ唱村名ニモ殘ラス

六浦郷

郡内稱名寺所藏文永正慶正平康安應永等ノ文書ニハ共ニ六浦庄ト記タリ庄名ノ條並見ルヘシ又鎌倉圓覺寺塔頭黃梅院所藏應永三十五年三月十二日安房守

某寄進狀ニ武藏國六浦郷瀬崎福壽寺云云トアリ東鑑ニモ六浦或ハ六連トノミ記シテ郷庄等ノ別ナシ既ニカノ書建久三年二月二十四日丁卯ノ條於武藏國六連海邊囚人上総五郎兵衛尉忠光鼻首輪盛奉之云云又仁治元年十一月三十日己未ノ條鎌倉與六浦津之中開始可被當道路之由有議定打丈尺被配分御家人等明春三月以後可造之由被仰付トアリ同二年辛丑四月五日六浦道被造始是可有急速沙汰之由去年冬雖被經評議被始新路爲大犯土之問明春三月以後可被造之旨重治定云云同年五月十四日六浦之路造事此間頗懈緩今日前武州監臨給以乘馬令運土石給仍觀者莫不奔營建長二年六月三日山内並六浦等道路事先年輒爲令融通鎌倉雖被直險阻當時又土石埋其間巷云云仍如前可被沙汰由今日被仰下仍今日前武州令監臨其所給之間諸人群集各運土石云云又同書是ヨリ前安貞二年四月二十八日將軍家爲御遊覽渡御六浦云云五月一日將軍家自六浦還御去夜御止宿六浦云云ナト見ユレハ舊キ地名ナリ鎌倉大草子應永四年正月二十四日小山若丸カ子トモ二人ハ弱年ニテアリシテ會津ノ三浦左京大夫是ヲ召捕鎌倉ヘ進上シケルヲ實檢ノ後六浦ノ海ニ沈メラル云云又鎌倉九代記ニ田村庄司則義小山若丸ニ與シテ管領氏滿ニ叛ケル故鎌倉ヨリ攻ケレハ則義ハ自害ス其

子五歳七歳ニナリシヲ生捕テ六面ノ沖ニ沈ニソカケラレケルト云是等皆當所ノ事ナルヘシ

本牧郷

郡中石川寶生寺所藏天文十四年六月三日禁制書ニ本牧郷石河村ト載セ都筑郡猿山村百姓佐兵衛所藏天文十九年四月朔日小田原北條家ヨリ出セシ文書ニ五百貫文武州久良岐郡本牧郷トミエタリ今ハ領名トナレリ

平子郷

コノ名モ石川寶生寺所藏文書ノ内應永二十一年五月十三日補任狀ニ武州久良郡平子郷内石川村寶生寺ト載セ寶徳二年七月二日寄進狀ニ武州久良郡平子郷内禪馬之村寶光庵領田九段畠八百文云云ト記シ寛正四年五月九日寄附狀ニ平子郷根岸村三分一云云又磯子村眞照寺文明五年五月十四日ノ狀ニ武州久良岐郡平子郷内禪馬根岸兩村三分一之所領ナト見エタリ今ハ庄名ニノミ殘レリ事ハ眞照寺ノ條ニ詳ナリ

富田郷

郡中稱名寺所藏正慶元年二月十六日武藏守貞時ハ文書ニ六浦庄富田郷今者稱補里谷

トミエタリ按ニ補ハ蒲字ノ誤ニテカハト訓セシナラフ同寺所藏正平二十六年
應永三十一年等ノ文書ニ釜里谷釜利屋ナト書リ餘ハ釜里谷郷ノ條ニ辨セリ

杉田郷 郡中關村東樹院所藏天正十八年ノ禁制書ニ武藏國久良岐郡十二郷内杉内三ヶ

村ト載セタリ

釜里谷郷或作釜利屋

稱名寺所藏正平二十六年二月二十七日寄進狀ニ六浦庄内釜里谷金澤兩郷云云

ト記シ應永三十一年五月二日寄進狀ニ武藏國六浦庄釜利屋郷白山堂事任去建

武二年六月十一日并貞和六年二月二十一日寄附之旨云云ト見エタリ此郷古ハ

富田ト稱セシト見ユ富田郷名ノ條ニ辨セリ

今所唱

釜利谷郷 說上ニ出村三

杉田郷 同上村二

禪馬郷

郡中石川寶生寺所藏寶德二年七月二日寄進狀及磯子村眞照寺所藏文明五年五

月十四日寄附狀等共ニ村名ノ如ク記シタルハ古ハ村名ナリシ事明シ猶平子郷

ノ條並セ見ルヘシ今此郷ニ屬スル村三

笹下郷 村七

日野郷 村四

多々久郷 村七

大岡郷 村一

森郷 村三

石川郷 村二

庄名

中古所唱

六浦庄

稱名寺文書ノ内文永十年四月二日ノ狀ニ六浦庄世戸堤内入海殺生事云云正慶

元年二月十六日武藏守貞時文書ニ武藏國六浦庄富田郷云云正平二十六年二月

二十七日及應永三十一年同三十二年等ノ文書ニ六浦庄内釜里谷ト見エタリ六浦ノ名東鑑ニ出シ等ノ事ハ既ニ六浦郷ノ條ニイヘリ

今所唱

六浦庄

説上ニ出村二十九

平子庄

同上村九

杉田庄

同上村三

小机庄

橘樹郡小机庄近キ地ナレハ其唱ノ及ロシナラン村七

平之庄

名義ハ其村ノ條ニ辨セリ根岸一村ノミ唱フ

領名

今所唱

金澤領 村十八

本牧領 村三十六

村數

五十四村

右件ノ村ハ今現在ノ數ナリ正保年間ノ改ニ村數四十三元祿十五年改ニ八十村ヲ増テ五十三村トナリ其後一村ヲ増テ今ノ數トナレリ

山川附海

山 郡中多クハ山丘ノミナレト數村ニカ、リシ大山ナケレハ各村ノ條下ニ記セリ
金澤原 郡ノ東南海邊ニ傍タル町屋洲崎寺前ノ三村入會ノ原ニテ其内畑ヲ開キシ
所モアリ東西二丁半南北六丁許町屋村ニ傍タル所ハ町屋原ト唱ヘ洲崎寺前ノ二
村及洲崎村ノ小名野島等ニ係ル處ハ其地名ヲ以テ呼ヘリ

大岡川 新川 天谷川 三川同流ナリタ、經ル所ノ地ニヨリテ名ヲ異ニス水元ハ
宿村ヨリ出氷取澤村ニ入同村小名官ノ澤ヨリ涌出スル清水ト落合テ一條ノ流ト
ナリ郡ノ中央ヲ北流スルコト凡五里吉田新田ノ西南ニ至テ二派ニ分レ一ハ同村
ト太田戸部二村ノ境ヲ流レ洲乾湊ニ至テ海ニ入一ハ詩田中ノ二村ニ傍テ吉田新

田ノ界ヲ經北流シテ海ニ入此川ノ源ハ僅ニ九尺許栗木村内ニテハ新川ト呼ヒ田中村ニテ天谷川ト唱ヘ又雜色村ニ至テ再ヒ新川ト號ス松本村ノ邊ヨリ川幅次第ニ廣カリ十間程ニ及フソレヨリ大岡村ニ至リテ大岡川ノ名起レリ

八幡川 郡内岡根岸等ノ村ヨリ出ル清水龍頭村内ニテ一條トナリ八幡川ト稱ス東流シテ海ニ入

二俣川 宿村ヨリ出ル細流ト坂本村小名横手山邊ヨリ涌出ル清水村内小名松橋ニテ合シテ一條ノ川トナル是ヲ二俣川ト名付下流赤井村ヲ經テ六浦ノ入海ニ入

侍從川 水元相州鎌倉郡峠村ヨリ出テ朝比奈切通邊ノ清水ト合シ一條ノ流トナリ郡内社家分寺平分三村入會ノ地ヲ流レ六浦ノ入海ニ注ク川幅四五間ナリ鎌倉志ニ侍從川ハ照天姫カ乳母侍從ト云女身ヲ投タル川ナリト云俗傳アリト記セリ

日野川 宮谷村ノ内小名大久保谷ヨリ涌出スル清水西流シ同村小名榎戸ヨリ出ル清水及ヒ宮下村ヨリ出ル細流ト合シ金井村ニ通シテ始テ日野川ノ名ヲ得同村ヲ過ルコト二十丁許ニシテ吉原松本等ノ村々ヲ經テ久保村ニ至リ大岡川ニ合ス

海 當郡南方洲崎村ノ出先小名野島ノ邊ヨリ北方本郷村十二天ノ鼻マテ三里餘夫ヨリ西ノ方都筑郡ノ境尾張屋新田マテ凡二里餘カ間海ニ傍ハリ東ノ向ハ安房上

總ノ二國ニ對シ相距コト七八里ヨリ四五里ニ至此海岸ノ村々多ハ漁獵ヲ業トシ生産ノ資トス其内磯子村ノ邊漁者最多シ本郷村邊ニ至リテハ本牧浦ト號シテ古ヨリ魚獵ヲ業トセシコトハ天正十五年ノ文書ニ見エタリ其文本郷村ノ條ニ載ス

十二天出崎ヨリ西北ノ向ハ近クハ神奈川ノ沖ニツ、キ遠クハ荏原郡羽田沖及ヒ品川ノ海面ウチ開ケタリ

屏風浦 南方富岡村ノ出崎ヨリ本牧浦ノ邊マテ海岸ノ様恰モ屏風ヲ立タルカ如クナレハ此唱アリ本牧浦ハ本郷村舊家勘右衛門カ所藏天正十五年ノ文書既ニ此名見ユ舊キ唱ナリ此邊ヨリ江戸マテ海上九里餘潮干三四丁或ハ五六丁此濱ニテ夏ハカツテ網或ハ手繰網ナト云ルモノヲ以テ漁シ冬ハケタト云繩網ヲ以テ海鼠ヲ得ルト云

金澤廢湊 今其遺跡ヲ失フトイヘトモ洲崎ノ邊ナルヘシ回國雜記ニ洲崎ノ湊トイヘル所ニ至ルコトハ昔賴朝卿ノ鎌倉ニ住セタマフ時金澤樓戸浦河トテ三ノ湊ナリケルトカヤト見エタリオモフニ文明ノ頃ハ既ニ此廢廢セシナラン此浦ニ唐船ノ着セシナト云コトヨク符セリ

洲乾湊 郡ノ北方横濱戸部二村及吉田新田ノ間ニアリ古ハ秀閑或ハ宗閑トモ書セ

新編武蔵野記 卷之七

七

リ其名ノ起リハ土人モ傳ヘサレト正保郷帳横濱村ノ高ナ記セシ傍註ニ六石一斗五合秀閑寺領ト見ユレハ當時秀閑寺アリシヨリノ名ナルニヤ爰ヨリ江戸マテ船路八里古ハイト廣キ入江ナリシカ次第ニ千瀉トナリ萬治年中吉田新田ヲ開キ及横濱ニ傍ヘル新田ヲ開キシユヘ今ハ東西十二丁南北四丁餘ノ入江トナリ大船ノ入ヘキ湊ニアラサレハ自然ニ廢セルナリ

産物

- 鯛 ウナギ
- 鳥類魚 カレイ
- 比目魚 イシモ
- 石首魚 アイナメ
- 鱧魚 ウナギ
- 章魚 タコ
- 鳥賊魚 サバ
- 沙嘴 サバ
- 水母 クラゲ
- 牡蠣 カキ
- 蛤蜊 カキ
- バカ ミルコイ
- ミルコイ

按ニ鯛沙嘴章魚ノ類古ヨリ當郡ノ海ニテ産セシ事ハ戸部村ニ傳ル小田原北條氏ヨリ出セシ文書ニモ見エタリ又北條家ヨリ葛綱ト云モノヲ本牧浦ニ置タル由本郷村民勘右衛門所藏天正十五年ノ文書ニ載タリ此葛綱ト云ハ鯛ヲ獵スル綱トイヘリ今ハ専ラ焚海鼠海鼠腸等其餘又バカノメサシナト云モノヲモ多ク製出セリ鹽 當所ノ鹽ハ鐵釜ヲ以テ製スルユヘ其色殊ニ白カラス行徳鹽ヨリ亦劣レリ按ニ當所ノ鹽濱ハ古ヨリ始リシニヤ稱名寺所藏永和二年六月二十三日ノ文書ニ稱名寺領内外敷地鹽垂場等事早任觀應三年三月三日御寄進狀之旨可令領掌ト載セ及

ヒ同寺所藏康安二年五月二十四日ノ文書ニモ鹽場ノ事出タリ

新編武藏風土記稿卷之七十三終

新編武藏風土記稿卷之七十四目錄

久良岐郡之二

金澤領

社家分村

平分村

泥龜新田

廢金澤蕨田

寺分村

洲崎村

町屋村

新編武藏風土記稿卷之七十四

久良岐郡之二

金澤領

金澤領ハ郡ノ南ノ方ニテ郡城三分ノ一ニラタレリ金澤氏ノ系圖ニ金澤五郎實義後實
泰金澤郷ヲ領シ金澤ヲ氏トスト云又東鑑ニ貞顯嘉曆四年四月十六日出家シテ金澤
殿ト號ストアリ此頃專ラ是等ノ人ノ領知ナル事知ルヘシ貞顯カ子武藏守貞將六波
羅ノ探題トナリ元弘三年五月二十二日相州山内ニテ討死セリ此事諸記ニアラハル
サレト此後ノ事蹟ハ系圖等ニ見エサレハ詳ナルコトヲ知ラス又諸家系圖云島津主
水正カ男左近大夫某遠山丹後守直景カ婚媾ニテ江戸ニ住ヌ祖父永久ヨリコノカタ
武州金澤邊ヲ領セリト今郡内谷津寺前町屋洲崎寺分社家分平分等ノ村々ヲ概シテ
金澤ト稱シ最勝景ノ地ナリコノ外數村ノ領名ニモカ、レリサレハ島津氏ノ領セシ
ハコノ邊ナル事シルヘシ領内ノ界域東ハ海ニ邊シ西ハ相摸國鎌倉郡ニ境ヒ南ハ同
國三浦郡北ハ郡中本牧領ニ接ス

社家分村

寺分村

平分村

此三村ハ古一村ニシテ六浦郷或ハ六浦庄ナト稱シ又六浦トノミモ唱ヘント見ユ今

ノ如ク三村トナリシハ何ノ頃ヨリト云コトヲ知ス正保改ニハ六浦ノ二字ヲ冠シテ社家分村寺分村平分村ト各村ニ分テ元祿ノ改ニモシカ記セリ今ハ六浦ヲ庄名ノミニ唱ヘテ村名ニハ冠ラス土人云社家分村ハ瀬戸明神ノ社領タル故名ツケ寺分村ハ小名大道ノ常福寺領ナリシヲ以テ平分村ハ寺社等ノ領ニアラサル故號セリト按ニ小田原役帳ニ六浦ヲ三箇所ニ載其一ハ六浦社領六浦ニ伏神主抱ト記ス是瀬戸明神ノ社領ニテ今ノ社家分村ナルヘシ一ハ六浦大道分トアリコハ大道ノ常福寺分ト云コトニテ寺分村ノコトナラン又一ハ六浦木暮分トアリコハ其故考ル所ナケレト平分村ニテアルヘシサレハ永祿ノ頃未タ三村ニハ分タサルヘケレト既ニ三區トハナリシトミユ六浦ノ名ハ古ク聞エシ所ニテ東鑑等ノ諸書ニ載シコトハ郡ノ總說郷名ノ條ニ辨セリ如此元一村ナリシ地ヲ分テシ故境界相雜リテ辨別シカダシ由テ姑ク三村ヲ合テイハ、東西ノ徑リ凡三十丁南北二十丁餘東ハ入江ヲ隔テ洲崎村ニ對シ西ハ相摸國鎌倉郡峠村ニ隣リ南モ同國三浦郡浦郷村ニ續キ北ハ本郡宿赤井坂本三村ニ並ヒ入江ヲ隔テ東北ノ方泥龜新田ナリ土地高低多ク土性ハ砂真土赤土砂交リ山ハ岩石及ヘナノ處アリ水陸ノ田相半シ旱損ノ歲多ケレハ又潮水ノ患モアリ村内所々ニ秣場アリ江戸日本橋ヨリ行程十二里餘民家社家分村ハ六十軒寺分村ハ三十

二軒平分村百四十八軒ナリ此邊ノ海中ニ水雪ヲ産スコレヲトリテ貢品トモナセリ村内鹽漬アリ耕種ノ暇ニハ鹽ヲ製テ餘業トシ又漁獵ヲナセルモアリ此村往古ノ領主ハ傳ヘサレト東鑑寶元五年六月六日ノ條ニ武藏國六浦庄領主陸奥掃除功實時トミヘタリ又同書ニ六浦三郎同平藏同六郎同七郎ナト稱セシ人アリ是等モ六浦ノ内ヲ領セシ人ニヤ社家分村ハ中古一圓ニ瀬戸明神ノ社領ナリシヨシ今ハ其所ニテ百石ノ地ヲ附セラル寺分村ハ村内常福寺領ナリシコトハ前ニ云ル如シ御入國ノ後瀬戸社領ノ外ハ皆御料トナリ正保ノ頃ハ御代官八木九兵衛正重支配シ其子次郎右衛門正明子源七郎重絲相繼テ支配セシカ寛文中久世大和守廣之ニ賜ヒ其後又御料ニ復シ元祿九年米倉丹後守昌尹ニ賜ヒ今其子孫丹後守昌壽カ領知ト瀬戸社領入會ノ村ナリ檢地ノ年代ヲ詳ニセス村内鎌倉海道係ル東ノ方洲崎村ヨリ入テ西ノ方相州峠村ニ達ス村内ヲ歴ルコト二十丁許幅三間ヨリ五間ニ至ルコハ賴朝治世ノ頃開キシ道ト云東鑑ニ仁治元年十一月晦日鎌倉ト六浦津ノ間始テ道路ニ當ラル、由議定アリテ明ル二年四月ヨリ道造アリ又建長二年六月ニモ山内并六浦等ノ道ヲ再ヒ造ラレシトアルハ則此道ノコトナルヘシ猶郡ノ惣說郷名ノ條ニ詳ナリ又古海道トテ西ヨリニ僅ノ道アリ是モ洲崎村ヨリ入村内金龍院ノ下ヨリ小名渡場ト云處マテ

ノ船ニテ渡リシレヨリ西へ五六丁過小名大道川三艘等ノ地三ツ股トナリシ處ヲ歷テ相模國ニ達ス是朝比奈切通シヲ開カサル前ノ道トイヘリ又中古ハ東ノ方ヨリ今ノ海邊ヲ通シ光傳寺ノ前ニカ、リ諏訪社ノ東ヲ南ニ往キ相州滑川ニ達セシヒ云リ

高札場 社家分ノ高札ハ小名六浦ニテアリ寺分ハ小名

小名 六浦 社家分ノ寺分ハ小名六浦ニテアリ寺分ハ小名

氏滅亡ノ時海老名尾張入道六浦引越ノ遺蹟ニテ假道場ト云ハルハ則當所ノコト

享以前ノ所立ナレハ引越ノ内ニ金龍院泥牛港ノ二ヶ寺アリ何レモ永瀬戸方ヨリ

阿彌陀佛 彌陀佛 彌陀佛 彌陀佛 彌陀佛 彌陀佛 彌陀佛 彌陀佛 彌陀佛 彌陀佛

三艘 南ノ方ナリ往古唐船三艘來泊セルヨリ斯名付トイヘリ其時職セ來リシト

今ヨリ當所ノ猫ハ當時舶來ノ子胤ナリト云 室ノ木 東寄ナリ此二所 荒井 龍金

院ノ傍 渡場 引越ノ南ノ濱邊ナリ房總ニ州ヨリ 室ノ木 東寄ナリ此二所 荒井 龍金

四望亭 高小室ニテアリ登臨スレハ四方トモイサハカモヤハユヘキモノナリシヲ山頂



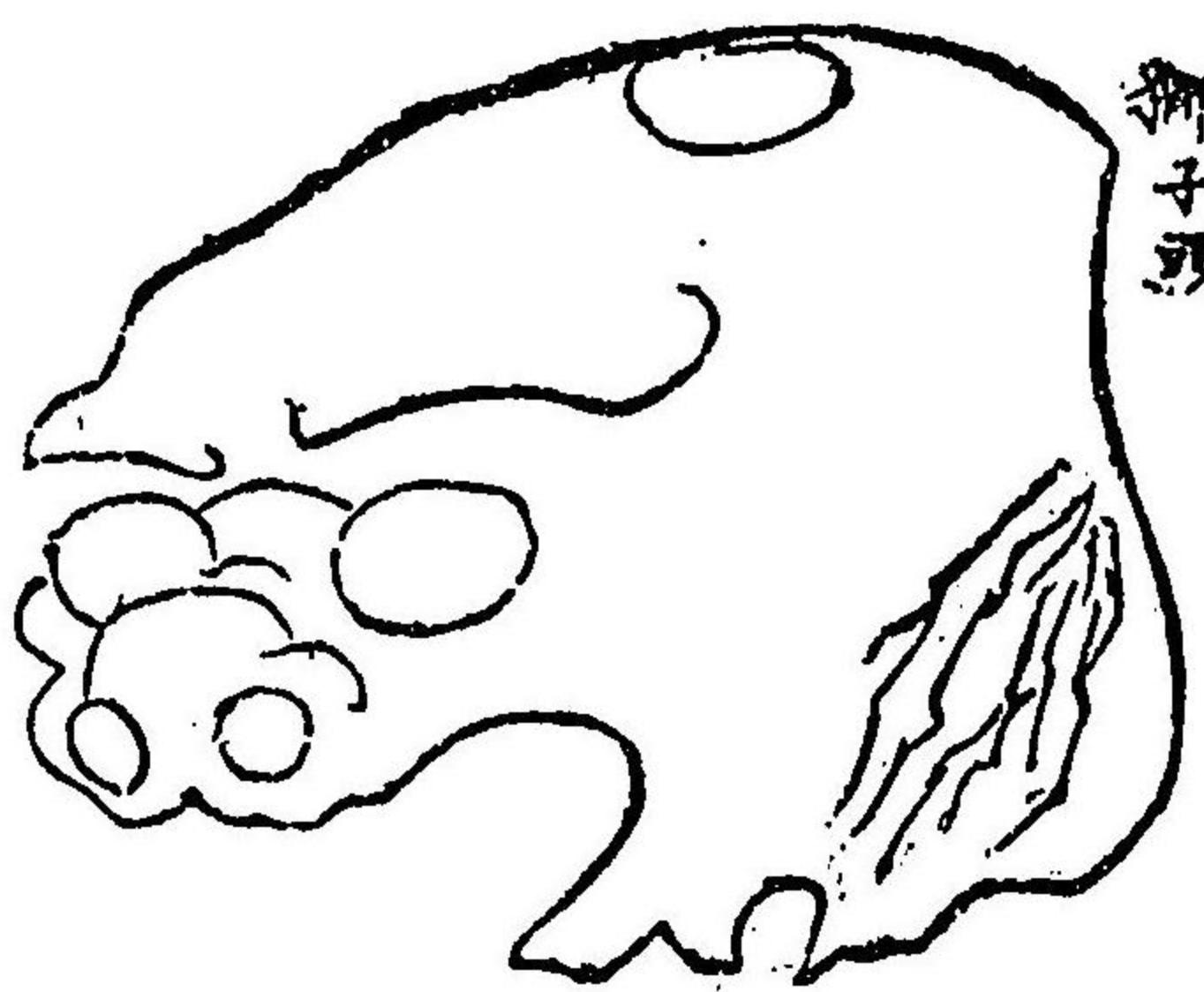
四望亭 望園

佳景ナリ西ノ郡中ノ山々ヲ始メトシテ江ノ南ハ相州ノ羣山ニ至リ東ノ房總ニ至リ又眼下ニ野嶋浦モオヒ金澤ノ八景ナリ此ニ東ノ方ナリ 林 地頭林ナリ字カクナリ 矢倉 村ノ内ニアリ山ノ中ニ設ケタレ 十坪餘或ハ入口ニ門柱 海 東ノ方ニアリ 侍從 川奈切通邊ノ方相州畔村ヨリ出朝比 名義詳ナラズニテ入海ニ合ス川幅四五間 名義詳ナラズニテ入海ニ合ス川幅四五間 名義詳ナラズニテ入海ニ合ス川幅四五間

室木浦 東南ノ方ニ 六浦川 潮ノ入川ニ架セル橋ヲ六浦橋ト呼 六浦川 潮ノ入川ニ架セル橋ヲ六浦橋ト呼 六浦川 潮ノ入川ニ架セル橋ヲ六浦橋ト呼

新編武蔵野... 久良町君卷二

獅子頭



後頭面



春施入袖襖

後頭面



同裏



後頭面

開靜動閑。奏敬悲田。驟化世俗。頻敲夜禪。
覺煩惑夢。驚生死眠。昏曉清響。劫々永傳。
大戒菩提薩垂僧普川筆。應安七年四月
十五日奉鑄之。

神主平胤義。檀那沙彌釋阿。并十方四衆
等。勸進聖義道。大工大和守國盛。

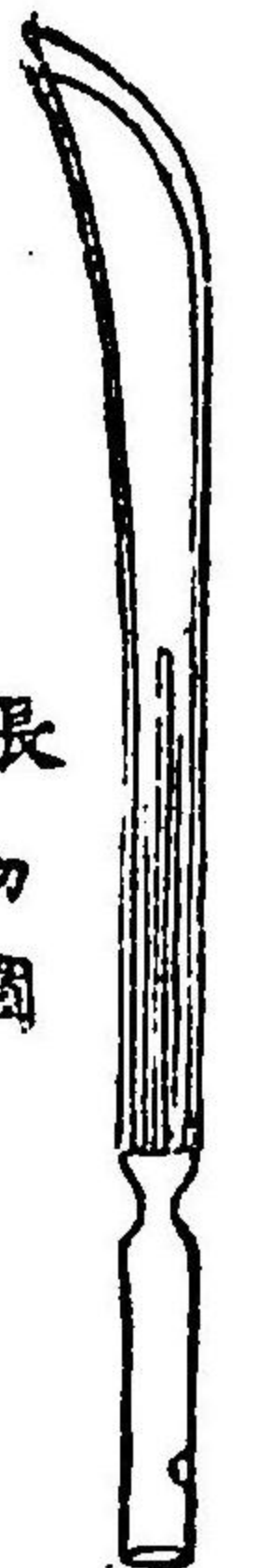
藥師堂。同邊。コアリ。二間。四方。本尊。藥師。ハ
ノ。藥師。ト。呼。フ。由。來。詳。ナ。ラ。ス。古。當。所。コ
放。下。僧。復。歸。セ。ン。コト。アリ。コト。因。コト。稱
ス。ル。コト。ヤ。復。歸。セ。ン。コト。ハ。下。コ
載。ス。三。本。杉。ノ。條。コト。出。セ。リ。コ
社。二。字。穴。社。ノ。後。赤。壁。ノ。中。腹。コ
本。社。ノ。東。コ。ア。リ。是。古。世。ノ。神。木。コ
八。木。ト。稱。ス。ル。其。一。ナ。リ。ト。云。屈。延。豆。ハ
混。ル。ト。イ。ヘ。リ。ワ。ダ。カ。マ。リ。シ。如。シ。ナ。レ。ハ。蛇
ノ。時。植。ラ。レ。シ。モ。ノ。ト。云。ハ。ト。イ。カ。ハ。ア
ソ。僧。萬。里。カ。詩。ニ。遺。廟。松。園。六。節。橋。朝。吟。繁
馬。石。支。展。師。飛。成。翠。屏。面。刺。被。風。塵。添。晚
潮。自。注。ニ。云。六。節。橋。前。有。古。柏。屈。繁。ト。是。文
明。年。中。ノ。作。コト。論。ナ。シ。ン。コト。古。柏。ト。稱。ス。レ。ハ
古。樹。ナ。ル。コト。論。ナ。シ。ン。コト。後。何。ノ。頃。ヨ。リ

カ立枯トナリシハ延寶八年八月六日大
風ノ爲ニ轉倒セシ故其マ、注連ヲ引廻
シテ今尙存在ス此柏數百歳ノ星霜ヲ歷
シテ故ニヤ香氣馥郁タルコト宛モ伽羅ニ
テ社内左右ノ板羽目ニナセルモノ枝モ
氣盛ナリ間ハスニテ彼材ナルコト知ラ
板ハ堅緻ニシテ潤澤ナルコト紫檀ニ類
リセ
三本杉。蛇。混。柏。ノ。南。コ。ア。リ。是。モ。古。樹
リ。兼。倉。志。ニ。是。放。下。付。カ。難。チ。復。シ。所。ナ
三。本。杉。モ。延。寶。八。年。風。雨。ノ。爲。ニ。倒。レ。シ。此
イ。ヘ。リ。按。ニ。那。須。拾。遺。記。ニ。昔。ノ。事。ナ。リ
シ。下。野。國。那。須。郡。森。田。ノ。住。人。牧。野。左。衛。門
勝。重。ト。云。モ。那。須。郡。上。野。國。伊。香。保。ノ。温。湯。ニ。浴
セ。シ。ト。相。談。國。ノ。住。人。刀。禰。大。膳。信。俊。ト。云
モ。シ。ト。諍。論。テ。ナ。シ。劍。擊。ニ。及。ビ。テ。信。俊。ウ
チ。マ。ケ。セ。リ。且。其。所。テ。去。シ。カ。リ。遂。ニ。勝。重。チ
殺。害。セ。リ。勝。重。ノ。男。子。二。人。ア。リ。兄。テ。勝。重。チ
丸。ト。云。弟。テ。武。藏。國。ニ。立。越。フ。兄。弟。父。ノ。仇
ヲ。討。ツ。メ。武。藏。國。ニ。立。越。フ。身。テ。ヤ。ツ。シ。テ
テ。同。國。瀬。戸。ノ。姿。ト。ナ。リ。弟。ハ。放。下。取。リ。テ
テ。戴。リ。神。主。千。葉。司。胤。香。配。神。祇。伯。白。川。家。ノ
ヲ。戴。リ。神。道。ナ。リ。ト。文。書。ニ。ハ。瀬。戸。社。澤。頭。名。寺。コ
藏。リ。唯。一。源。持。氏。ノ。文。書。ニ。ハ。瀬。戸。社。澤。頭。名。寺。コ
彼。寺。僧。本。地。護。摩。ヲ。修。セ。シ。由。チ。載。セ。又。社
内。ニ。藏。ス。ル。棟。札。コト。モ。住。持。ト。記。シ。且。境。内

鐘銘借普川ナト彫リ又六浦嶺松寺ハ司ノ先祖豐前某カ開基ナト傳
下社家佐野
辨財天社 瀬戸社ノ前海中一丁餘出タル嶼アリ至ノ形琵琶橋ニ似タリ中央ニ社建
右ハ混柏ノ並木ナリ此柏モ琵琶嶼ノ遺蹟ト云ハ幹ノ残リタレト木
理堅緻ニシテ一枝モ朽シモノナリ相傳フ當社ハ朝ノ御臺平政子竹生島辨財天
ノ寫シテハ並木ノ所ニシテハ潮戸橋ノ其時植サセテ琵琶嶼ニシテモノト云小社ニシテ東ニ向
ノ鳥居ハ並木ノ所ニシテハ潮戸橋ノ其時植サセテ琵琶嶼ニシテモノト云小社ニシテ東ニ向
金澤四石 社寶 寶珠石三顆 ○第六天社 年貢地小名三艘ノ山上ニ寶樹院持
熊野社 年貢地小名室木ノ阿リ一丈一丈五尺ノ社ニテ西北ニ向地入口ニ石鳥
ハノトミユレト巖石ノサマイト古色ニシテ後世ノ土人云傳フ
稻荷社 年貢地同所ニテ此所ニテ小社ナリ以下數字アリツレモ小社ナリ西向前ニ木ノ鳥居
是室ノ木ノ地名ノ由ニテ起ル處ナリト云ハ故アルト
見エタリ又此木ノ後ニ玉捕ト云大木及覆ノ古木アリ
大神宮 年貢地小名六浦ニテ立例祭六月十六日
日光權現社 年貢地小名川ノ阿リ九月十九日 ○諏訪社 年貢地同所山ノ中腹
年貢地小名六浦ノ西南持例祭九月十九日 ○天王社 年貢地是モ
社 年貢地室木ノ内山上 ○秋葉社 年貢地小名三艘ニテ
年貢地小名大道ニテ ○山王社 年貢地同所ニテ此傍ナル窟中ニ
リ長嶋稻荷ト號ス

東照宮
圓通寺 境内年貢地小名瀬戸ノ天台宗淺草東光院末二日輪山ト號ス
客殿ニ向テ西ニテ萬治年中八木次郎右衛門當所ニテ御代官タリト云
石山ナリ故御宮ノ後ハ今モ三丈許ノ巖石ナリ其頃御供料十七石餘
奉リ又久世大和守廣之モ御供料ノ地ヲ奉納セリト云ハ寛文二年
云又久世大和守廣之モ御供料ノ地ヲ奉納セリト云ハ寛文二年
故其頃寄附ニ奉レルナリ
金龍院 境内除地二段五畝小名引越ノ中ヨリ臨濟宗相州鎌倉建長寺末昇天山ト號ス
機雲松院ニテモカクノ如キ傳アリ尺許開山僧方崖元圭永徳三年九月十六日寂ス
飛石 本堂ノ後背小高キ所ニテ形ナク地ニ轉例シテ元ノ形ト稱ス飛石ノ字ハ用ユ
リ鳥居ヲ建又瀬戸ノ神此石文化中ノ地ニ轉例シテ元ノ形ト稱ス飛石ノ字ハ用ユ
金澤八景ノ外富嶽ヲ合セテ一見セラルハ相以テ九覽ノ名ニ得ル
最絶勝ナレト前ニ出セル四望亭ノ眺望ト相似タル以テ九覽ノ名ニ得ル
上行寺 境内除地三段小名六浦ノ向ニテ法華宗總本山開基ナリ此妙法蓮華經ノ
祐ハ千葉宗胤ノ孫胤貞ノ子ニテ本山ノ法華經寺第三祖ナリ開基ハ荒井平次郎光吉
記ニハ六浦上人ト載セ身延山ニ弟トナリ華嚴寺第三祖ナリ開基ハ荒井平次郎光吉
宗祖日蓮上人ト載セ身延山ニ弟トナリ華嚴寺第三祖ナリ開基ハ荒井平次郎光吉
濱邊ヲ里俗渡場ト唱ヘ房總ヨリ直ニ各船中問答ノ跡ナリト云傳フ村内小名引越ト號ス
田村妙法寺及町屋村安立寺ニテ各船中問答ノ跡ナリト云傳フ村内小名引越ト號ス
井スヘキヤ詳ニセシ又金龍院ノ傍ニ小名荒井ノ徑ト云傳フ村内小名引越ト號ス
見エタリ妙法ハ荒井ノ光ノ如シトハ前ニ見ユ井ノ妙法ト云傳フ村内小名引越ト號ス

モ昔失ヒ今ハ領主ヨリ阿彌陀免トシテ... 四方東向金澤札所第十五番ト云本尊彌陀ヲ安ス坐身長三尺許行基作脇士觀音勢... 大寧寺ノ境內除地ニ畝小名瀬ケ崎ニアリ...



長刀圖

長刀一振直焼乃所持ナリ無餘寸黒... 大寧寺ニテ武州六浦庄金澤ノ峯ニ...

接ニ志ヲ起シ尊靈ノ手向草トナラサメカモ遠世モ此遊來影ト云ルハ月則景秀カ事... 漆塗ノ箱ニ納ムノ蓋ノ銘ニ親類畫像ニ歴年悠久矣... 不遠脩焉茲文化庚午之夏遺家人黒田頼久...

文殊堂 除地二畝小名三艘ニアリ三間ニ二間半ノ堂ナリ文殊ハ坐身長一尺八寸許古ハ唐舶來ノ時渡リタル像ト云相州三浦郡浦郷村其心寺持
觀音堂 年貢地小名室ノ木ニアリ四間ニ三間半室木庵アリ觀音ハ一尺三寸許ノ立身ニテ此邊札所ノ九番ナリ堂中ニ彌陀ノ像アリ大寧寺持堂後ニ枯樹一
棟アリ老
木ト見ユ

地藏堂 除地六畝小名六浦ニアリ三間四方ノ堂 玉世姫墓 堂ニ向テ左ノ山腹ニアリ文字ハ有トモ知レズ由來ヲ詳ニセス側ニ墓印ノ松アリ此塔ニ手ヲ觸レハ必瘡ヲ病リトテ近ツクモノナシ

洲崎村

洲崎村ハ郡ノ南ニアリ庄名江戸ヨリノ行程前村ニ同シ戸數百八軒東ハ町屋村西ハ入海ヲ隔テ社家村北ハ町屋寺前ノ二村ナリ四方二丁程土地平カニ砂地ナリ用水ハ谷々ノ清水ヲ引多クハ天水ヲ仰ケリサレト陸田ニ比スレハ水田ハ多ク早損アレトタマキ津波ノ患ニ罹ルコトモアリ町屋村ヨリ當村ニカ、ル道二條アリ一ハ相州浦賀ヘノ往來ニテ小名野島浦ヨリ相州三浦郡横須賀村ニ通船ス一ハ鎌倉道ニテ社家分村ニ達スコハ鎌倉古海道ナリト云土人農業ノ暇ニハアサリ或ハ蛤ヤウノモノヲ取り近郷ニ鬻キ且ハ糞培ノタスケトモナセリ村ノ南方ナル入海ノ邊堤ノ内ニ鹽燒場アリ稱名寺ノ傳ヘニヨレハユノ地元ハカノ寺ノ領ニテ夫ヨリ前ハ金澤氏所領ナルヘシト云御打入ノ後御料所及村內龍源寺領交レリ後倉橋内匠カ先祖ニ賜ハリ今

モ倉橋内匠知行ナリ

高札場 瀬戸橋ノ東ニアリ

小名 野島浦 南ノ方ニアリ土人此所ヲ復方ト云名主ヲモ別ニ定メテ漢名主トシテハ其内ニ鎌倉志ニハ百軒ニ過レハ災アリ故ニ百軒ノ内民戸百軒ニ當リ必災アリト鎌倉志ニハ百軒ニ過レハ災アリ故ニ百軒ノ内民戸百軒ニ當リ

乙 輛浦 當村ト金澤原ニ積ケリ 八面 居村ト云 西 瀬戸橋ノ方ナリ 東 瀬戸橋ノ方ナリ

金澤原 東方ナリ當所ニテ洲崎原ト云小名野島浦

瀬戸橋 村ト云西方ニテ洲崎原ト云小名野島浦

第六天社 年貢地小名八面ニアリ二間ニ三間 天王旅所 年貢地龍源寺前社ヲ建ツ傍源寺ノ町屋村牛頭天王ノ旅所ナリ則當村ノ鎮守堂アリ

稻荷社 年貢地南方小高キ處ニアリ 〇稻荷社 年貢地東方ナリ

龍源寺 當村ト町屋村ノ間湖ノ傍ニテ村內ニ石ハ古義具官宗仁寺ノ末
ノ作ナリ始龍華寺ト稱シ後今ノ寺號ニ改メ龍源寺ト稱シ人王八傳ハ高倉院御宇
大永四年八月朔日寂ス當寺縁起云龍山龍源寺者寂人王八傳ハ高倉院御宇
年中鎌倉右大將頼朝伊豆國三嶋大崎神事ヲ崇敬佛堂建立武州淨願寺ノ
頭御造營ノ後常ニ法味ヲ進メ奉ラシ明神事ヲ崇敬佛堂建立武州淨願寺ノ
ト共ニ志ヲ合テ文治年中四方連ノ山中ニ精舍佛閣ヲ建立武州淨願寺ノ
幸ノ佛像靈寶ヲ納メ給フ則中將姫ノ月繪ヲ移テ藍師自彫ニトテ彌勒菩薩
於テ秀逸タリ堂舎覺テ置ナ彩壁ノ月繪ヲ移テ藍師自彫ニトテ彌勒菩薩
嘉年禪觀ノ都府忍性律師當山ニ住シ戒ヲ弘法ニ長ニ貴賤ノ差ヲ除キ
寺ニ於テ住持ノ辨屬阿闍梨ノ光德寺ヲ兼護摩弘法ニ長ニ貴賤ノ差ヲ除キ
勝地既ニ雨院ノ野寺ナリトナシ世ニ漸殘ル庄園モ融退轉ニシテサシ
痛ニ本尊ニ祈リテ深ク冥助ト願ハレシカハ感應顯爾所ニ本尊ヲ移シテ
方篤信ヲ發シ祈リテ深ク冥助ト願ハレシカハ感應顯爾所ニ本尊ヲ移シテ
挑ヘン金色ノ光ヲ放テテ所ニ辨師ニ告給ヒ新燈ノ奇瑞アリテ本尊ヲ移シテ
來リ二町四方結界ヲ龍華寺ニ遷シテ佛堂ノ左ニ佛堂ノ左ニ佛堂ノ左ニ佛堂
御門院勅命ヲ蒙リ知シテ龍華寺ニ遷シテ佛堂ノ左ニ佛堂ノ左ニ佛堂ノ左ニ佛堂
資相傳ノ本尊ニ聖教ヲ納メテ善融天印ニ附屬スル古融師少輔重長寺寶
亮惠僧正ヲ請シテ法灌頂ヲ受テ文十二年ニ覺樹ノ寄附スル此間欠東照宮
此間欠東照宮ノ檀主ト入道灌居士不動明王ヲ尋テ執奏スル立源寺ヲ誤リ
正十九年冬當寺ニ御カラテ寺號ヲ御尋テ執奏スル立源寺ヲ誤リ
上ス神君聞シ冬當寺ニ御カラテ寺號ヲ御尋テ執奏スル立源寺ヲ誤リ
是ヨリ改メテ龍源寺ト名付ハハ悦ノ云マテ御修復ノ經營并ニ御朱印下ニ置
レテ是ヨリ改メテ龍源寺ト名付ハハ悦ノ云マテ御修復ノ經營并ニ御朱印下ニ置

谷云云ト云後ノ鐘銘ニ據レハハコレ訛ニテ天文十年ナルモ又元和以前龍華寺ヲ
改テ今ノ寺號トナリシ傳ヘハカアヲテ正保年間ノモノ龍華寺領ト記シ鎌倉
志又龍華寺トシテ道灌ノ位牌アリ後改メテ春苑道灌巷主靈臺ニ志明十八丙午七月二十
修覆セラル故ニ道灌ノ位牌アリ後改メテ春苑道灌巷主靈臺ニ志明十八丙午七月二十
六日ト 寺寶 兩界曼荼羅二幅 唐畫 涅槃像一幅 畫ナリ 十三佛繡像一幅 中製
見ユト 八祖畫像一幅 弘法大師ノ筆トモ願 不動畫像一幅 弘法大師筆ナリ表背
云ト 八祖畫像一幅 弘法大師ノ筆トモ願 不動畫像一幅 弘法大師筆ナリ表背
アリ時三佛ノ東照宮御覽アリテ修復シタマ 愛染明王木像一軀 弘法五指景ノ作
長大師一握ノ長サニ 鳳凰頭二箇 遷慶 龍頭十箇 同作此二種トモニ木ニテ作
限レルナリ 鈴一箇 持弘法大師所 鐘樓 堂ニ向テ左ニ 龍頭十箇 同作此二種トモニ木ニテ作
具ナリ 鈴一箇 持弘法大師所 鐘樓 堂ニ向テ左ニ 龍頭十箇 同作此二種トモニ木ニテ作

大日本國武州六浦庄金澤郷知足山龍華寺唱鐘知職文

夫滄海者鱗甲所潛。泰岳者翔蹄所集。則知智池者忿塵所浴。靈鐘者苦類所息。然則洪
鐘隆鼓焉。非但留叱王之望。兼亦蘇灰河之難。獄故經云。一打鐘聲。當願衆生。脫三界
苦。得見菩提。

- 菩薩勝惠者 乃至盡生死 恒作衆生利 而不趣涅槃 般若及方便
- 知度悉加持 諸有及諸法 一切皆清淨 愆等調世間 令得淨除故
- 有頂及惡趣 調伏盡諸有 如蓮體本染 不爲垢所染 諸愆性亦然
- 不染利群生 大愆得清淨 大安樂富饒 三界得自在 能作堅固利

天文十年辛丑五月五日當寺住持法印權大僧都善融

檀那古尾谷中務少輔平重長法名道傳

八幡社 堂ノ向テ右ニアリ 境 稻荷社 同シ並ヒニアリ 塔頭 華藏院 門アリ水照
山ト號ス 福壽院 門アリ右ノトリツキモアリ 本尊正觀 引攝院 福壽院 本尊大日海
本尊不動 福壽院 音弘法大師母堂ノ作ト云徳海山ト稱ス 引攝院 本尊大日海
藏山ト號ス 開山 雄辨永 光徳寺 堂ノ向テ右ニアリ 龍燈山ト稱ス 本尊三尊ノ彌陀
正四年九月二十日寂ス 信濃國善光寺ノ寫關東四十八靈佛ノ内ト云二
尺許ノ立

正學院 除地小名野嶋浦ノ内洲崎ニアリ古義具言宗龍源寺ノ末夕照山ト號ス開山
トノミ傳フ秘シキヲ拜 本堂五間四方西向本尊大日二尺餘ノ坐像外ニ荒神アリ作物
スルコトヲ許サス

善應寺 除地小名野嶋浦ニアリ同ノ末野嶋山ト號ス當寺古ハ野嶋山ノ頂ニアリシ
屋敷ノ名殘レリ本堂ハ六間ニ五間本尊觀音ハ八寸許ノ立像ナリ古ハ愛染ヲ本尊
トヒシカ火災ニ罹リシ後改ム札所ノ内第八番ナリ世代ノ内承祿九年三月十七日
傳ヘサレハ源朝ト云アリシトイウキテ 什寶 不動一軀坐像共ニ三尺許ノ作 愛

染一軀 弘法大師ノ坐像 井 裏門ノ入口ニアリ觀音水又關伽ノ井トモ云水イト清冷
四寸許ノ像ヲ殿籠トナセリコノ坐像ニ古物ニ見ユル 圓明院 年貢地殿籠トナセリコノ坐像ニ古物ニ見ユル
圓明院 年貢地殿籠トナセリコノ坐像ニ古物ニ見ユル 地藏堂 年貢地殿籠トナセリコノ坐像ニ古物ニ見ユル

引攝院 舊家者百姓太右衛門 山口氏ナリ村中ニテハ世々將監ト通稱ス先祖ハ越後守某ト
氏ニヨリ與ヘシ文書ヲ 家ニオサム其文ニ 分國中江商賣之船可乘事何之於津邊も諸役等赦免之ハ爲其印判被下者也仍如
件

天正七年己卯九月廿六日 山口越後守ヲ九へ

按スルニ北條五代記ニ當時相州海岸ノ村々ハ敵國境半手ト號セテ年貢モ小田原
〜半房州〜半ヲ収メ夫役モ敵味方ノ差別ナク命スルニ從テコレヲ勤ムト云越後
守モ此例ニテ房州ノ船役ヲモ勤メシナルヘシ御當代トナリテモ費房上
總ノ國ヨリ此浦ニ若スル所ノ船ヲ改ルコトヲ奉レリ今爾ニカカリト云

泥龜新田 廢金澤新田

泥龜新田ハ内河ノ西北ノ崖ニ添ヘル地ニテ天水ヲ待テ耕ス江口日本橋ヨリノ行程
前村ニ同シ民戸三軒相傳フ當所ハ寛文八年長島泥龜トイヘルモノ已カ財ヲ費シテ
新墾セリ此人儒ヲ以テ擢ラレ後ニ醫師トナリ食祿五百石ヲ賜フ晚ニ其祿ヲ弟長島
道仙ニ讓リ己ハ爰ニ退隱シテ此所ヲ開墾シ終ニ農家トナル今ノ里正團右衛門ハ其
子孫ナリ元ヨリ少許ノ新田ナレハ村役助郷等ノコトハ公ヨリ免除セラルル村ニ相

新編代官丸上巳高

十一

來ハ同所雪下村ニ達セリ古ハ驛場ヲ定メス領中十三村ニテ繼送シカ近キ頃ヨリ當
村ヲ驛ニ定メ前ノ村々ヨリ定助ヲ勤メ又相州三浦郡ノ内三十一ヶ村ヨリモ加助ヲ
出セリ往古ハ稱名寺領ナリ御入國ノ後御領所ニテ正保頃ハ八木次郎右衛門支配シ
元祿年中倉橋内匠杉浦八郎五郎等カ先祖ニ賜ヒ今モシカリ檢地ハ御代官原田佐左
衛門改メリト年代ハ傳ヘス

高札場 街道ノ内北ノ方寺

小名 上ノ方ナリ 下ノ内南ヲ云 能見堂 谷津村能見 染井 赤井村ノ方

白方 北ナリ 關入 能見堂ノ北ナリ カダブキナリ 六段目 同キツ 行田モコレ

町屋原 東方海道乙浦ノ積キ洲崎村ト

牛頭天王社 除地ニ歩道ノ西下分コアリ社ハ二間四方東向拜殿二間餘コニ
村持小名上下 末社稻荷社二社

諏訪社 年貢地街道ノ西ニアリ再建ナラス

天然寺 除地街道ノ中程コアリ淨土宗相摸國鎌倉光明寺ノ末法爾山ト號ス本堂七
月廿六日寂ス傳燈總系講禪芳法蓮社然譽住武州品川願行寺爲第三世次 什寶

不動畫像 一幅弘法大師ノ筆ト云コ今ハ失ヘリ

傳心寺 除地一町四方街道ノ中程コアリ東橫町コアリ禪宗曹洞派相摸國小田原香雲
養拙宗牧開基ハ北條左京大夫氏直ト起立ト傳レト坐像ハ假堂コ置リ開山

樓門 入テ右モコアリ寛永十八年洲崎村コ住セハ此ノ人ト傳レト坐像ハ假堂コ置リ開山
山權現社 コレモ門ヲ入テ右

安立寺 除地六段餘村ノ中程コアリ福船山ト號ス法華宗相州鎌倉比企谷妙本寺ノ
ノ末トナレリ相傳フ當寺ハ往古修驗ニテ安立坊ト稱セリ宗祖日蓮宮木五郎胤繼

寺及杉田村妙法寺ニ改宗セリ故コ當寺船中問答ノ舊跡ナリト云サリ聞シハ日蓮
答ノ時姿ヲ富木胤繼彫刻シ日蓮ノ像アリ草鞋ヲ履キ安立坊ト號スハ船中問

鐘樓門 元ノ入テ右モコアリ享 稻荷 本堂コ向テ右ニ

觀音堂 寸ノ立像傳教ノ傍コアリ二間半コ二間西向觀音ハ三
地藏堂 年貢地寺前村境西側ニアリ二間半コ三間東向地蔵

入定塚 小名乙柄コト云土俗傳海ヲ訛クテ今ハ田園トナレリ

古蹟千光院蹟 傳心寺ノ向ニカ廢シテ今ハ田園トナレリ